

東芝デジタル複合機

# インストール

---

**e-STUDIO2020AC**

**e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC**

**e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A**

**e-STUDIO6527AC/7527AC**

**e-STUDIO6529A/9029A**



# はじめに




このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
本書は、クライアントソフトウェアのインストール方法について説明しています。  
本機をお使いになる前に本書をよくお読みください。

お使いの機種によっては、表示されない項目や機能があります。

## ■ 本書の読みかた

### ☐ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 <b>警告</b>	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
 <b>注意</b>	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
<b>注意</b>	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
<b>補足</b>	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
	関連事項を説明している参照先を示しています。必要に応じて参照してください。

\*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

\*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

\*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

### ☐ 本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

### ☐ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2020AC	e-STUDIO5525AC Series
e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC	
e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A	e-STUDIO5528A Series
e-STUDIO6527AC/7527AC	e-STUDIO7527AC Series
e-STUDIO6529A/9029A	e-STUDIO9029A Series

### ☐ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、以下の参照先をご覧ください。

機体の情報 - 機体の情報 - 本機のオプション

### ☐ 本文中の画面と操作手順の説明について

本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 10を例に説明しています。macOSでの画面および操作手順は、macOS 11.xを例に説明しています。お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

---

## ☐ 製品に付属するインストールディスクについて

本書では、ソフトウェアをインストールするためのディスクを総称して「インストールディスク」と表記します。

## ☐ 商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

---

## ■ エンドユーザーソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアサプライヤーが別途提供する使用許諾契約書が適用される場合を除き、お客様は本ソフトウェアのインストールまたは使用の開始をもって、以下の契約条件に同意したとみなされます。本契約条件に同意できない場合、本ソフトウェアのインストールおよび使用はできませんので、速やかにお客様ご自身で本ソフトウェアを取得した場所にご返送ください。

### 使用許諾：

本契約は、エンドユーザー（以下「お客様」という）と東芝テック株式会社（以下「東芝テック」という）の間で締結する、法的効力を有する契約です。

本ソフトウェアならびにフォント（およびそのタイプフェイスを含む）、および関連するドキュメンテーション（以下「ソフトウェア」という）は、本ソフトウェアがインストールされた東芝テック製複合機と所定の機器（以下「システム」という）において、本契約条件に従って使用許諾されます。本ソフトウェアの著作権をはじめとするいかなる知的財産権、およびその他の権利ならびに所有権は東芝テックおよび／またはサプライヤーに帰属し、また所有されるものとします。東芝テックは本ソフトウェアのインストールおよび／または使用、ならびに本ソフトウェアを使用して得られる結果に対し責任を負いません。本ソフトウェアは単一のシステム上に単一の複製物をインストールして使用できるものとし、単一のシステム上で本ソフトウェアを使用する必要がある場合を除き、いかなる理由であっても本ソフトウェアを複製することはできません。いかなる本ソフトウェアの複製も本契約条件に従わなければなりません。お客様が本ソフトウェアの修正、適合、統合、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングを行うことはもちろん、第三者にこれらの行為を許諾することはできません。お客様が本契約条件に従わない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。本ソフトウェアに関する知的財産権およびその他の権利はお客様には移転譲渡されないものとし、これら権利の所有権はすべて東芝テックおよび／またはサプライヤーが保持するものとします。本ソフトウェアのソースコードの使用はお客様に許諾されないものとし、お客様は本ソフトウェア（その複製を含む）の著作権表示に対し、修正、削除等を行うことができません。本ソフトウェアの著作権侵害、無許諾での移転譲渡、複製または使用に関するいかなる法的責任は、お客様に属するものとします。

### 期限：

本契約は、東芝テックにより任意に終了されるか、お客様による本契約条件の違反により終了されるまで、法的効力を有するものとします。本契約終了の場合、お客様には本ソフトウェアのすべての複製物を破棄していただきます。お客様は本ソフトウェアおよびそのすべての複製物を破棄することにより、随時、本契約を終了することができます。

### 免責事項：

本ソフトウェアは、商品市場性、特定目的との適合性、権利、権利の非侵害を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）いかなる明示または黙示の保証をせず、現状のまま提供するものとします。東芝テックは、本ソフトウェアの品質および性能に関する保証に対し、いかなる責任も負いません。本ソフトウェアに欠陥がある場合、その修理、修正およびサービスにかかる費用はすべてお客様の負担とし、東芝テックは責任を負いません。東芝テックは、本ソフトウェアの機能がお客様の要求を満たすこと、またはソフトウェアの動作に中断、エラーが起こらないことを保証しません。

### アップデートおよび製造中止：

東芝テックはなんら制限を受けることなく、本ソフトウェアをアップデート、アップグレードし、またはその製造を中止することができます。

### 第三者ソフトウェア：

本ソフトウェア（将来のアップデート版、アップグレード版も含む）には第三者ソフトウェアが含まれる場合があります。このような第三者ソフトウェアは、そのサプライヤーが、使用許諾契約またはreadmeファイル（またはreadmeファイルに類するファイル）に別途定める、本契約とは異なる条件（「別途契約」等）により提供されます。お客様が第三者ソフトウェアを使用する際は、「別途契約」等に定められた条件に従うものとし、第三者ソフトウェアの条件以外は、本契約に定められた条件に従うものとします。

---

**責任制限：**

たとえ東芝テックおよびそのサプライヤーが次のような損害の可能性を示唆されていたとしても、東芝テックは本契約の記述あるいは不法行為の有無を問わず（東芝テックの過失による人身傷害または死亡を除き）、本ソフトウェアの使用または使用不能から発生する利益損失、データ損失、資産損失、あるいはその他の偶発的、特別的または間接的損害を含むいかなる損害に対しても、お客様および第三者に対し一切の責任を有さないものとします。

**一般事項：**

お客様は本ソフトウェアもしくはその使用权をサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転できないものとします。本契約に基づくいかなる権利、責務または義務に対するサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転の試みは、すべて無効とします。日本政府、米国政府および関連国政府が禁止する国または目的地への、お客様による本ソフトウェア（本ソフトウェアの複製、本ソフトウェアまたはそのメディアに含まれる技術情報、その他の関連する直接的製品を含む）の直接的または間接的出荷、送信、輸出または再輸出は、その試みを含め、許諾されないものとします。本契約は日本国の法律に準拠するものとし、また本契約に関して東芝テックのサプライヤーが関与する紛争が生じた場合は、その時々当該サプライヤーが指定する国の法律が適用されるものとします。本契約の一部の条項が違法、無効あるいは法的強制力なしとみなされた場合でも、その他の条項はすべて効力を維持し有効であるものとします。

お客様は本契約をお読みになり、上記の条件を理解し、同意するものとします。お客様は本契約条件に従うことに同意するものとします。さらに本契約は、お客様と東芝テックおよびそのサプライヤーとの間で締結する唯一完全な契約であり、かつ本契約の主題に関するいかなる提案、事前契約、口頭または書面その他の伝達事項より優先されることに同意したものとします。

契約者および製造元：〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1 東芝テック株式会社

# 目次

---

はじめに.....	3
本書の読みかた .....	3
エンドユーザーソフトウェア使用許諾契約書 .....	5

## 第1章 インストールについて

---

インストールディスクについて.....	12
Windows .....	12
macOS .....	13
UNIX/Linux.....	13
インストーラーの内容 .....	15
ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項.....	16
TopAccessからのダウンロード .....	17
Windows用インストーラーのダウンロード .....	17
macOS用PPDファイルのダウンロード .....	19
UNIX/Linux用フィルターのダウンロード.....	20
NetWareプリントサーバーの設定.....	22
Novell iPrintの設定 .....	22
LPR接続の設定 .....	24

## 第2章 おすすめインストール

---

おすすめインストール手順.....	26
SNMP設定変更時の注意事項.....	31
お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合 .....	31
お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合.....	33

## 第3章 プリンタードライバのインストール (Windows)

---

インストールする前に .....	36
プリンタードライバの種類 .....	36
必要条件 .....	36
インストール手順について .....	37
プリンタードライバのインストール.....	38
Software Installerを使ってインストールする .....	39
個別インストーラーを使ってインストールする .....	50
TopAccessからインストールする .....	59
本機の共有フォルダーからインストールする .....	60
その他のインストール .....	61
Raw TCP/LPR印刷 (プリンターの追加ウィザード) .....	61
USB印刷 .....	66
IPP印刷 .....	69
Novell iPrint印刷.....	73
Web Serviceプリント .....	74
Windows用PPDファイルのコピー .....	77
プリンタードライバのアンインストール.....	78
プリンタードライバの修復 .....	80

## 第4章 プリンタードライバのインストール (macOS)

---

インストールについて .....	82
------------------	----

macOSのクライアントソフトウェアについて .....	82
必要条件 .....	82
<b>プリンターのインストール .....</b>	<b>83</b>
Mac PPDファイルのインストール .....	83
プリンターの設定 .....	86
<b>Mac PPDのアンインストール .....</b>	<b>96</b>

## 第5章 プリンタードライバのインストール (UNIX/Linux)

<b>UNIX/Linuxフィルターについて .....</b>	<b>98</b>
必要条件 .....	99
ユーザー認証機能使用時の注意事項 .....	99
<b>UNIX/Linuxフィルターによるプリンターの設定 .....</b>	<b>100</b>
UNIX/Linuxフィルターのインストール .....	100
プリントキューの作成 .....	101
デフォルト設定の変更 .....	106
プリントキューの削除 .....	107
<b>CUPSの設定 .....</b>	<b>110</b>
CUPSについて .....	110
CUPSによるプリンターの設定 .....	110

## 第6章 スキャンドライバー&ユーティリティのインストール (Windows)

<b>インストールする前に .....</b>	<b>132</b>
スキャンドライバー&ユーティリティの種類 .....	132
必要条件 .....	132
<b>スキャンドライバー &amp;ユーティリティのインストール .....</b>	<b>133</b>
インストール手順 .....	133
WIAドライバーをインストールする .....	134
<b>アンインストールする .....</b>	<b>137</b>

## 第7章 ネットワークファクスユーティリティのインストール (Windows)

<b>インストールする前に .....</b>	<b>140</b>
ネットワークファクスユーティリティの種類 .....	140
必要条件 .....	140
<b>ネットワークファクスユーティリティのインストール .....</b>	<b>141</b>
Software Installerを使ってインストールする .....	141
個別インストーラーを使ってインストールする .....	142
<b>Web Serviceプリントによるインストール .....</b>	<b>144</b>
<b>ネットワークファクスユーティリティのアンインストール .....</b>	<b>145</b>
N/W-Faxドライバーのアンインストール .....	145
AddressBook Viewerのアンインストール .....	145

## 第8章 ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール (Windows)

<b>ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に .....</b>	<b>148</b>
必要条件 .....	148
<b>ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール .....</b>	<b>149</b>
<b>アンインストールする .....</b>	<b>150</b>



---

## 第9章 インストールのメンテナンス

---

クライアントソフトウェアの削除 .....	152
クライアントソフトウェアの修復 .....	154

## 第10章 インストールに関する注意事項と関連メッセージ (Windows)

---

インストール前の注意事項 .....	156
インストール中に表示される可能性のあるメッセージ .....	157
インストール後の注意事項 .....	158
索引 .....	159



# インストールについて

インストールディスクについて .....	12
Windows .....	12
macOS .....	13
UNIX/Linux.....	13
インストーラーの内容 .....	15
ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項 .....	16
TopAccessからのダウンロード.....	17
Windows用インストーラーのダウンロード .....	17
macOS用PPDファイルのダウンロード .....	19
UNIX/Linux用フィルターのダウンロード .....	20
NetWareプリントサーバーの設定 .....	22
Novell iPrintの設定 .....	22
LPR接続の設定.....	24

# インストールディスクについて

---

## ■ Windows

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

### クライアントソフトウェア・インストーラー

[インストールディスク]：¥e-STUDIO¥Setup.exe

Universal Printer 2ドライバーとその他のクライアントソフトウェアをお使いのコンピューターに一括してインストールするためのセットアッププログラムです。

### Universal Printer 2ドライバー

以下のフォルダーには、Universal Printer 2ドライバーをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 10以降/Windows Server 2012以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥

### Universal PS3プリンタードライバー（PostScript）

以下のフォルダーには、Universal PS3プリンタードライバーをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 10以降/Windows Server 2012以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥

### Windows PPDファイル

以下のフォルダーには、印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥2-sided\_default¥

このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。

- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥normal¥

このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

### 補 足

カラー複合機の場合は「TSES6D\_1.PPD」を、モノクロ複合機の場合は「TSES8O\_1.PPD」をお使いください。

### N/W-Faxドライバー

以下のフォルダーには、N/W-Faxドライバーをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 10以降/Windows Server 2012以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥Client¥FAX¥

### AddressBook Viewer

以下のフォルダーには、AddressBook Viewerをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 10以降/Windows Server 2012以降にインストールできます。

- 32ビット版のコンピューターをお使いの場合

[インストールディスク]：¥Client¥ADRBK¥32bit¥

- 64ビット版のコンピューターをお使いの場合

[インストールディスク]：¥Client¥ADRBK¥64bit¥

### ファイルダウンローダー

以下のフォルダーには、ファイルダウンローダーをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

[インストールディスク]：¥Client¥FD¥

### Remote Scanドライバー

以下のフォルダーには、Remote Scanドライバーをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

- 32ビット版のコンピューターをお使いの場合  
[インストールディスク]：¥Client¥RS¥32bit¥
- 64ビット版のコンピューターをお使いの場合  
[インストールディスク]：¥Client¥RS¥64bit¥

### TWAINドライバー

以下のフォルダーには、TWAINドライバーをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

- 32ビット版のコンピューターをお使いの場合  
[インストールディスク]：¥Client¥TWAIN¥32bit¥
- 64ビット版のコンピューターをお使いの場合  
[インストールディスク]：¥Client¥TWAIN¥64bit¥

### WIAドライバー

以下のフォルダーには、WIAドライバーをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 10以降/Windows Server 2012以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥Client¥WIA¥

### TOSHIBA Office Scan Add-In ツール

Microsoft Office 2013以降で、「Remote Scan driver」、「TWAIN driver」、「WIA driver」を利用するためのAdd-In ツールです。

[インストールディスク]：¥Admin¥Add-In¥

## ■ macOS

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

### Mac PPDファイル

以下のフォルダーには、macOSで使用するPPDファイルおよびプラグインが収録されています。

- [インストールディスク]：MacPPD/OSX10\_12-  
macOS 10.12以降のバージョンで使用するプラグインです。
- [インストールディスク]：MacPPD/OSX10\_12-/2-sided\_default  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク]：MacPPD/OSX10\_12-/normal  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

## ■ UNIX/Linux

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

### Solarisフィルター

以下のフォルダーには、Solaris v11用tarファイルが収録されています。ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー複合機  
[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/SolarisFilter/Usa/
- モノクロ複合機  
[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/SolarisFilter/Usa/

---

### HP-UXフィルター

以下のフォルダーには、HP-UX ver.11iv3用のtarファイルが収録されています。  
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー複合機  
[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/HP-UXFilter/Usa/
- モノクロ複合機  
[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/HP-UXFilter/Usa/

### IBM AIXフィルター

以下のフォルダーには、IBM AIX 7.x用tarファイルが収録されています。  
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー複合機  
[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/AIXFilter/Usa/
- モノクロ複合機  
[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/AIXFilter/Usa/

### Linuxフィルター

以下のフォルダーには、Fedora 27/28、Red Hat Enterprise Linux 5.x/6.x/7.x、SuSE Linux Enterprise Server 12/15、Open SUSE 13.2/15、Solaris 11、Ubuntu 14.04LTS/18.04、Debian 7.8/8用tarファイルが収録されています。  
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー複合機  
[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/LinuxFilter/Usa/
- モノクロ複合機  
[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/LinuxFilter/Usa/

### CUPS PPDファイル

以下のフォルダーには、UNIX/LinuxのCUPS環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。  
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー複合機
  - [インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/2-sided\_default/  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - [インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/normal/  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロ複合機
  - [インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/2-sided\_default/  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - [インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/normal/  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

インストールディスクにて提供されているインストーラーでは、以下のソフトウェアをインストールすることができます。

### プリンタードライバー（プリント機能）

プリンタードライバーは、お使いのアプリケーションから印刷を行うためのソフトウェアです。本機では、Universal Printer 2（PCL6、PostScript）、Universal PS3（PostScript）の2種類のプリンタードライバーを用意しています。これらのドライバーは、アプリケーションでは設定できないような、文書レイアウトやページ組みなど、高度な印刷機能を提供します。

### TWAINドライバー（スキャン機能）

ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。

### ファイルダウンローダー

ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピューターの内蔵ストレージにファイルとして取り込むことができます。

### Remote Scanドライバー（スキャン機能）

Remote Scanドライバーを使用すると、お使いのWindowsコンピューターからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

### WIAドライバー（スキャン機能）

WIAドライバーを使用すると、お使いのWindowsコンピューターからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

### N/W-Faxドライバー（プリント機能）

N/W-Faxドライバーを使用すると、お使いのWindowsコンピューターから任意の宛先へ文書をファクス送信することができます。

### AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを効率よく管理することができます。また、AddressBook Viewerで管理しているファクス番号やEメールアドレスは、N/W-Faxドライバーを用いてファクスを送信する際に宛先として利用することができます。

## ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項

---

Windowsコンピュータでファイアウォールソフトウェアを使用している環境の場合、本機とコンピューター間のネットワーク通信をファイアウォールソフトウェアがブロックしてしまい、インストールが実行できなくなることがあります。

インストールを開始する前に現在の環境を確認し、もしファイアウォールソフトウェアを使用している場合は、ネットワーク管理者へ問い合わせて指示に従ってください。

なお、ネットワーク通信が必要となるクライアントソフトウェアとその実行ファイルは以下のとおりです。ファイアウォールソフトウェアの例外設定を行う際の参考にしてください。

個別インストーラー：essetup.exe

Software Installer：Setup.exe

プリンタードライバー、N/W-Faxドライバー：essetup.exe

ファイルダウンローダー：essetup.exe

AddressBook Viewer：essetup.exe

ファイリングボックスBackup/Restore Utility：essetup.exe

### 注 意

- TWAINドライバー、Remote Scanドライバー、WIAドライバーに関しては、各ドライバーに対応したアプリケーションソフトウェアの実行ファイルを例外設定する必要があります。
- 個別インストーラーまたはSoftware Installerを例外設定した場合、インストールが完了した後で各実行ファイルに対する例外設定を解除してください。



システム管理者がクライアントソフトウェアを本機にアップロードしてある場合、各ユーザーはTopAccessからインストーラーやインストールに必要なファイルをダウンロードすることができます。TopAccessからは、以下のソフトウェアをダウンロードすることができます。

- Windows用インストーラー  
📖 P.17 「Windows用インストーラーのダウンロード」
- macOS用PPDファイル  
📖 P.19 「macOS用PPDファイルのダウンロード」
- UNIX/Linux用フィルター  
📖 P.20 「UNIX/Linux用フィルターのダウンロード」


## 補 足

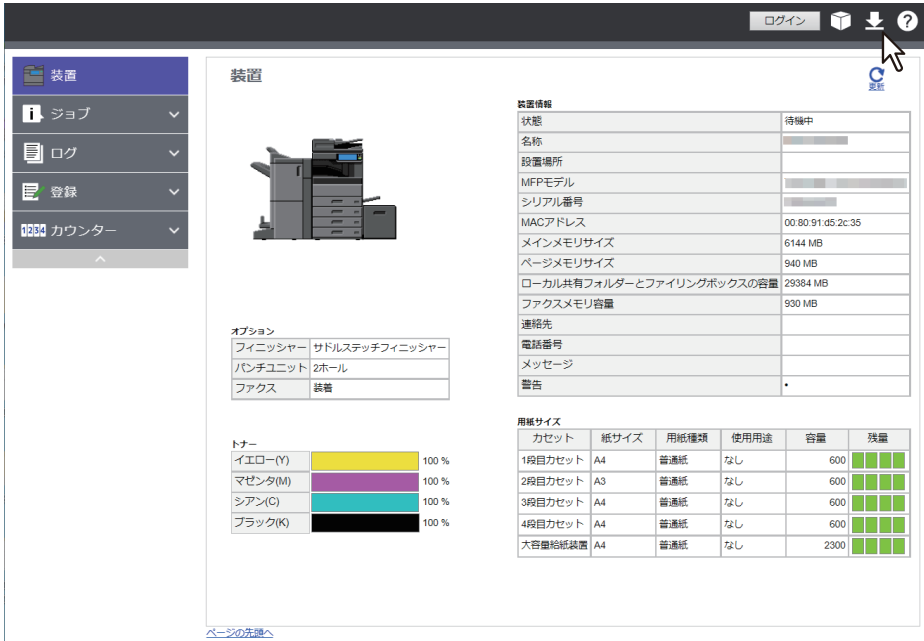
TopAccessの起動方法や、ソフトウェアを本機へアップロードする方法については、以下の参照先をご覧ください。

**TopAccess - 概要 - TopAccessを起動する**

**TopAccess - [管理者] - [保守] 項目説明一覧 - ソフトウェアのアップロード**

## ■ Windows用インストーラーのダウンロード

- 1 TopAccessの画面右上にある  ([ソフトウェアのインストール]) をクリックします。



画面右上のダウンロードアイコンをクリックすると、ソフトウェアのインストール画面が表示されます。

画面左側のメニューには「装置」「ジョブ」「ログ」「登録」「カウンター」があります。

中央には「装置」のセクションがあり、装置の画像と「オプション」の表が表示されています。

右側には「装置情報」の表と「用紙サイズ」の表が表示されています。

オプション	内容
フィニッシャー	サドルステッチフィニッシャー
パンチユニット	2ホール
ファクス	装置

項目	値
状態	待機中
名称	
設置場所	
MFPモデル	
シリアル番号	
MACアドレス	00:80:91:d5:2c:35
メインメモリサイズ	6144 MB
ページメモリサイズ	940 MB
ローカル共有フォルダーとファイリングボックスの容量	29384 MB
ファクスメモリ容量	930 MB
連絡先	
電話番号	
メッセージ	
警告	

カセット	紙サイズ	用紙種類	使用用途	容量	残量
1段目カセット	A4	普通紙	なし	600	■■■■
2段目カセット	A3	普通紙	なし	600	■■■■
3段目カセット	A4	普通紙	なし	600	■■■■
4段目カセット	A4	普通紙	なし	600	■■■■
大容量給紙装置	A4	普通紙	なし	2300	■■■■

トナーの残量表示:

トナー	残量
イエロー(Y)	100 %
マゼンタ(M)	100 %
シアン(C)	100 %
ブラック(K)	100 %

## 2 [Install Client1] リンクをクリックします。



### 補 足

このページには、TopAccessからプリンタードライバーをインストールするためのリンクも表示されます。それらをインストールする方法については、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.59 「TopAccessからインストールする」


## 3 表示されるプロンプト画面に従い、Install Client1ファイルをデスクトップにダウンロードします。

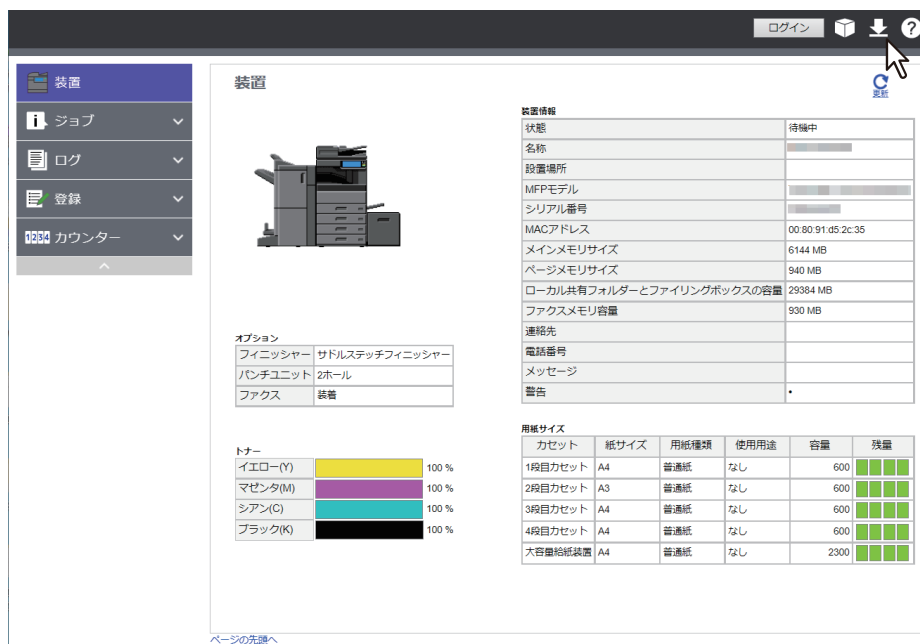
## 4 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。

解凍すると、各「WebInstaller.exe」が収められたフォルダーが展開されます。これらを使ってインストールするにはAdministrator権限で「WebInstaller.exe」を起動します。Administrator権限を持たないユーザーは「WebInstaller.exe」を右クリックして「管理者として実行」(「管理者で実行」)でAdministratorのパスワードを入力することでインストールできます。WebInstaller.exeが収められているフォルダーは以下の名称です。

- ABV32：AddressBook Viewerのインストーラーが入っています。(32ビット版)
- ABV64：AddressBook Viewerのインストーラーが入っています。(64ビット版)
- FD：ファイルダウンローダーのインストーラーが入っています。
- NWFAX：N/W-Faxドライバーのインストーラーが入っています。
- UNI：Universal Printer 2ドライバーのインストーラーが入っています。
- PS3：Universal PS3プリンタードライバーのインストーラーが入っています。
- RS32：Remote Scanドライバーのインストーラーが入っています。(32ビット版)
- RS64：Remote Scanドライバーのインストーラーが入っています。(64ビット版)
- TWAIN32：TWAINドライバーのインストーラーが入っています。(32ビット版)
- TWAIN64：TWAINドライバーのインストーラーが入っています。(64ビット版)
- WIA：WIAドライバーのインストーラーが入っています。

## ■ macOS用PPDファイルのダウンロード

- 1 TopAccessの画面右上にある  ([ソフトウェアのインストール]) をクリックします。



- 2 [Macintosh PPD Files] リンクをクリックします。



ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

### 3 ダウンロードしたいファイルのリンクをクリックします。



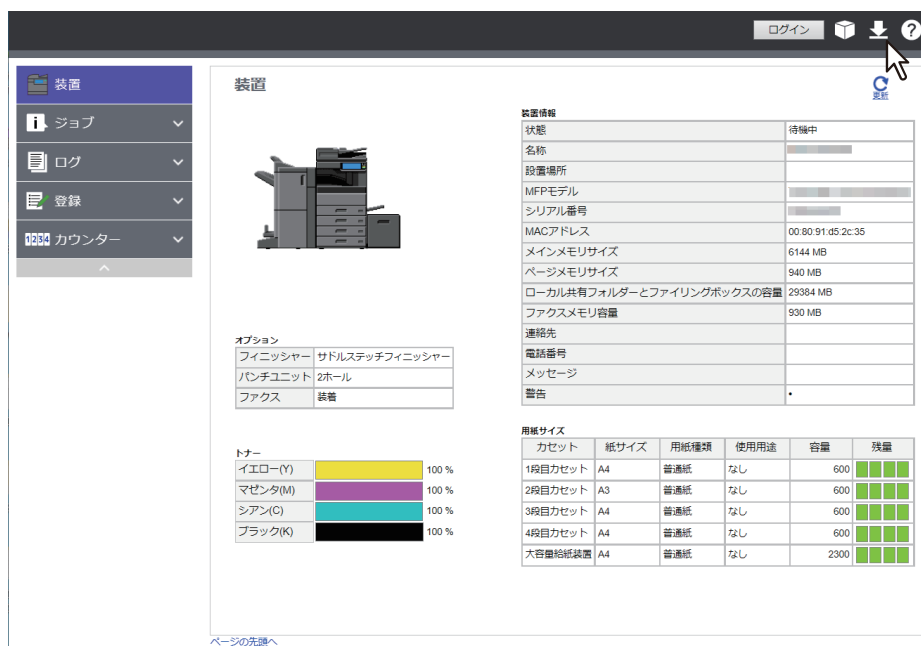
**TOSHIBA\_XXXXXMFP.dmg.gz** : macOSで使用するPPDファイルをダウンロードします。

\* ファイル名の「XXXXX」部分が、「Color」はカラー複合機用、「Mono」はモノクロ複合機用のファイルとなります。お使いになる機種に合わせて選択してください。

### 4 表示されるプロンプト画面に従い、ファイルをデスクトップにダウンロードします。

## ■ UNIX/Linux用フィルターのダウンロード

### 1 TopAccessの画面右上にある ([ソフトウェアのインストール]) をクリックします。



## 2 「UNIX Filters」リンクをクリックします。



ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

## 3 インストールしたいUNIX/Linuxフィルターのリンクをクリックします。



## 4 表示されるプロンプト画面に従い、UNIX/Linuxフィルターを含むUNIX/Linuxのtarファイルをデスクトップにダウンロードします。

## NetWareプリントサーバーの設定

---

本機では、以下のNovell印刷サービスをサポートしています。

- NetWare 6.5 iPrintモード

ここでは、本機をNovellネットワークプリンター、プリントサーバーもしくはNDPSプリンターエージェントとして使用するために、本機をどのように設定するかについて概要を説明します。詳細については、Novellの説明書を参照してください。

### ■ Novell iPrintの設定

本機はNovell iPrintをサポートしています。Novell iPrintを利用すると、クライアントコンピューターからURLでアクセスできるプリンターをセットアップすることができます。

Novell iPrintは、NDPSアーキテクチャをベースとしていますので、使用する前にNetWareプリントサーバーへNDPSをインストールしておく必要があります。

Novell iPrintを設定する前に、以下の事項を確認してください。

- NDPSブローカー、NDPSマネージャー、およびNDPSプリンターがすでに作成されていること。
- Novell iManagerがインストールされていること。  
Novell iManagerの詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。

Novell iPrintシステムをセットアップするには、以下の手順で設定を行います。

1. Novell iPrintをインストールする  
📖 P.22 「Novell iPrintのインストール」
2. プリントサービスマネージャーでDNSを有効にする  
📖 P.22 「DNSの有効化」
3. iPrintサービスを有効にする  
📖 P.23 「Novell iPrintの有効化」

### □ Novell iPrintのインストール

- 1 「http : // [NetWare serverのIPアドレス] /ipp」からiPrint Clientをインストールします。

### □ DNSの有効化

プリントサービスマネージャーでDNSを有効にする前に、DNSサーバーにプリントサービスマネージャーのDNS名を登録してください。

DNSサーバーへの登録が完了したら、以下の手順に従いプリントサービスマネージャーでDNSを有効にします。

- 1 サーバーコンソール画面で、以下のコマンドを入力します。  
NDPSM <NDPSマネージャー名> /dnsname=<NDPSマネージャー DNS名>

## □ Novell iPrintの有効化

プリントサービスマネージャーでDNSを有効にしたら、Novell iManagerを使用してNovell iPrintを有効にします。

### 注 意

- Novell iPrintを有効にするには、あらかじめNovell iManagerがインストールされている必要があります。Novell iManagerのインストール方法については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。
- Novell iManagerにアクセスするには、以下のブラウザーを使用する必要があります。サポートするブラウザーは、インストールされているNovell iManagerのバージョンによって異なります。詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。

- 1 ブラウザーのアドレス欄に「<https://<IPアドレス>/nps/iManager.html>」を入力し、iManagerを開きます。
- 2 ユーザー名、パスワードおよびTreeを入力し、Novell iManagerにログインします。
- 3 Roles and Tasks の [iPrint] をクリックし、[Manage Printer] をクリックします。
- 4 本機用に作成したプリンターを選択します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [Client Support] をクリックし、[iPrint Support] をクリックします。
- 7 [Enable iPrint support] チェックボックスをオンにします。
- 8 セキュア印刷を行う場合は、[Enable secure printing] チェックボックスをオンにします。  
このオプションを有効にすると、印刷時にeDirectoryを使用したユーザー名およびパスワードの入力が必要になります。
- 9 [Apply] または [OK] をクリックして設定を保存します。

---

## ■ LPR接続の設定

- 1** **【Create Printer】** を選択します。  
Printer作成画面が表示されます。
- 2** **【Printer name】** および **【Print Manager name】** オプションを設定し、**【Gateway Type】** 一覧から **【Novell Gateway】** を選択したら、**【Next】** をクリックします。  
Novell Gatewayの設定画面が表示されます。
- 3** **【Host IP address】** に本機のIPアドレス、**【LPR Printer name】** のPORT\_PASSTHROUGHを設定したら、**【Next】** をクリックします。  
Driverの選択画面が表示されます。
- 4** 各OSタブの**【プリンタードライバー】** 一覧からインストールするプリンタードライバーを選択し、**【Next】** をクリックします。  
プリンターが正常に作成されたことを示す画面が表示されます。
- 5** **【OK】** をクリックします。



## おすすめインストール

おすすめインストール手順 .....	26
SNMP設定変更時の注意事項 .....	31
お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合 .....	31
お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合 .....	33

## おすすめインストール手順

WindowsコンピュータにUniversal Printer 2ドライバーとその他のクライアントソフトウェアをインストールする場合は、おすすめインストールの手順でソフトウェアをインストールしてください。

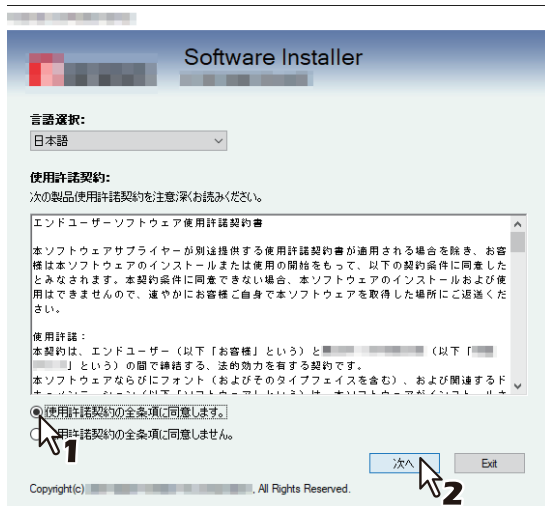
### 注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログインしてください。

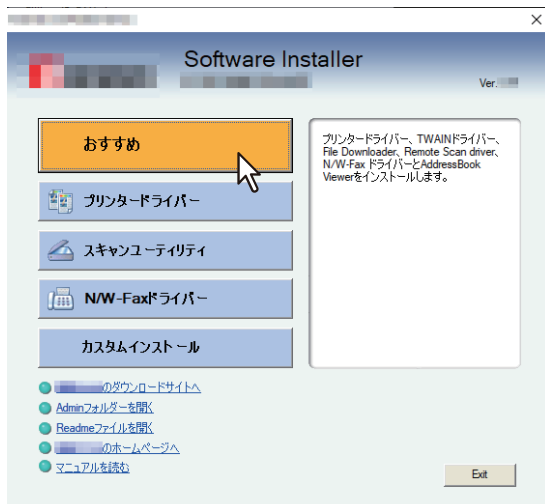
### 1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクをエクスプローラーで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

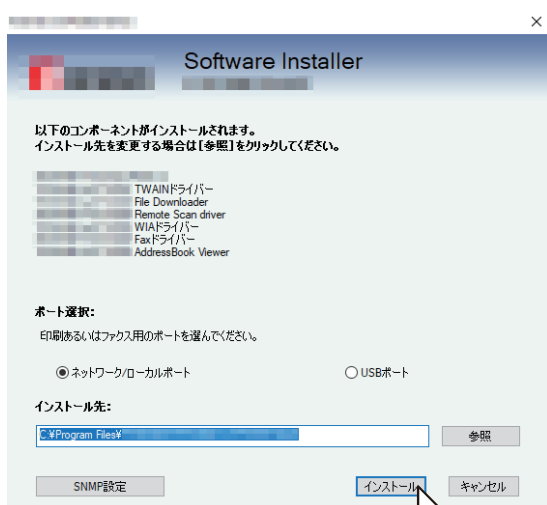
### 2 「使用許諾契約の全条項に同意します。」を選択し、「次へ」をクリックします。



### 3 「おすすめ」をクリックします。

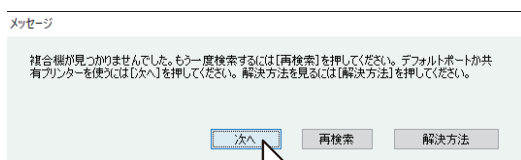


## 4 インストールするソフトウェアを確認し、本機と接続するポートを選択してから [インストール] をクリックします。



### 注意

以下のメッセージが表示された場合は、[次へ] をクリックします。



以下の参照先の手順7以降に従って、インストールを続行してください。

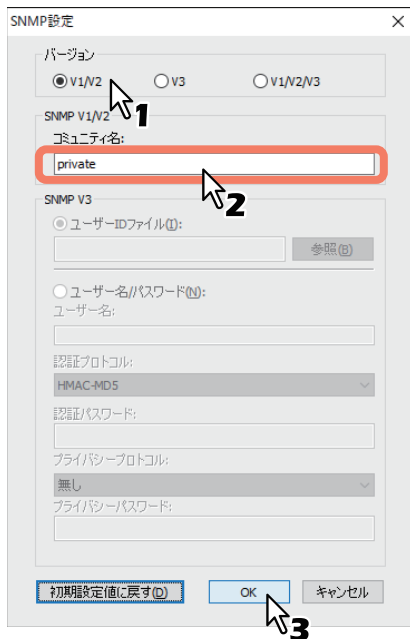
📖 P.43 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

### 【SNMP設定】について

目的の弊社複合機と【SNMP設定】ダイアログボックスのSNMP設定が一致していないと、複合機を検出することができません。【SNMP設定】ダイアログボックスでSNMP設定が正しいことを確認し、必要であれば設定の変更を行ってください。  
お使いの弊社複合機のSNMP設定については、管理者にお問い合わせください。

#### SNMPバージョンがV1およびV2の場合

1. お使いの弊社複合機に「private」（初期値）以外のSNMPコミュニティ名が設定されている場合は、  
[V1/V2] をクリックします。
2. SNMPコミュニティ名を変更します。
3. [OK] をクリックします。



#### 注 意

SNMPコミュニティ名を変更する場合は、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.31 「SNMP設定変更時の注意事項」

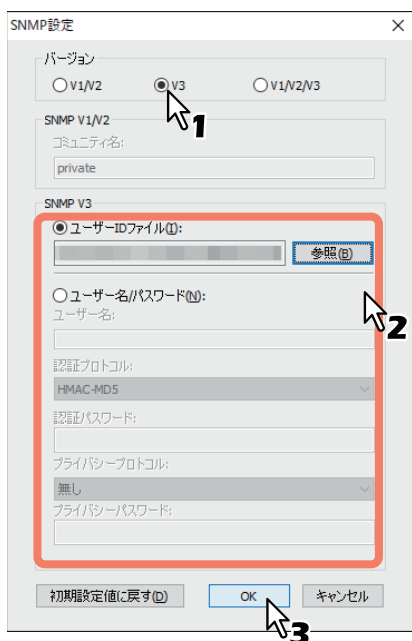
#### SNMPバージョンがV3の場合

1. [V3] をクリックします。
2. ユーザー IDファイルを使用して認証を行う場合は、[参照] をクリックし、ユーザー IDファイルを指定します。  
ユーザー認証情報を使用して認証を行う場合は、[ユーザー名/パスワード] をクリックし、必要な認証情報を入力します。

#### 注 意

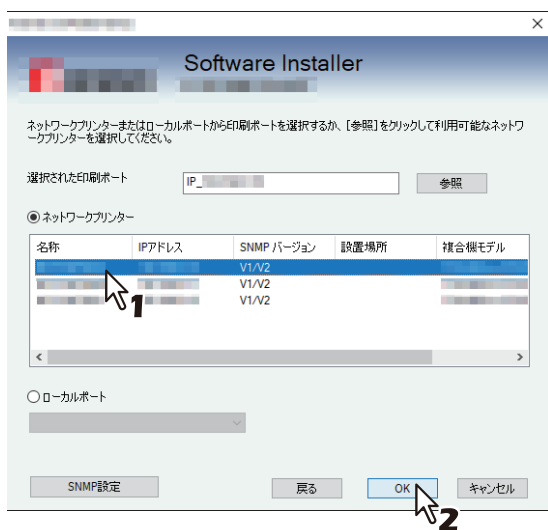
- ・ 事前に管理者から認証方法についての確認を行ってください。
- ・ SNMP設定を変更する場合は、以下の参照先をご覧ください。  
📖 P.31 「SNMP設定変更時の注意事項」

3. [OK] をクリックします。



\* お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV1、V2、V3の場合は、上記設定の両方を行ってください。

5 検出されたプリンターが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。



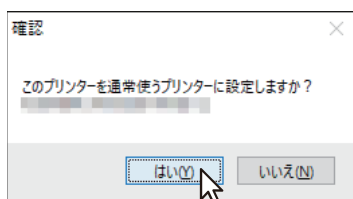
TCP/IPポートが作成されます。

6 インストールが開始されます。

#### 補 足

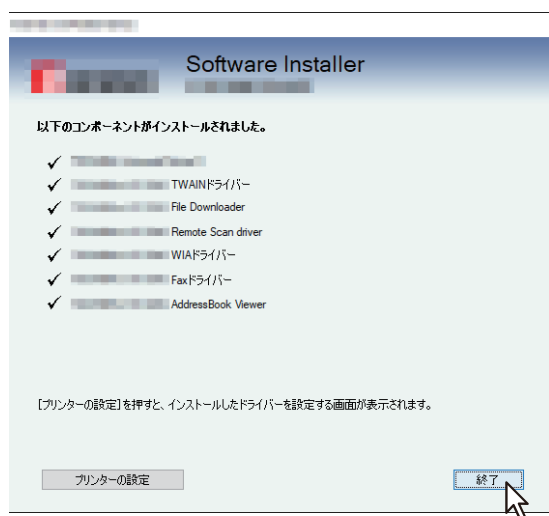
Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

7 通常使うプリンターに設定する場合は、[はい] をクリックします。



## 8 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

メインメニューが表示されます。



### 補 足

- コンピューターの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- [プリンターの設定] をクリックするとテストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバーの設定および印刷設定を行うことができます。[完了] をクリックした後でも設定することができます。

設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

#### 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバーの機能概要

- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバーの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- [戻る]：インストールの完了画面に戻ります。

## 9 [Exit] をクリックします。

インストーラーの終了を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

## SNMP設定変更時の注意事項

お使いの弊社複合機でコミュニティ名やユーザー情報などを使って認証を行っている場合、印刷ジョブやファクスジョブを正常に印刷または送信するには、以下のように複合機とお使いのコンピューターのSNMP設定が一致している必要があります。  
SNMPバージョンなどの詳細は、管理者にお問い合わせください。

### ■ お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合

TCP/IP印刷ポートをご使用の場合は、下記項目1～3のSNMPコミュニティ名を確認してください。

1. お使いの複合機（例：リードコミュニティ「public」/リードライトコミュニティ「private」が設定されている場合）

2. [SNMP設定] ダイアログボックス

複合機のリードライトコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。間違ったリードライトコミュニティ名を入力すると、部門管理などいくつかの機能が使用できなくなりますので、ご注意ください。

### 3. プリンタードライバー／N/W-Faxドライバー [ポートの設定] タブのTCP/IPポート

標準 TCP/IP ポート モニターの構成

ポートの設定

ポート名(P):

プリンター名または IP アドレス(A):

プロトコル

☒ Raw(R) ☐ LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q):

☐ LPR バイトカウントを有効にする(B)

☒ SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス インデックス(I): 1

OK キャンセル

複合機のリードコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。  
[ポートの設定] タブの [SNMP デバイス インデックス] の値が“1”になっていることを確認してください。

#### 注 意

- [SNMP デバイス インデックス] の値が“0”の場合、機器と通信ができなくなります。
- SMB印刷ポートをご使用の場合は、お使いの複合機のリードライトコミュニティ名と [SNMP設定] ダイアログボックスのコミュニティ名が同じである必要があります。
- インストールディスクに収録されているアプリケーション（TWAINドライバー、ファイルダウンローダー、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。



## ■ お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合

下記項目1と2のSNMP設定を確認してください。

### 1. お使いの複合機のSNMP V3ユーザー情報



SNMP V3ユーザー情報作成

保存 キャンセル

コンテキスト名: MFP

ユーザー名:

認証プロトコル: HMAC-MD5

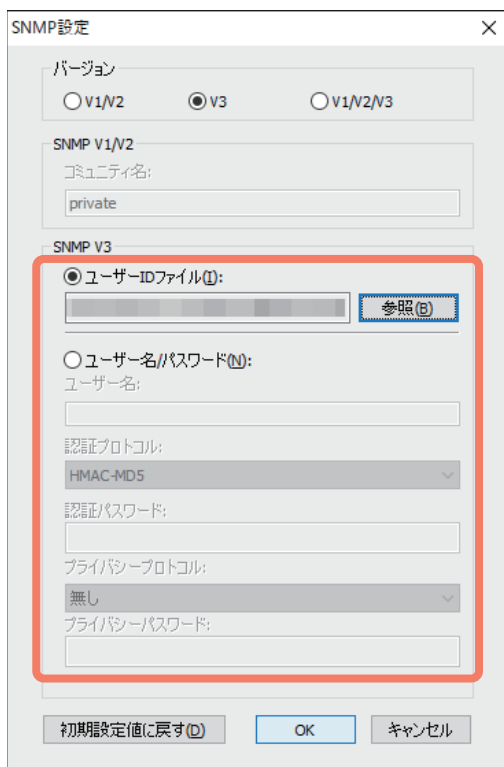
認証パスワード:

プライバシープロトコル: なし

パスワード:

許可レベル: 管理者

### 2. [SNMP設定] ダイアログボックス



SNMP設定

バージョン

☐ V1/V2 ☒ V3 ☐ V1/V2/V3

SNMP V1/V2

コミュニティ名: private

SNMP V3

☒ ユーザーIDファイル(I):

参照(R)

☐ ユーザー名/パスワード(N):

ユーザー名:

認証プロトコル: HMAC-MD5

認証パスワード:

プライバシープロトコル: 無し

プライバシーパスワード:

初期設定値に戻す(R) OK キャンセル

複合機のユーザー情報と同じ情報が入力されていることを確認してください。

#### 注意

インストールディスクに収録されているアプリケーション（TWAINドライバー、ファイルダウンローダー、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。



# プリンタードライバーのインストール (Windows)

<b>インストールする前に</b> .....	36
プリンタードライバーの種類 .....	36
必要条件 .....	36
インストール手順について .....	37
<b>プリンタードライバーのインストール</b> .....	38
Software Installerを使ってインストールする .....	39
個別インストーラーを使ってインストールする .....	50
TopAccessからインストールする .....	59
本機の共有フォルダーからインストールする .....	60
<b>その他のインストール</b> .....	61
Raw TCP/LPR印刷（プリンターの追加ウィザード） .....	61
USB印刷 .....	66
IPP印刷 .....	69
Novell iPrint印刷 .....	73
Web Serviceプリント .....	74
<b>Windows用PPDファイルのコピー</b> .....	77
<b>プリンタードライバーのアンインストール</b> .....	78
<b>プリンタードライバーの修復</b> .....	80

## インストールする前に

クライアントソフトウェアをインストールする前に、以下を参照して適切なインストールを行ってください。

### 本機のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合

本機のプリンタードライバーをアップデートする前に、現在お使いのプリンタードライバーをすべて削除してください。

📖 P.78 「プリンタードライバーのアンインストール」

同じ種類のプリンタードライバーを連続してインストールする場合は、ドライバーをアンインストール後、コンピューターを再起動してからインストールを行ってください。

## ■ プリンタードライバーの種類

- **Universal Printer 2ドライバー**：PCL6とPS3を統合したプリンタードライバーです。お使いのアプリケーションの用途に合わせ幅広くお使いいただけます。
- **Universal PS3プリンタードライバー**：DTPに用いるようなPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

### 補 足

- Universal Printer 2ドライバーは、印刷に使用するPDL（Page Description Language：ページ記述言語）を切り替えて使用することができます（「PCL6」⇔「PS3」）。また、e-STUDIO Seriesの他機種を利用し印刷することもできます。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

#### 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - 複数の複合機がある場合に利用できる機能

- インストールディスクには、印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。このファイルはお使いのコンピューターの適切な場所にコピーして使用します。

詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.77 「Windows用PPDファイルのコピー」

## ■ 必要条件

Windowsコンピューターにプリンタードライバーや他のクライアントソフトウェアをインストールするには、下記環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**  
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**  
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**  
OSが要求する推奨環境以上
- **メモリ**  
OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**  
Windows 10以降  
Windows server 2012以降
- **必要なソフトウェア**  
Microsoft Edge 89以上

## ■ インストール手順について

接続環境に適した印刷方法に合わせてインストールしてください。

### Raw TCP/LPR 印刷

本機は、TCP/IPによるRaw TCPおよびLPR印刷をサポートしています。TCP/IPネットワークで本機と接続されている場合は、Raw TCP/LPR印刷をお勧めします。

📖 P.38 「プリンタードライバのインストール」

#### 補 足

- Raw TCP接続で印刷を行うには、本機のRaw TCP印刷サービスが有効である必要があります。Raw TCP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。
- LPR接続で印刷を行うには、本機のLPD印刷サービスが有効である必要があります。LPD印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

### SMB 印刷

本機では、「Microsoft用ファイルとプリンター共有サービス」によるSMBプロトコルを利用して本機と接続することができます。ただし、大量文書の印刷には適していません。

📖 P.38 「プリンタードライバのインストール」

#### 注 意

SMB印刷は小規模ネットワークで利用することを想定しています。Windows 10以降 / Windows Server 2012以降いずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。

### インターネット印刷

IPP印刷では、インターネットを経由して本機で印刷することができます。遠隔地から印刷したいときに利用することができます。

📖 P.69 「IPP印刷」

#### 補 足

IPP印刷を行うには、本機のIPP印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。IPP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

### Novell iPrint印刷

本機がTCP/IP環境で接続されておりNetWare 6.5のiPrintサービスがセットアップされている場合は、NetWareプリントサーバーを経由して印刷することができます。この場合は、iPrint Clientを使用してNetWareプリントサーバーからプリンタードライバをインストールします。

📖 P.73 「Novell iPrint印刷」

### Web Serviceプリント

本機がTCP/IP環境で接続されている場合、Web Serviceプリント機能を利用して印刷することができます。





📖 P.74 「Web Serviceプリント」

## プリンタードライバーのインストール

---

Windowsコンピュータへプリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーのインストールは、インストールディスク、TopAccessまたは本機の共有フォルダーから行います。

- インストールディスクを使ってインストールする  
インストール方法には、次の2つがあります。
  - **Software Installer**を使用する  
インストールディスクをディスクドライブに挿入すると、**Software Installer**が自動的に起動します。このプログラムからプリンタードライバーや他のクライアントソフトウェアをインストールすることができます。プリンタードライバーだけでなく他のソフトウェアも同時にインストールする場合には、この方法をお勧めします。  
 **P.39 「Software Installerを使ってインストールする」**
  - **個別インストーラー**を使用する  
インストールディスクには、**Universal Printer 2**や**Universal PS3**の各プリンタードライバーを個別にインストールするためのセットアッププログラム（**essetup.exe**）が収録されています。お好みのプリンタードライバーだけをインストールしたい場合には、この方法をお勧めします。  
 **P.50 「個別インストーラーを使ってインストールする」**
- **TopAccess**からインストールする  
**Universal Printer 2**や**Universal PS3**の各プリンタードライバーが本機にアップロードされている場合、各ユーザーは**TopAccess**から必要なプリンタードライバーをインストールすることができます。  
 **P.59 「TopAccessからインストールする」**
- 本機の共有フォルダーからインストールする  
本機の共有フォルダーには**Universal Printer 2**や**Universal PS3**の各プリンタードライバーのセットアッププログラム（**essetup.exe**）が格納されています。各ユーザーはそのフォルダーから必要なプリンタードライバーをインストールすることができます。  
 **P.60 「本機の共有フォルダーからインストールする」**

## ■ Software Installerを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピューターのバージョンに合わせて操作を行ってください。

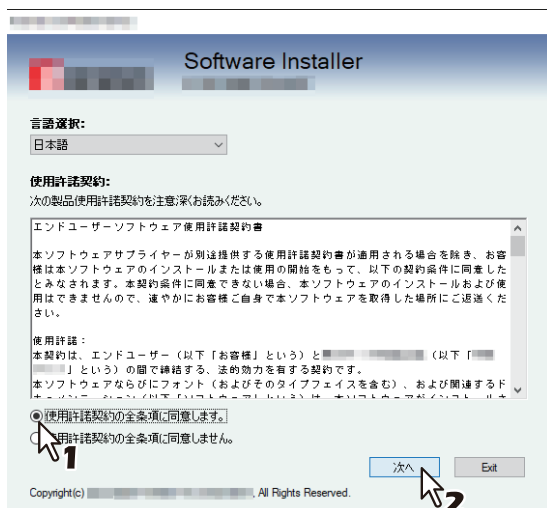
### 注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

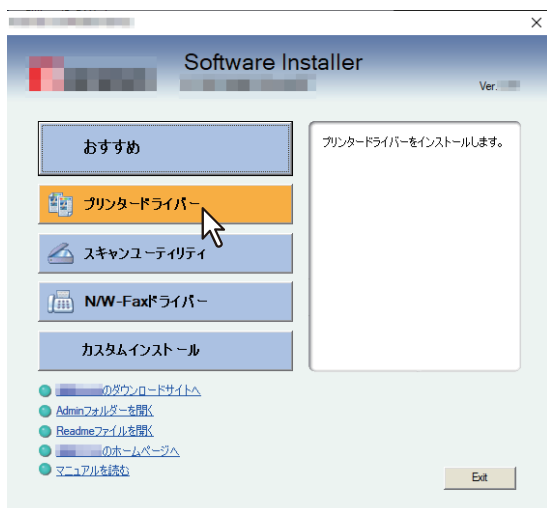
### 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダーをエクスプローラーで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

### 2 [使用許諾契約の全条項に同意します。]を選択し、[次へ]をクリックします。



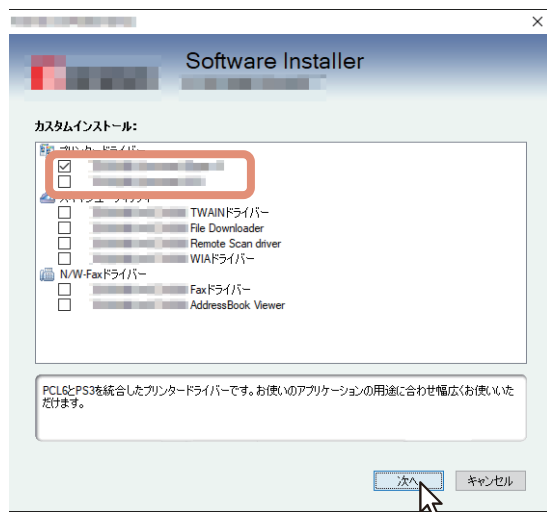
### 3 [プリンタードライバー] または [カスタムインストール] をクリックします。



**プリンタードライバー：** Universal Printer 2ドライバーをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順5にお進みください。

**カスタムインストール：** インストールしたいプリンタードライバー、およびユーティリティを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順4にお進みください。

## 4 インストールするソフトウェアを選択し、[次へ] をクリックします。



## 5 インストールするソフトウェアを確認し、本機と接続するポートを選択してから [インストール] をクリックします。

### 補 足

目的の弊社複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下の参照先の手順4をご覧ください。

📖 P.26 「おすすめインストール手順」

## 6 プリンタードライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。接続環境に応じて、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.41 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.48 「SMB印刷」



## □ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

### 注意

設定を行う前に、以下を確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

### 本機を自動的に検出する

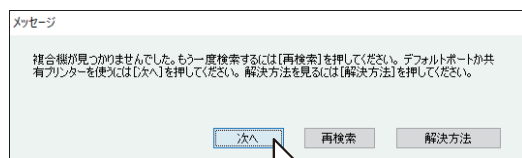
ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタードライバーをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

### 注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。以下の操作を行って、設定を続行してください。

- 本機を再検索する場合は、[再検索] をクリックします。
- [SNMP設定] ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。
- 暫定的にローカルポートを選択し、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定する場合は、[次へ] をクリックします。以降の設定手順は、以下の参照先をご覧ください

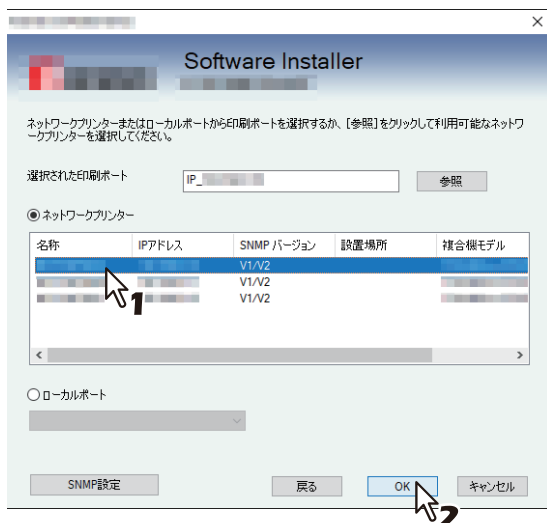
📖 P.43 「本機が自動的に検出されなかった場合には」



- 本機のIPアドレスがあらかじめ分かっている場合は、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。手順7で「プリンターポート」ボックスに下記のようにネットワークパスを入力してください。

¥¥<IPアドレス>または¥¥IP\_<IPアドレス>

## 7 検出されたプリンターが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。

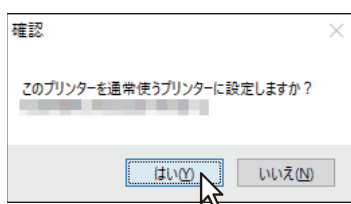


TCP/IPポートが作成されます。

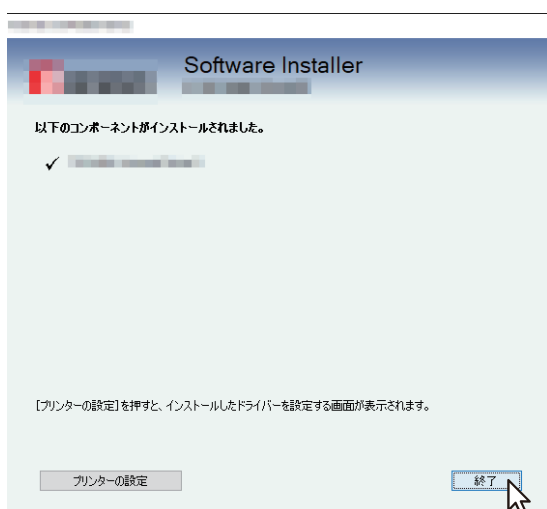
### 補 足

Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

## 8 通常使うプリンターに設定する場合は、【はい】 をクリックします。



## 9 インストールの完了を確認し、【終了】 をクリックします。



## 補 足

- ・コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- ・[プリンターの設定] をクリックするとテストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバーの設定および印刷設定を行うことができます。[完了] をクリックした後でも設定することができます。設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

## 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバーの機能概要

- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバーの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- [戻る]：インストールの完了画面に戻ります。

## 10 [Exit] をクリックします。

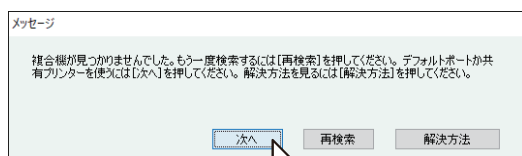
インストーラーの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

## 本機が自動的に検出されなかった場合には

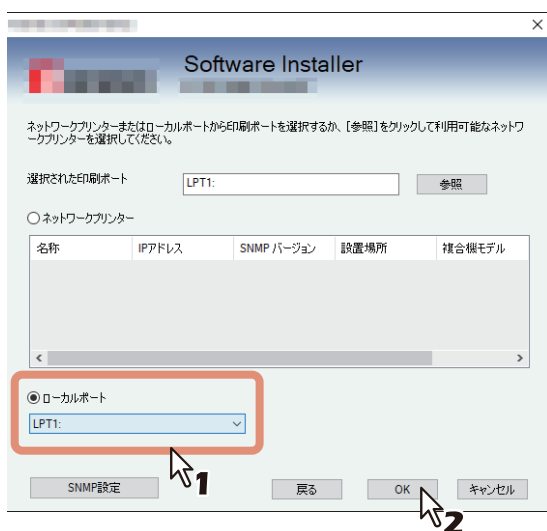
ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、暫定的にローカルポートを選択してプリンタードライバーをインストールし、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

## 注 意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。[次へ] をクリックし、設定を続行してください。



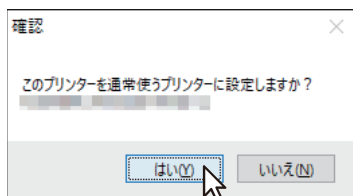
## 7 [ローカルポート] および「LPT1:」を選択し、[OK] をクリックします。



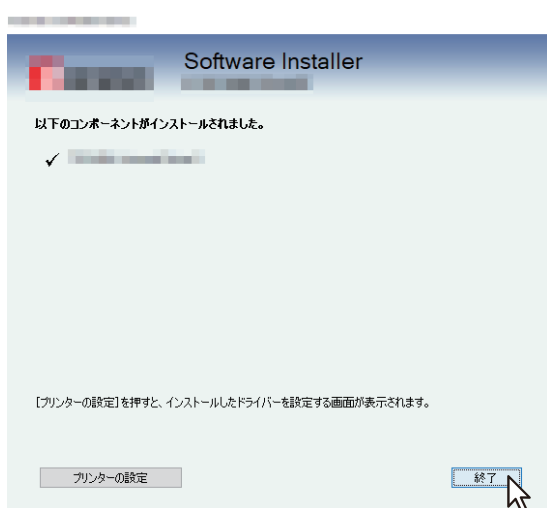
## 補 足

Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

## 8 通常使うプリンターに設定する場合は、[はい] をクリックします。



## 9 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。



### 補 足

- ・ コンピューターの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- ・ [プリンターの設定] をクリックするとテストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバーの設定および印刷設定を行うことができます。必要に応じて、[完了] をクリックした後も設定することができます。設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

#### 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバーの機能概要

- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバーの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- [戻る]：インストールの完了画面に戻ります。

## 10 [Exit] をクリックします。

インストーラーの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

## 11 プリンターフォルダーを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

### 補 足

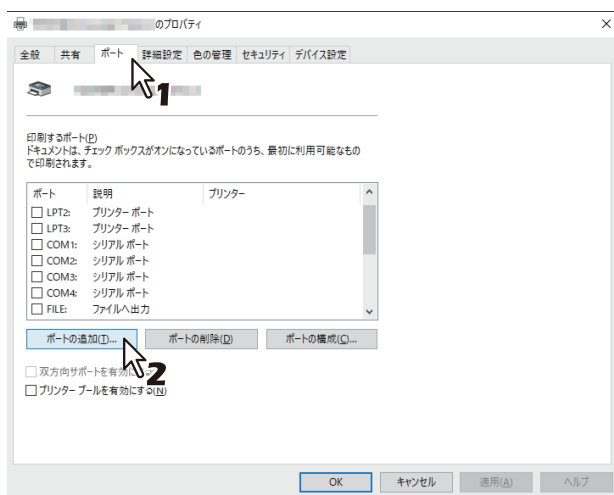
Windows Server 2012以降をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。

## 12 インストールしたプリンタードライバのプロパティを表示します。

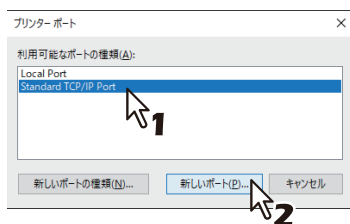
インストールしたプリンタードライバを選択し、右クリックメニューから「プリンターのプロパティ」をクリックします。



## 13 [ポート] タブを選択し、[ポートの追加] をクリックします。

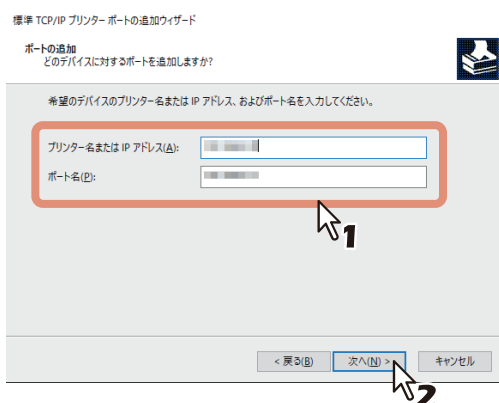


## 14 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。



## 15 [次へ] をクリックします。

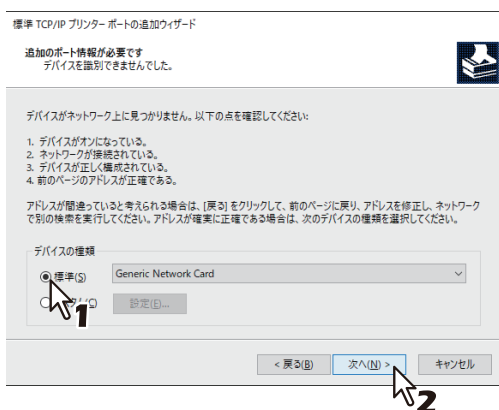
## 16 [プリンター名またはIPアドレス] ボックスに本機のIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、[プリンター名またはIPアドレス] ボックスには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- [プリンター名またはIPアドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。
- IPv6環境の場合は、IPv6のアドレスを入力してください。

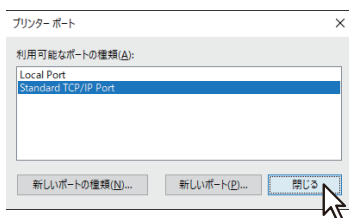
### 注 意

以下の画面が表示された場合は、[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

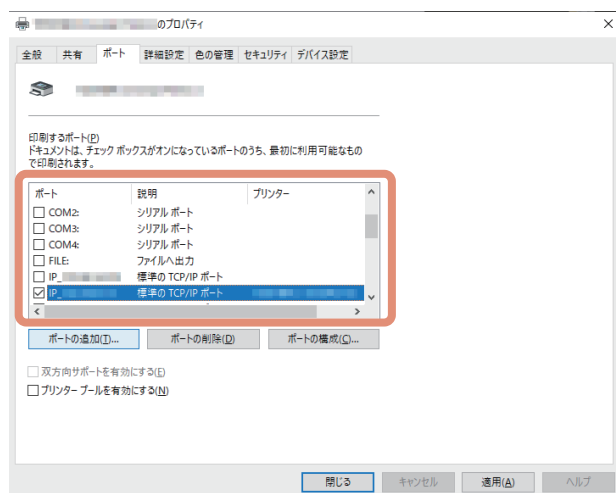


## 17 [完了] をクリックします。

## 18 [閉じる] をクリックし、[プリンターポート] ダイアログボックスを閉じます。



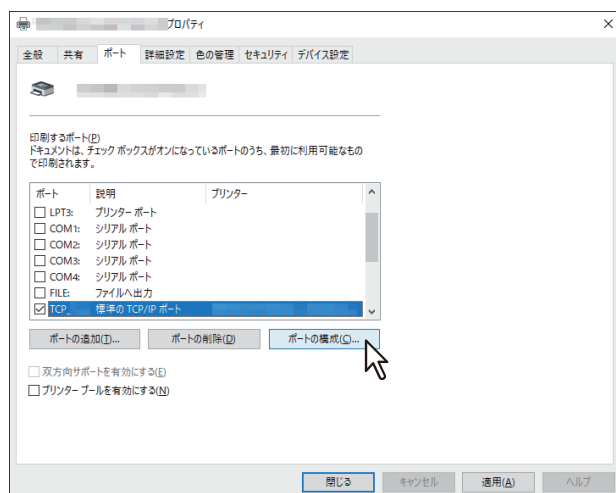
## 19 [印刷するポート] リストにて、作成したRaw TCPポートがチェックされていることを確認します。



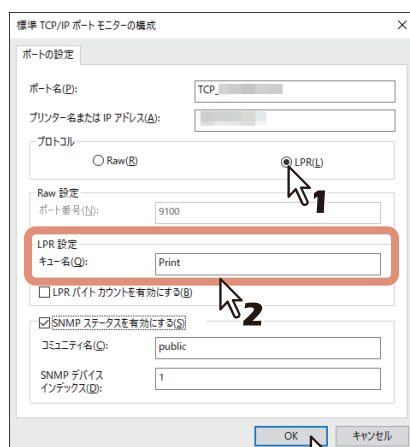
### 補足

LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定してください。

1. [ポートの構成] をクリックします。



2. [プロトコル] で [LPR] を選択して、[LPR設定] の [キュー名] ボックスへ「Print」と入力し、[OK] をクリックします。



## 20 [OK] をクリックし、設定を保存します。

### 注意

必要に応じて [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

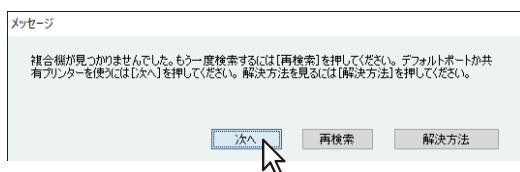
## 21 [閉じる] をクリックします。

### ☐ SMB印刷

SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタードライバをインストールします。

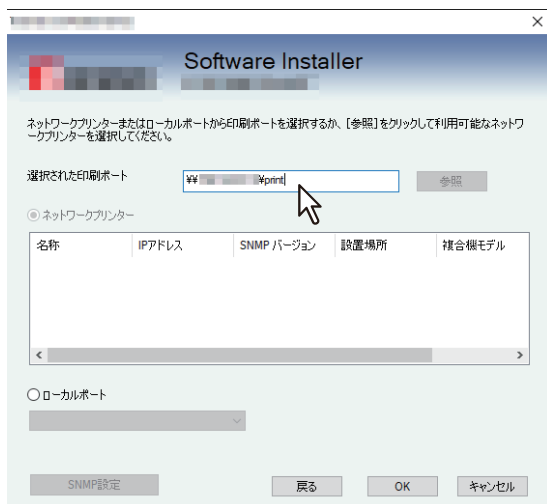
### 注意

- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認してください。
- インストール開始後、ネットワーク上のプリンターが検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。[次へ] をクリックし、設定を続行してください。



## 7 [選択された印刷ポート] ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力します。

¥¥<IPアドレス>¥print

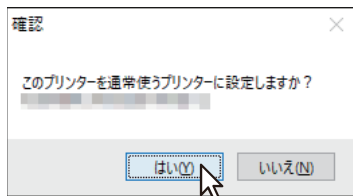


## 8 [OK] をクリックします。

### 補足

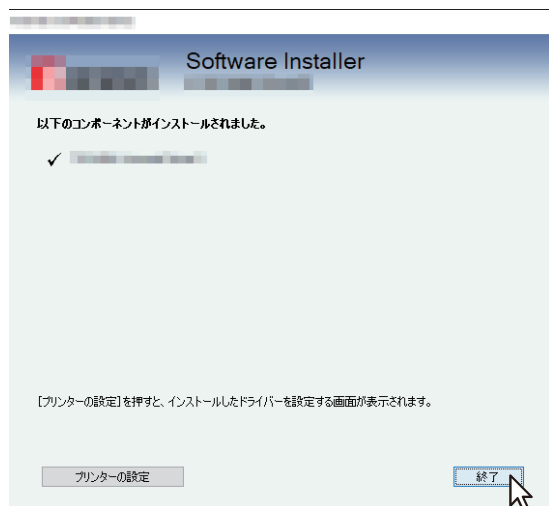
Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

## 9 通常使うプリンターに設定する場合は、[はい] をクリックします。





## 10 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。



### 補 足

- コンピューターの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- [プリンターの設定] をクリックするとテストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバーの設定および印刷設定を行うことができます。[完了] をクリックした後でも設定することができます。設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

#### 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバーの機能概要

- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバーの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- [戻る]：インストールの完了画面に戻ります。

## 11 [Exit] をクリックします。

インストーラーの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

## ■ 個別インストーラーを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

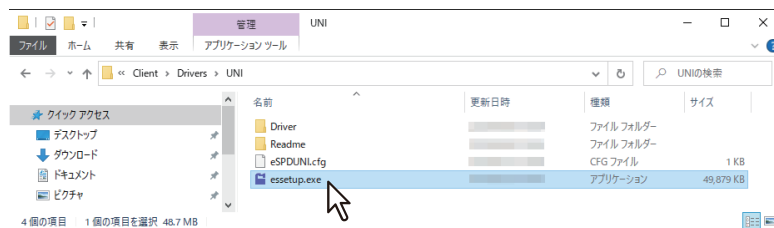
### 注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

### 1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

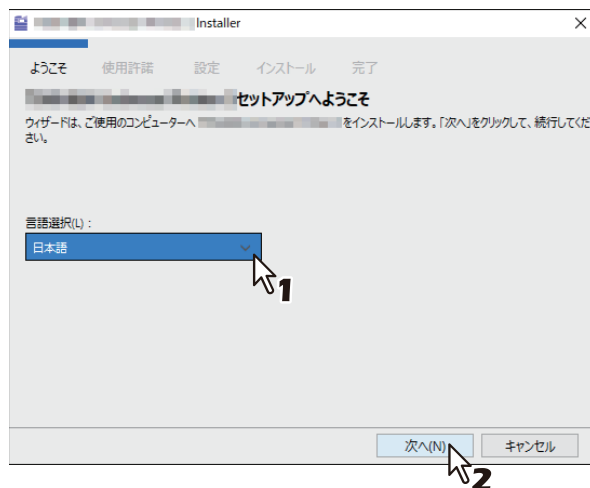
### 2 セットアッププログラムがあるフォルダーを開き、「essetup.exe」 ファイルをダブルクリックします。



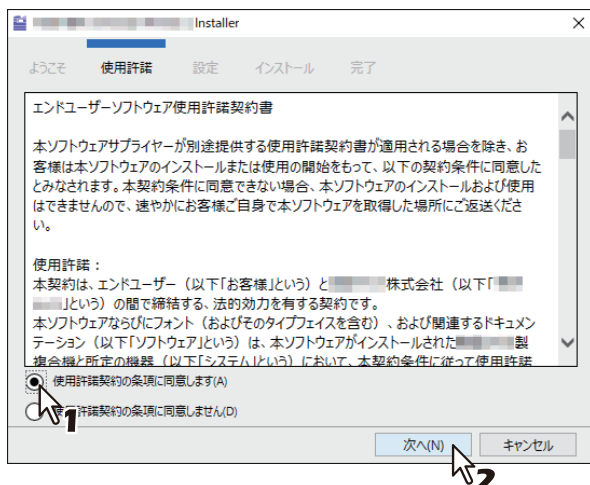
プリンタードライバーのセットアッププログラムは、次のフォルダーに収録されています。

- Universal Printer 2ドライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI
- Universal PS3プリンタードライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS

### 3 使用する言語を選択し、[次へ] をクリックします。



## 4 [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



[設定] ウィンドウが表示されます。

## 5 プリンタードライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。以降の手順は、それぞれの接続環境の説明に進んでください。

📖 P.51 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.55 「SMB印刷」

### ☐ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

#### 注意

設定を行う前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

### 本機を自動的に検出する

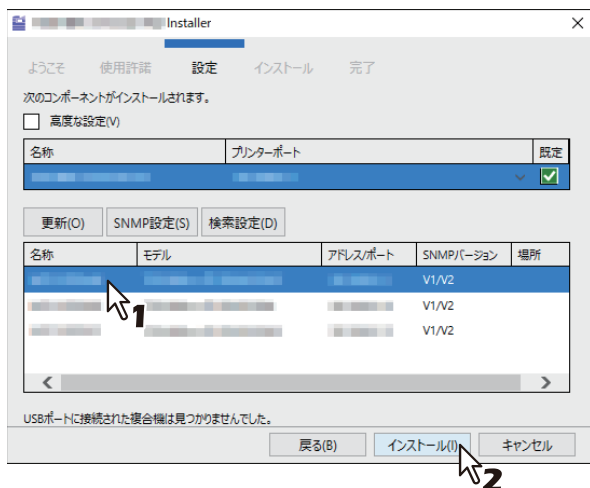
ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタードライバをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

#### 注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、メッセージが表示されます。この場合は、以下の操作を行って設定を続行してください。

- 本機を再検索する場合は、[更新] をクリックします。
- [SNMP設定] をクリックして、[SNMP設定] ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。  
目的の弊社複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下の参照先をご覧ください。  
📖 P.56 「SNMP設定を確認／変更する」
- [検索設定] ダイアログボックスで、ネットワーク上の複合機を検索する条件を設定する場合は、以下の参照先をご覧ください。  
📖 P.57 「検索条件を絞り込む」
- ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下の参照先をご覧ください。  
📖 P.53 「本機が自動的に検出されなかった場合には」
- 本機のIPアドレスがあらかじめ分かっている場合は、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。手順6で「プリンターポート」ボックスに下記のようにネットワークパスを入力してください。  
¥¥<IPアドレス>または¥¥IP\_<IPアドレス>

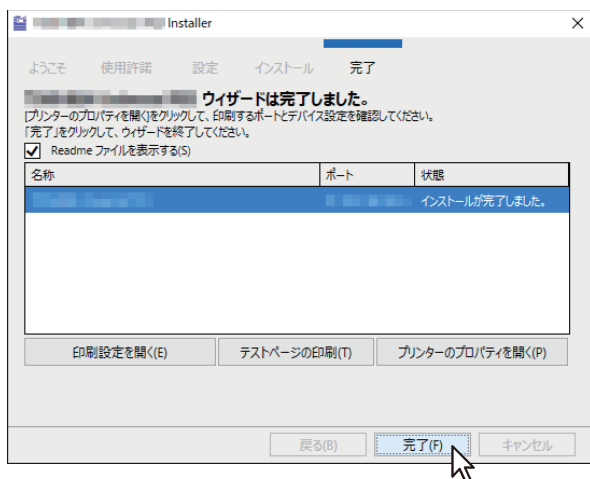
## 6 検出されたプリンターが表示されるので、本機を選択し【インストール】をクリックします。



### 補 足

Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

## 7 【完了】をクリックします。



### 補 足

- ・コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- ・テストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバの設定および印刷設定を行うことができます。[完了] をクリックした後も設定することができます。設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

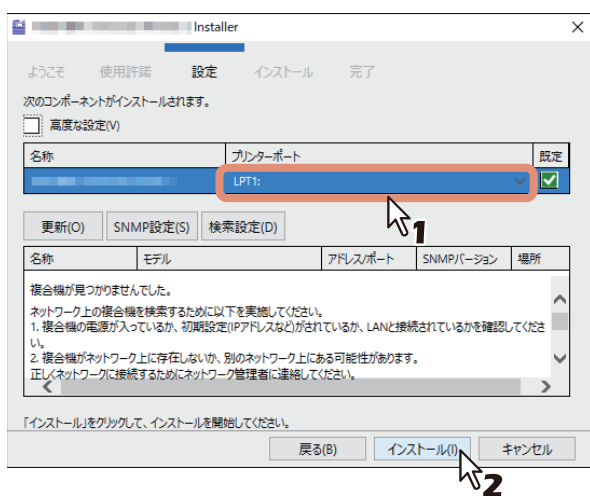
#### 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバの機能概要

- Readmeファイルを表示する：チェックマークを付けていると [完了] をクリックした後に Readmeファイルが開きます。
- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

## 本機が自動的に検出されなかった場合には

ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、暫定的にローカルポートを選択してプリンタードライバーをインストールし、その後Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

### 6 【プリンターポート】に「LPT1:」を入力し、【インストール】をクリックします。

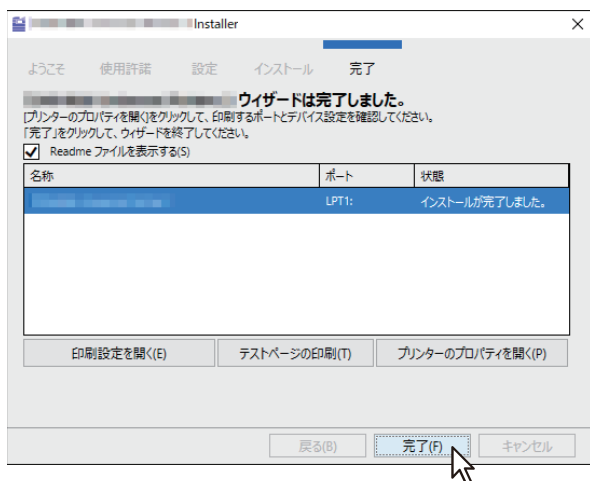


### 7 【プリンターのプロパティを開く】をクリックします。

### 8 以降の操作は、以下の参照先の手順13～手順21に従って手動で印刷ポートを設定してください。

📖 P.43 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

### 9 【完了】をクリックします。



## 補 足

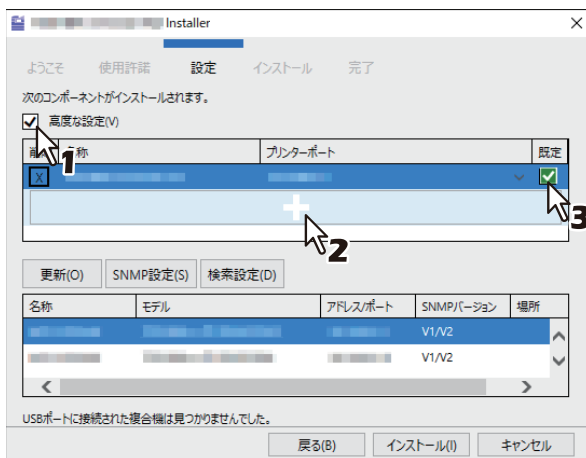
- コンピューターの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- テストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバーの設定および印刷設定を行うことができます。[完了] をクリックした後でも設定することができます。設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

### 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバーの機能概要

- Readmeファイルを表示する：チェックマークを付けていると [完了] をクリックした後に Readmeファイルが開きます。
- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバーの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

## □ 検索結果から他の複合機を追加する場合

- 1 [高度な設定] をクリックしてチェックマークを付けます。
- 2 検索結果から追加したい複合機をクリックし、[+] ボタンをクリックしてください。
- 3 通常使うプリンターに設定する複合機は、[既定] をクリックしてチェックマークを付けてください。



## 補 足

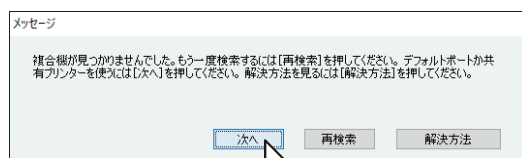
プリンタードライバーをインストールしない複合機は、[x] マークをクリックして削除してください。

## □ SMB印刷

SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタードライバをインストールします。

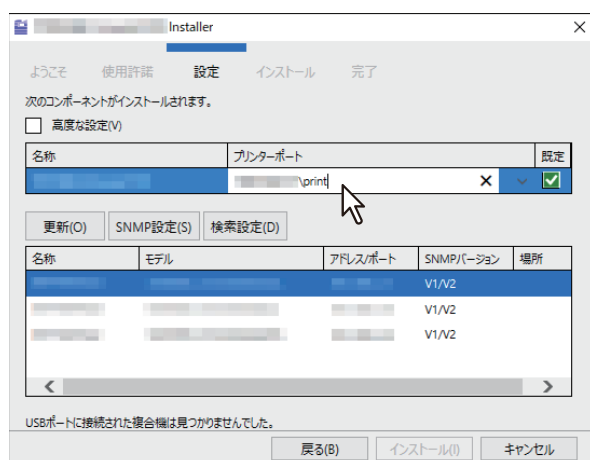
### 注意

- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認してください。
- ネットワーク上のプリンターが検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



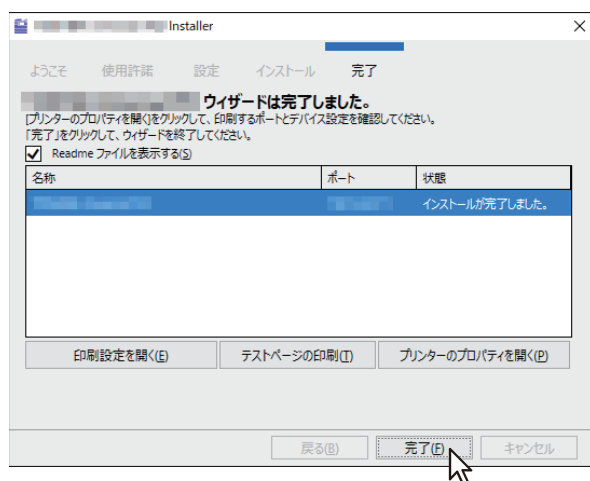
## 6 【プリンターポート】ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力します。

\\<IPアドレス>\print



## 7 【インストール】をクリックします。

## 8 【完了】をクリックします。



### 補足

- コンピューターの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックしてください。
- テストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバの設定および印刷設定を行うことができます。必要に応じて、次に表示されるボタンをクリックして設定してください。[完了]をクリックした後も設定することができます。設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

## 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバの機能概要

- Readmeファイルを表示する：チェックマークを付けていると [完了] をクリックした後に Readmeファイルが開きます。
- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

### □ SNMP設定を確認／変更する

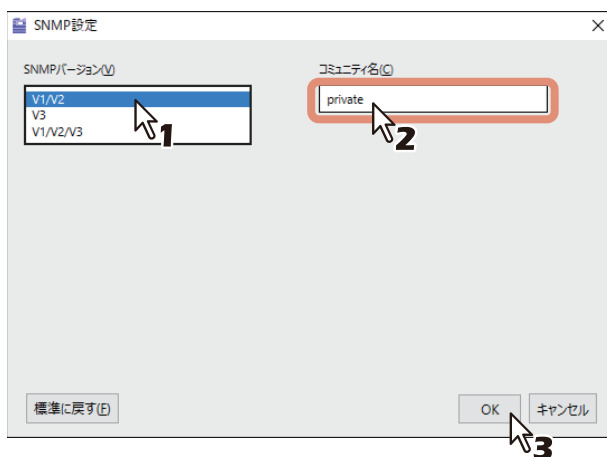
#### [SNMP設定] について

目的の弊社複合機と [SNMP設定] ダイアログボックスのSNMP設定が一致していないと、複合機を検出することができません。[SNMP設定] ダイアログボックスでSNMP設定が正しいことを確認し、必要であれば設定の変更を行ってください。

お使いの弊社複合機のSNMP設定については、管理者にお問い合わせください。

#### SNMPバージョンがV1およびV2の場合

1. お使いの弊社複合機に「private」（初期値）以外の SNMP コミュニティ名が設定されている場合は、[V1/V2] を選択します。
2. SNMPコミュニティ名を変更します。
3. [OK] をクリックします。



#### 注意

SNMPコミュニティ名を変更する場合は、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.31 「SNMP設定変更時の注意事項」



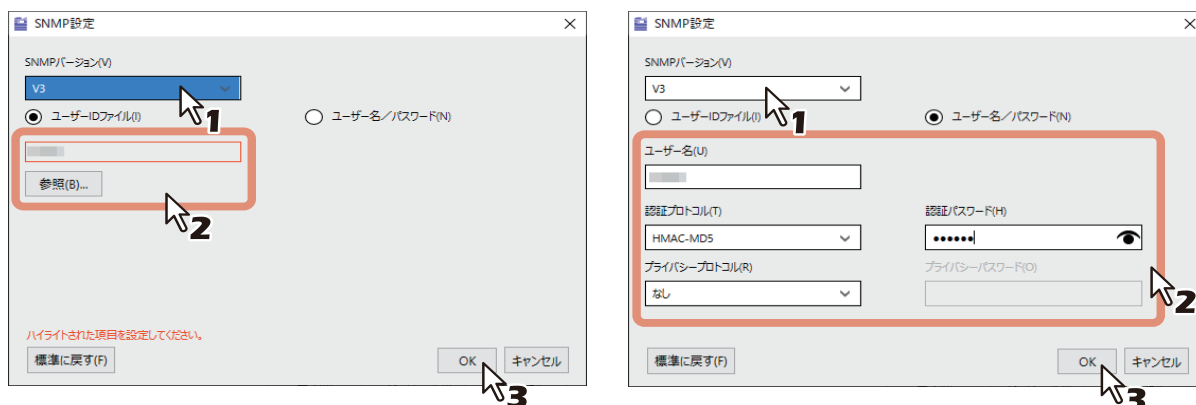
## SNMPバージョンがV3の場合

1. [V3] を選択します。
2. ユーザー ID ファイルを使用して認証を行う場合は、[参照] をクリックし、ユーザー ID ファイルを指定します。  
ユーザー認証情報を使用して認証を行う場合は、[ユーザー名/パスワード] をクリックし、必要な認証情報を入力します。

### 注意

- ・ 事前に管理者から認証方法についての確認を行ってください。
- ・ SNMP設定を変更する場合は、以下の参照先をご覧ください。  
📖 P.31 「SNMP設定変更時の注意事項」

3. [OK] をクリックします。

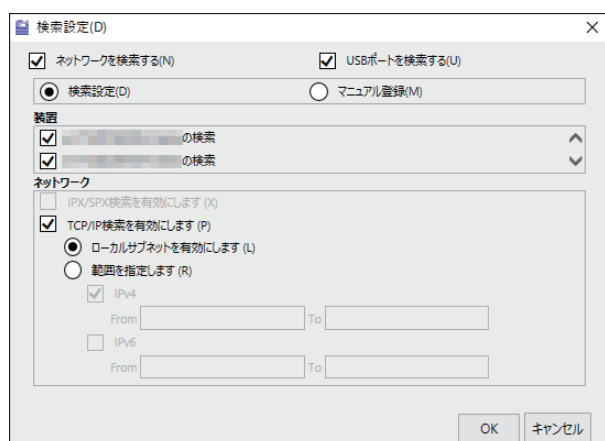


\* お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンがV1、V2、V3の場合は、[V1/V2/V3] を選択して上記設定の両方を行ってください。

## 検索条件を絞り込む

[ネットワーク検索] および [USB検索] のチェックボックスにチェックを入れることで、ネットワークプリンターおよびUSBプリンターを検出対象として検索します。

検索条件を絞り込むには、[検索設定] をクリックし、表示される [検索設定] ダイアログボックスで以下の設定を行ってください。



### 1. 装置

検索する複合機名のチェックボックスにチェックを入れます。

## 2. Network

### 「IPX/SPX検索を有効にします」

この機能は、ご使用できません。

### 「TCP/IP検索を有効にします」

TCP/IPネットワークに接続されている複合機を検索します。このオプションは、お使いのコンピューター TCP/IP プロトコルがインストールされているときに有効です。このオプションを選択したときは、TCP/IP ネットワーク上の複合機をどのように検索するか指定します。

- ローカルサブネットを有効にします：ローカルサブネットの複合機を検索します。このオプションを選択したときは、[IPv4] または [IPv6] のどちらかのチェックボックスをオンにし、検索するプロトコルを指定します。
- 範囲を指定します：IPアドレスの範囲を指定して複合機を検索する場合に選択します。このオプションを選択したときは、[IPv4] または [IPv6] のどちらかのチェックボックスをオンにし、[From] および [To] ボックスにIPアドレスをそれぞれ入力して検索範囲を指定します。

## マニュアル登録

お使いの複合機が他のセグメントにある場合には検出されないことがあります。この場合は、[マニュアル登録] ボタンから手動で装置に接続してください。

**IPv4 IPアドレス**：IPv4で指定する場合に選択します。選択した場合は、IPv4形式でお使いの複合機のIPアドレスを入力します。

**IPv6 IPアドレス**：IPv6で指定する場合に選択します。選択した場合は、IPv6形式でお使いの複合機のIPアドレスを入力します。

**IPXアドレス**：IPXで指定する場合に選択します。選択した場合は、IPX形式でお使いの複合機のIPXアドレスを入力します。

**名称**：お使いの複合機の名称を入力します。


**設置場所**：お使いの複合機の設置場所を入力します。

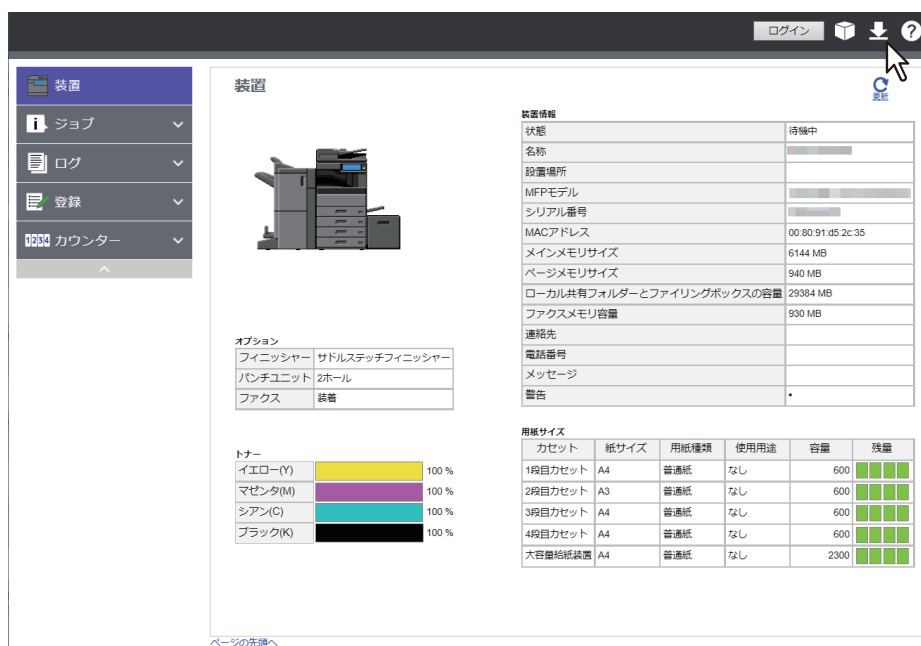
## ■ TopAccessからインストールする

お使いのWindowsコンピューターのバージョンに合わせて操作を行ってください。

### 注 意

- 本機能を使用するには以下の条件が必要です。
  - 本機に内蔵ストレージが装着されていること
  - 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつファイル共有が制限されていないこと  
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

1 TopAccessの画面右上にある （[ソフトウェアのインストール]）をクリックします。



2 インストールしたいプリンタードライバのファイル名リンクをクリックします。



3 セットアッププログラムが圧縮されているZIPファイルをダウンロードします。

ブラウザーに設定されているダウンロード場所に保存されます。

4 ダウンロードしたZIPファイルを右クリックして「すべてを展開」を選択します。

表示する画面の指示に従ってZIPファイルを解凍してください。

5 解凍したフォルダーを開き、「essetup.exe」ファイルをダブルクリックします。

6 使用する言語を選択し、「次へ」をクリックします。

**7** [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。  
[設定] ウィンドウが表示されます。

**8** プリンタードライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。以降の手順は、それぞれの接続環境の説明に進んでください。

📖 P.51 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.55 「SMB印刷」

## ■ 本機の共有フォルダーからインストールする

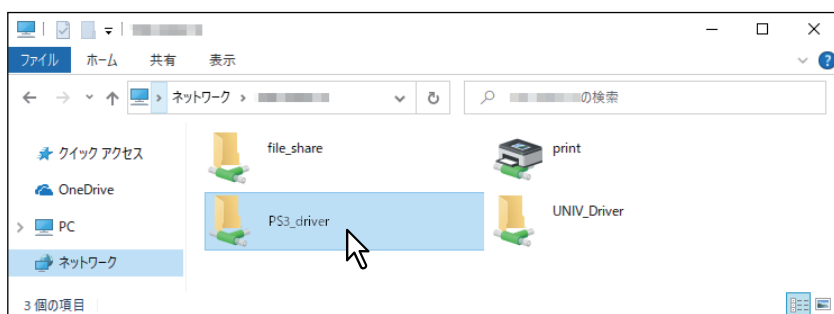
お使いのWindowsコンピューターバージョンに合わせて操作を行ってください。

### 注意

- 本機能を使用するには以下の条件が必要です。
  - 本機に内蔵ストレージが装着されていること
  - 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつプリント共有が制限されていないこと  
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

**1** エクスプローラーで本機の共有フォルダー（MFPローカル）を開きます。

**2** インストールしたいプリンタードライバのフォルダーを開きます。



### 補 足

[print] アイコンをダブルクリックし、「Raw TCP/LPR印刷（プリンターの追加ウィザード）」と同様に「プリンターの追加ウィザード」を使ってSMB印刷を行うためのプリンタードライバのセットアップができます。「Raw TCP/LPR印刷（プリンターの追加ウィザード）」については、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.61 「Raw TCP/LPR印刷（プリンターの追加ウィザード）」

**3** セットアッププログラム（essetup.exe）をダブルクリックします。

インストールが開始され、TCP/IPポート（IPv4）が自動的に作成されます。

**4** インストールが完了します。

インストール結果がタスクバーに表示されます。

- SNMP設定の確認方法は、以下の参照先の「[SNMP設定] について」をご覧ください。  
📖 P.26 「おすすめインストール手順」
- 本機をIPv4環境でお使いの場合は、インストールはここで完了です。  
本機をIPv6環境でお使いの場合は、以下の参照先の手順11以降に従って、手動で印刷ポートを設定してください。  
📖 P.43 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

## その他のインストール

以下の印刷環境は、インストールディスクのSoftware Installerまたは個別インストーラーからのインストールではセットアップできません（USB印刷は除く）。これらの印刷をセットアップする場合は、各インストール手順を参照してください。

### ■ Raw TCP/LPR印刷（プリンターの追加ウィザード）

ここでは、「プリンターの追加ウィザード」を使ってRaw TCP/LPR印刷を行うためのプリンタードライバのセットアップ方法について説明します。

#### 注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログインしてください。

#### 補足

プリンタードライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- ・ 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- ・ 本機およびお使いのコンピューターにTCP/IPが正しく設定されていること。

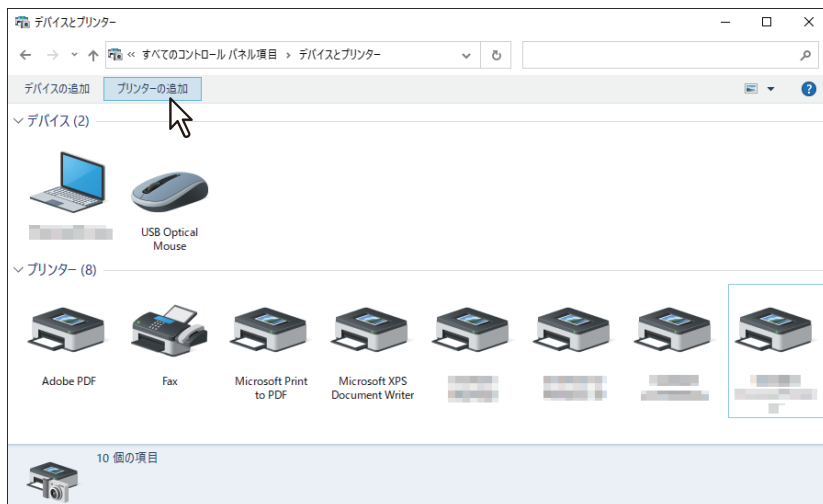
#### 1 プリンターフォルダーを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

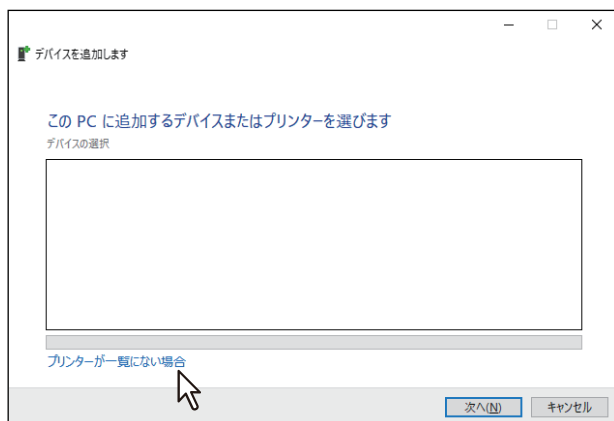
#### 補足

Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。

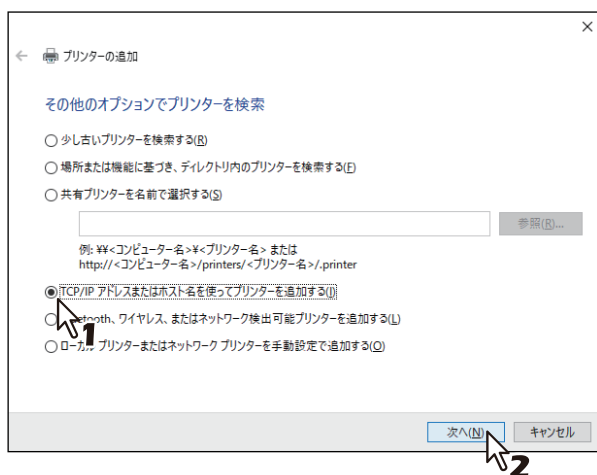
#### 2 [プリンターの追加] をクリックします。



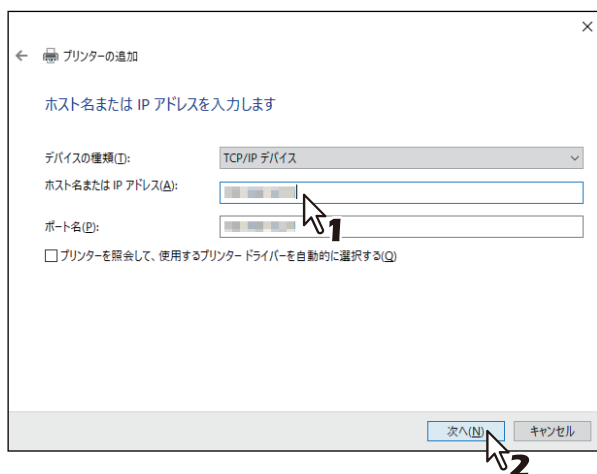
#### 3 [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。



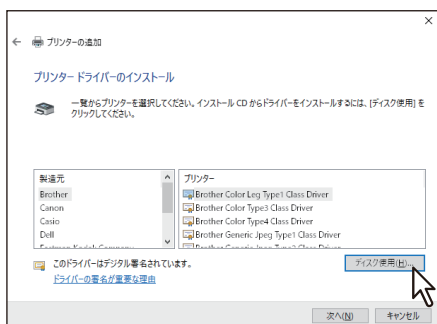
## 4 [TCP/IPアドレスまたはホスト名を使ってプリンターを追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。



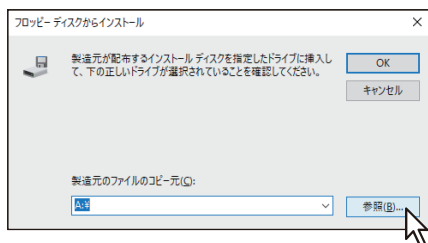
## 5 [ホスト名またはIPアドレス] ボックスに本機のホスト名またはIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



## 6 [ディスク使用] をクリックします。



## 7 [参照] をクリックします。

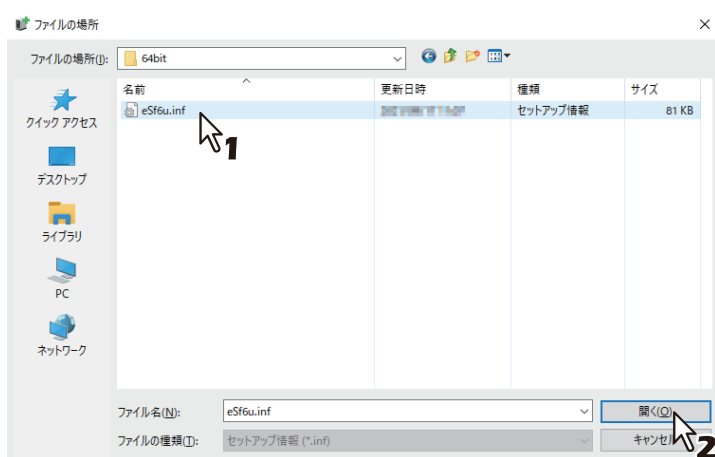


[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。

## 8 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

## 9 プリンタードライバーのあるフォルダーを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。



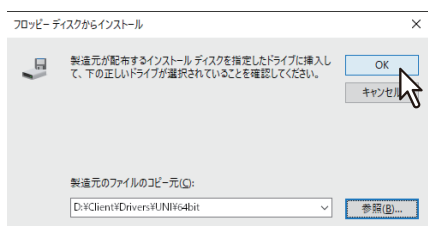
### • 32ビット版のWindowsコンピューターをお使いの場合

- Universal Printer 2ドライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥Driver¥32bit
- Universal PS3プリンタードライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥Driver¥32bit

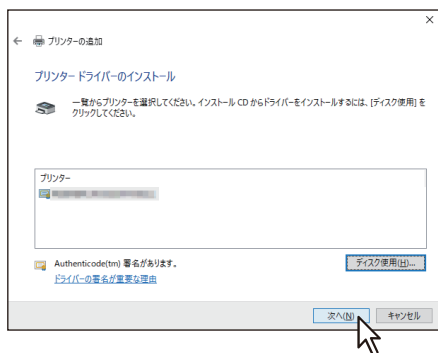
### • 64ビット版のWindowsコンピューターをお使いの場合

- Universal Printer 2ドライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥Driver¥64bit
- Universal PS3プリンタードライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥Driver¥64bit

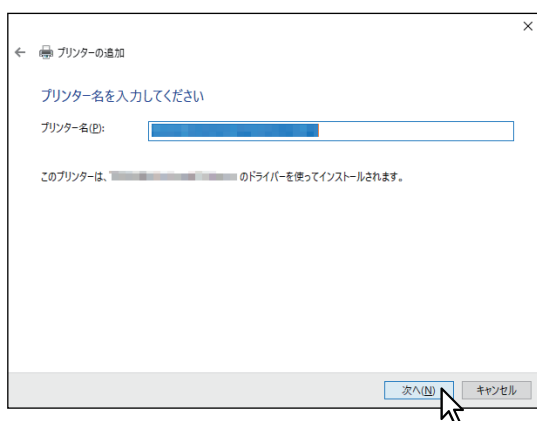
## 10 ファイルパスを確認し、[OK] をクリックします。



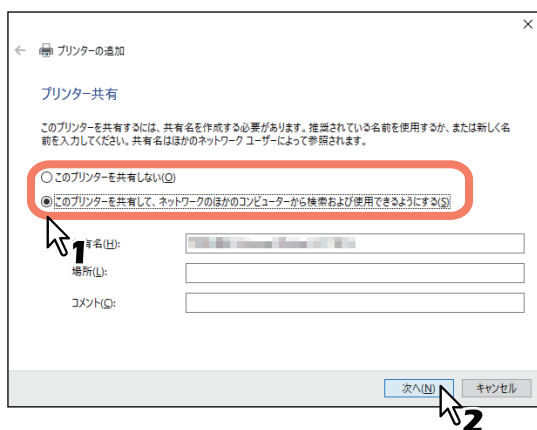
## 11 正しいドライバーが選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



## 12 必要に応じてプリンター名を変更し、[次へ] をクリックします。

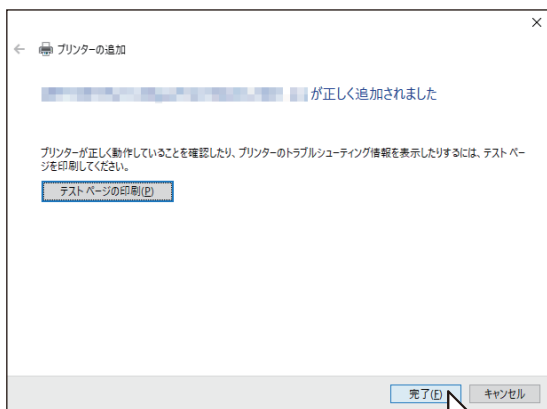


## 13 本機をネットワーク上の他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ] をクリックします。





## 14 [完了] をクリックします。



プリンタードライバがインストールされます。

## ■ USB印刷

本機がUSBケーブルで接続されている場合のプリンタードライバーのセットアップ方法について説明します。

### 注 意

- USB2.0 Hi-Speed規格認証ケーブルを使用してください。
- 本機とコンピューターはUSBケーブルで直接接続してください。HUBなどを経由して接続すると、正しく動作しない場合があります。
- PCL XLエラーが発生する場合は、「デバイスとプリンター」でTOSHIBA Universal Printer2の「プリンターのプロパティ」を開き、「詳細設定」タブの「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」を選んでください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

USB印刷用のプリンタードライバーをインストールディスクのSoftware Installerを使ってインストールします。

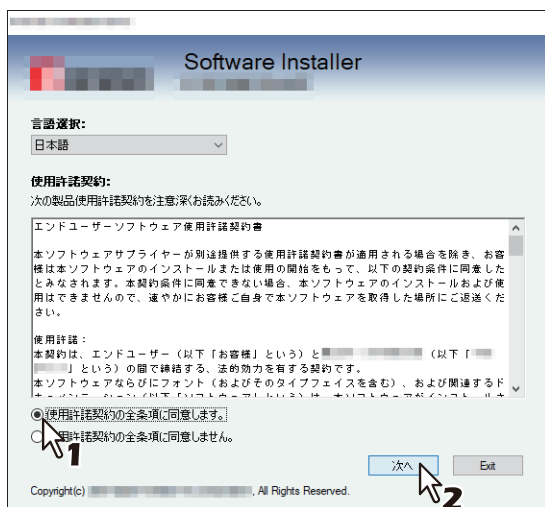
**1** 本機とお使いのコンピューターの電源を入れます。

**2** 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続します。

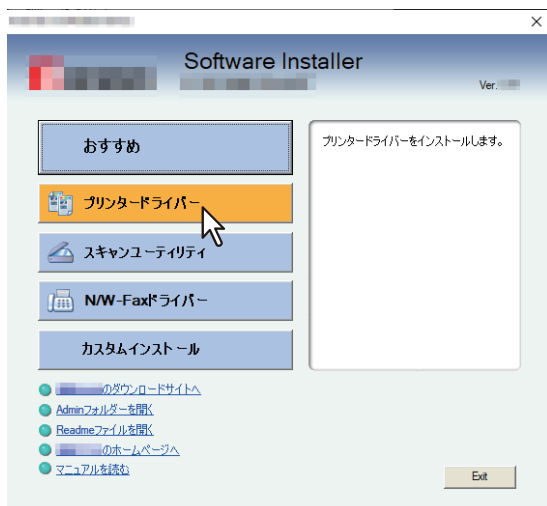
**3** インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダーをエクスプローラーで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

**4** 「使用許諾契約の全条項に同意します。」を選択し、「次へ」をクリックします。



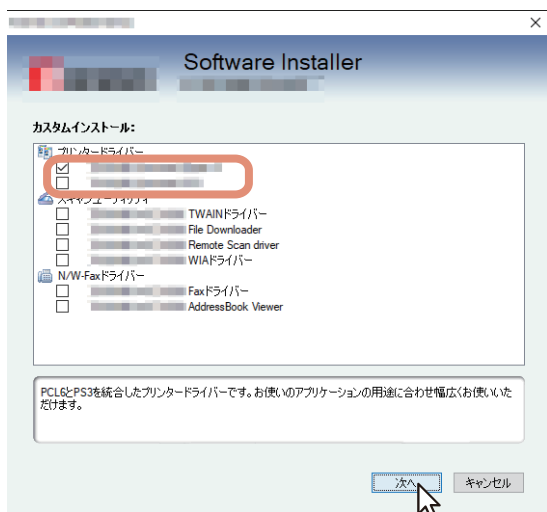
## 5 [プリンタードライバー] または [カスタムインストール] をクリックします。



**プリンタードライバー**：Universal Printer 2ドライバーをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順7にお進みください。

**カスタムインストール**：インストールしたいプリンタードライバーを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順6にお進みください。

## 6 インストールするプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。



## 7 インストールするソフトウェアを確認し、本機と接続するポートを選択してから [インストール] をクリックします。

## 8 検索結果のメッセージが表示されますので、[次へ] をクリックします。

## 9 「ローカルポート」 および「USBxxx」（xxxは数字）を選択し、[OK] をクリックします。



## 10 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。

### 補 足

コンピューターの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、「はい、今すぐコンピューターを再起動します。」を選択し、[完了] をクリックします。

## 11 [Exit] をクリックします。

インストーラーの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

## ■ IPP印刷

ここでは、IPP印刷を行うためのプリンタードライバのセットアップ方法について説明します。  
IPP印刷用にプリンタードライバをセットアップするには、「プリンターの追加ウィザード」を使ってプリンタードライバをインストールし、その後必要な他のソフトウェアをインストールします。

### 注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログインしてください。

### 補足

プリンタードライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- ・ 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- ・ 本機およびお使いのコンピュータにTCP/IPが正しく設定されていること。

IPP印刷用のプリンタードライバを「プリンターの追加ウィザード」を使ってインストールします。  
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

## 1 プリンターフォルダーを開きます。

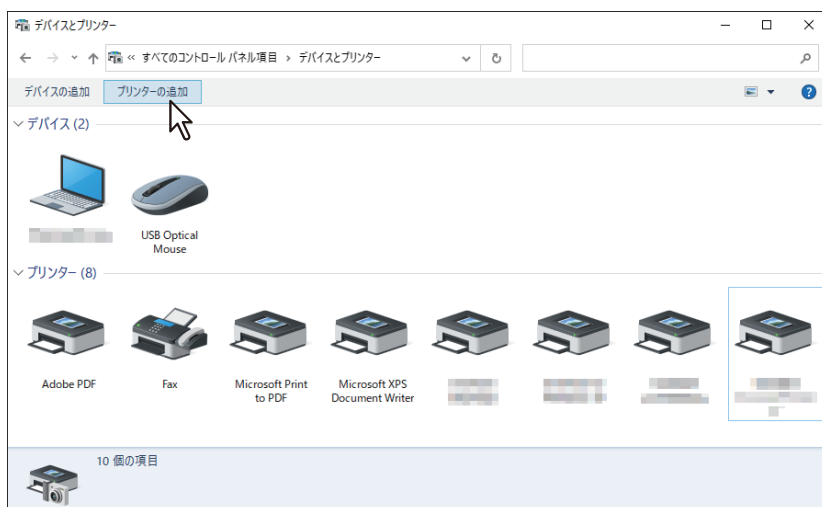
[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

### 補足

Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。

## 2 [プリンターの追加] ダイアログボックスを表示します。

[プリンターの追加] をクリックします。

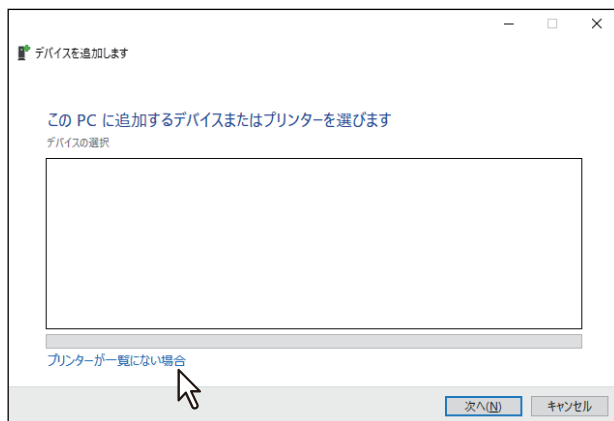


## 3 [ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターを追加します] をクリックします。

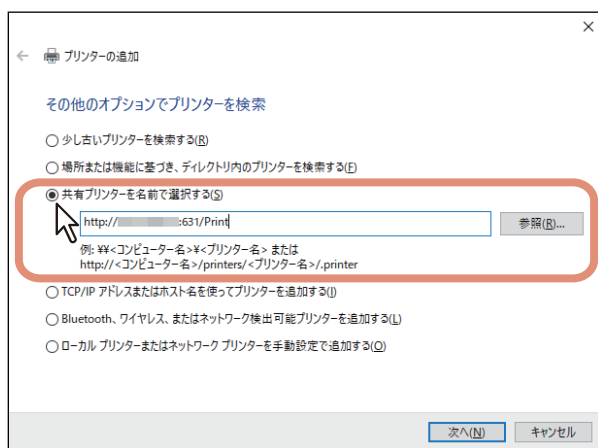
### 補足

お使いのOSによっては、この画面は表示されません。

## 4 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



## 5 「共有プリンターを名前を選択する」を選択して「http:// [IPアドレス] :631/Print」と入力します。



- 「IPアドレス」の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。  
例：IPアドレスが「192.168.1.2」の場合  
http://192.168.1.2:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。  
例：サーバー名が「Mfp-05212774」の場合  
http://Mfp-05212774:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。  
例：URLが「Mfp-05212774.example.com」の場合  
http://Mfp-05212774.example.com:631/Print

### 注意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成されますが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成しなおしてください。

### 補足

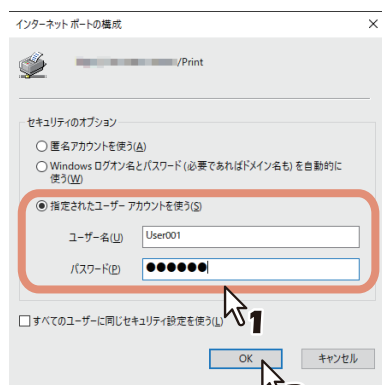
- 本機の管理者が本機上でIPPポート80機能を有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます。(例：http://192.168.1.2/Print)
- 本機の管理者が本機上でIPP印刷のSSL/TLSを有効に設定している場合は、「https:// [IPアドレス] : [SSL/TLSポート番号] /Print」と入力します。  
(例：https://192.168.1.2:631/Print)

## 6 [次へ] をクリックします。

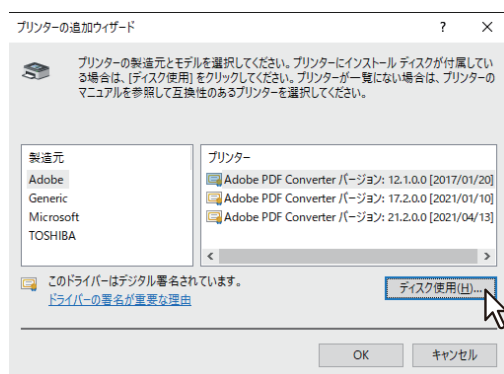
選択した本機との接続確認用のダイアログボックスが表示されますので、完了するまでお待ちください。

### 注意

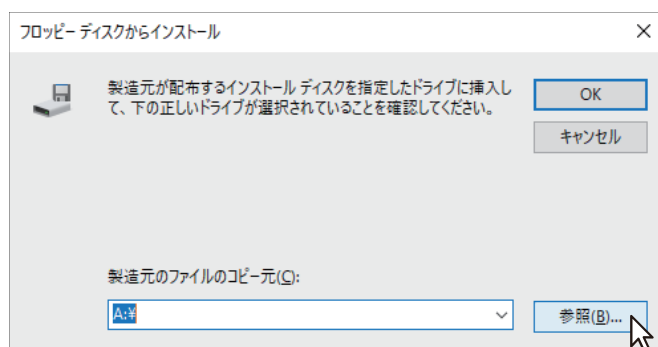
IPP印刷の認証設定が有効になっている場合は、ユーザー名およびパスワードの入力画面が表示されます。画面が表示された場合は、必要な値を入力し [OK] をクリックします。詳細は、管理者にお問い合わせください。



## 7 [ディスク使用] をクリックします。



## 8 [参照] をクリックします。

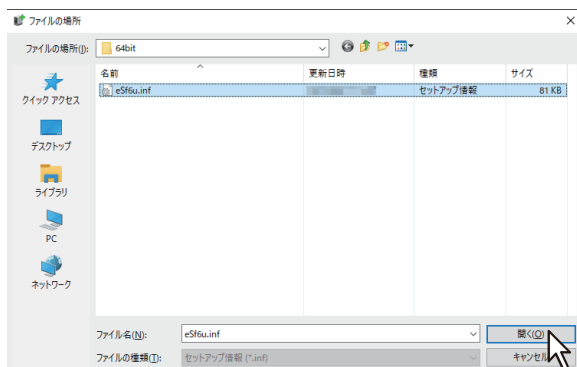


[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。

## 9 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

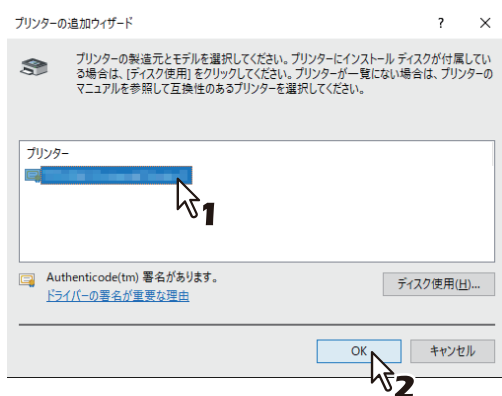
## 10 プリンタードライバーのあるフォルダーを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。



- 32ビット版のWindowsコンピューターをお使いの場合
  - Universal Printer 2ドライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥Driver¥32bit
  - Universal PS3プリンタードライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥Driver¥32bit
- 64ビット版のWindowsコンピューターをお使いの場合
  - Universal Printer 2ドライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥Driver¥64bit
  - Universal PS3プリンタードライバー：  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥Driver¥64bit

## 11 [OK] をクリックします。

## 12 プリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。



[Windowsセキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックして操作を続行してください。

## 13 [次へ] をクリックします。

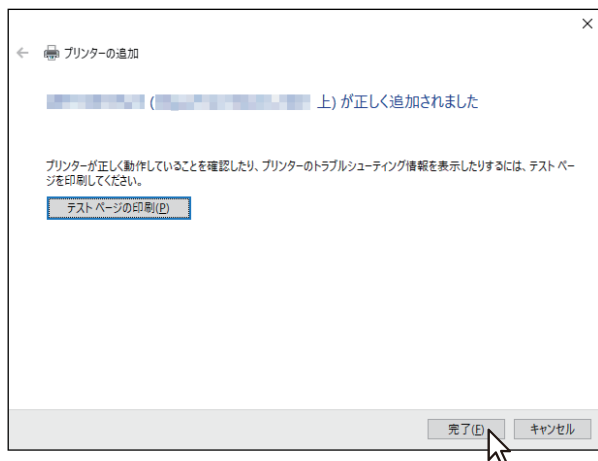
### 補 足

[プリンター共有] ダイアログボックスが表示された場合は、本機をネットワーク上の他のユーザーと共有するかどうかを選択し、[次へ] をクリックしてください。

- 必要に応じて共有名の変更または場所およびコメントの入力を行ってください。



## 14 [完了] をクリックします。



プリンタードライバがインストールされます。

## ■ Novell iPrint印刷

ここでは、Novell iPrint印刷用にプリンタードライバをインストールする方法について説明します。クライアントコンピューターにNovell iPrint用のプリンタードライバをインストールするには、iPrint Clientをインストールし、NetWareプリントサーバーからプリンタードライバをダウンロードします。

### 注意

- クライアントコンピューターにiPrintをセットアップするには、NetWareプリントサーバーがNovell iPrint用にセットアップされている必要があります。
- Novell iPrint用にプリンタードライバをインストールする前に、お使いのコンピューターでNovell iPrintの動作環境が満たされていることを確認してください。  
詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iPrintのドキュメントを参照してください。

### 1 ブラウザーを起動し、アドレスバーに以下のURLを入力します。

`http://<IPアドレスまたはNDPSマネージャーのNDS名>/ipp`

### 注意

- NDPSマネージャーのIPアドレスまたはDNS名が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- IPアドレスまたはDNS名がSSL/TLSで保護されている場合は、以下のURLを入力してください。  
`https://<IPアドレスまたはNDPSマネージャーのNDS名>/ipps`

### 2 iPrint Clientがインストールされていない場合は、インストールするようメッセージが表示され、iPrint Clientがインストールされます。

### 3 接続可能なプリンターの一覧からインストールするプリンターをクリックします。 選択したプリンターがコンピューターにインストールされます。

## ■ Web Serviceプリント

本機は、WSD（Web Services on Devices）プロトコルをサポートしています。ここでは、WSDプロトコルを使ってプリンタードライバーをインストールする方法を説明します。

### 注 意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。
- インストールを開始するには、お使いのコンピューターにプリンタードライバーがインストールされている必要があります。  
プリンタードライバーのインストール方法については、以下の参照先をご覧ください。  
📖 P.38 「プリンタードライバーのインストール」

プリンタードライバーをインストールします。

### 1 【ネットワーク】 画面を表示します。

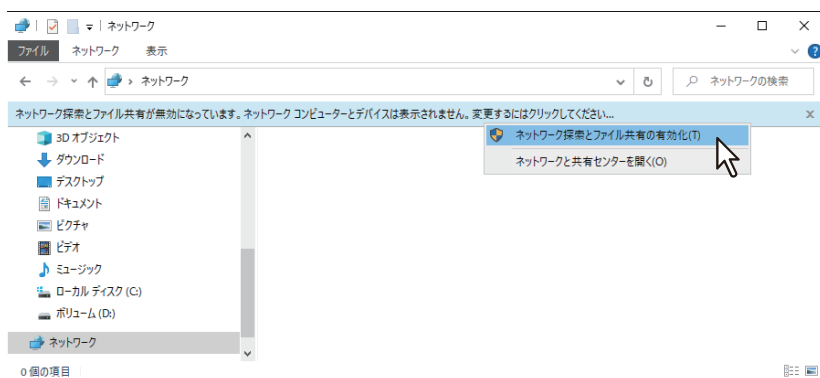
[スタート] > [エクスプローラー] > [ネットワーク] を選択します。

- ネットワーク探索が有効になっている場合は手順4へ進みます。
- ネットワーク探索が無効になっている場合は次の手順へ進みます。

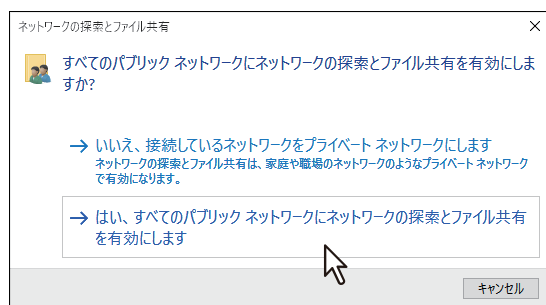
### 補 足

Windows Server 2012をお使いの場合は、スタートチャーム > [すべてのアプリ]（右クリックすると画面右下に表示されます） > [コンピューター] > [ネットワーク] を選択します。

### 2 【ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています。ネットワークコンピューターとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください】 をクリックし【ネットワーク探索とファイル共有の有効化】を選択します。



### 3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。



[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピューターと多機能デバイスのアイコンが表示されます。



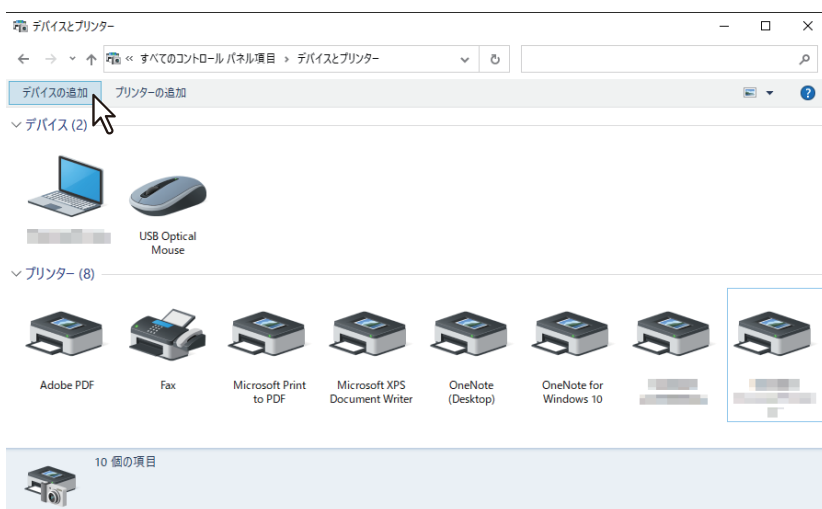
### 4 [デバイスとプリンター] フォルダーを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

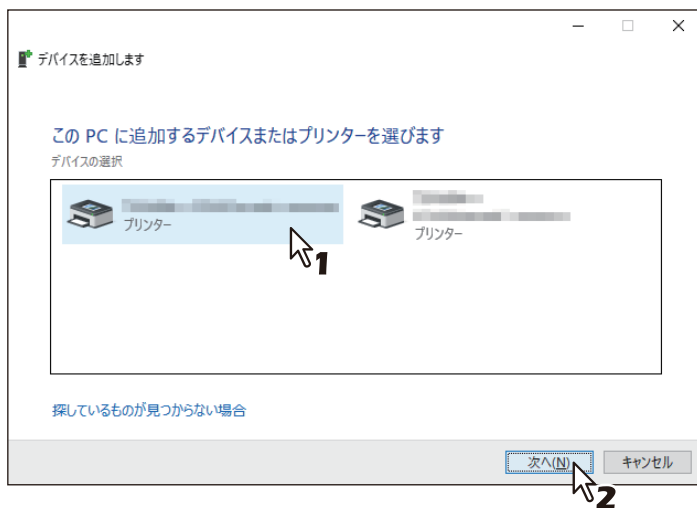
#### 補 足

Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。

### 5 [デバイスの追加] をクリックします。



## 6 本機が多機能デバイスのアイコンを選択し、[次へ] をクリックします。



インストールが開始されます。

## 7 インストールが完了します。

## Windows用PPDファイルのコピー

インストールディスクには、印刷時にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンター固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

### 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの「Exit」をクリックしてSoftware Installerを終了します。

### 2 Windows用PPDファイルが収録されている以下のフォルダーを開きます。

- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥2-sided\_default  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥normal  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

#### 補 足

カラー複合機の場合は「TSES6D\_1.PPD」を、モノクロ複合機の場合は「TSES8O\_1.PPD」をご使用ください。

### 3 コンピューターの適切な場所にPPDファイル (\*.ppd) をコピーします。

#### 補 足

ファイルのコピー先については、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

# プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

## 注意

アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

## 1 [デバイスとプリンター] フォルダーを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

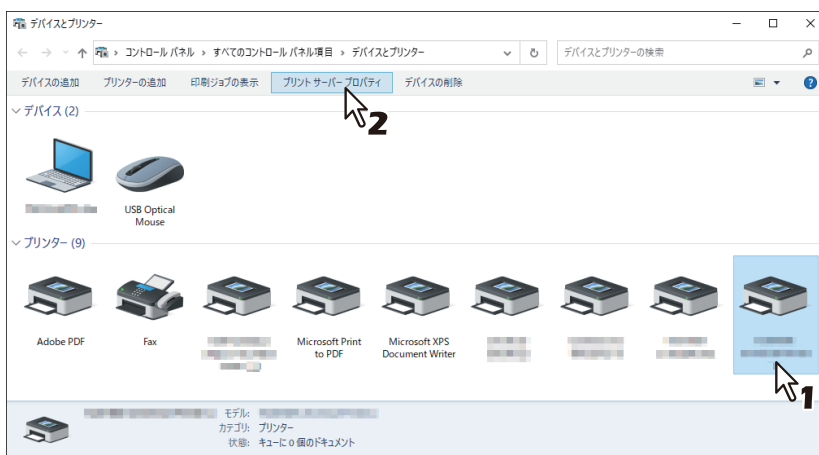
## 補 足

Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。

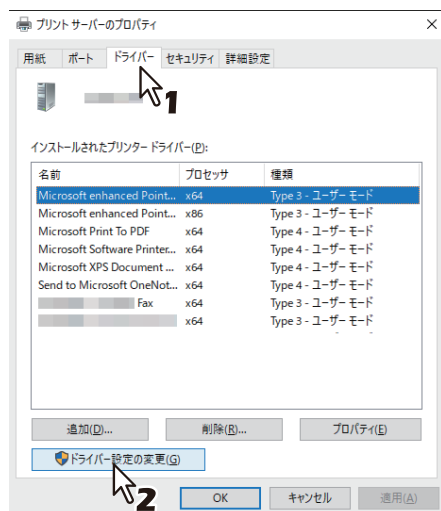
## 2 削除したいプリンターのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [デバイスの削除] を選択します。

削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

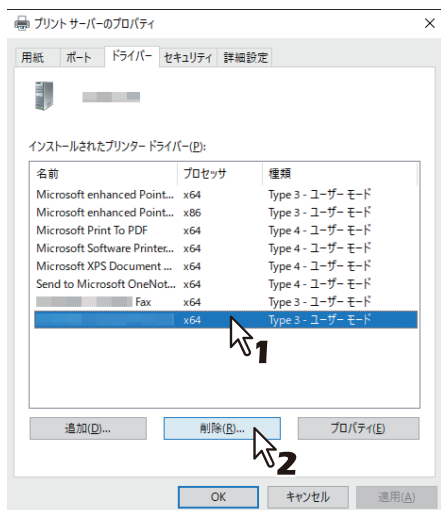
## 3 [デバイスとプリンター] フォルダーに残っているいずれかのプリンターのアイコンを選択し、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。



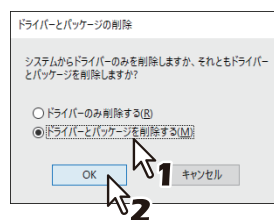
## 4 [ドライバー] タブをクリックし、[ドライバー設定の変更] をクリックします。



## 5 削除するプリンタードライバーを選択し、[削除] をクリックします。



## 6 [ドライバーとパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。



## 7 [はい] をクリックします。

## 8 [削除] をクリックします。

## 9 [OK] をクリックします。

## 10 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

## プリンタードライバーの修復

プリンタードライバーが正常に使用できない場合は、プリンタードライバーの修復を行ってください。

### 注意

プリンタードライバーを修復するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

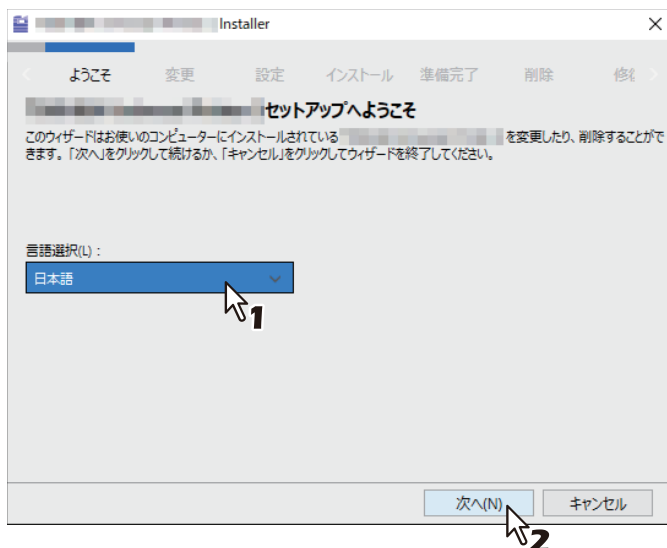
### 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの「Exit」をクリックしてSoftware Installerを終了します。

### 2 修復したいプリンタードライバーのフォルダーを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。

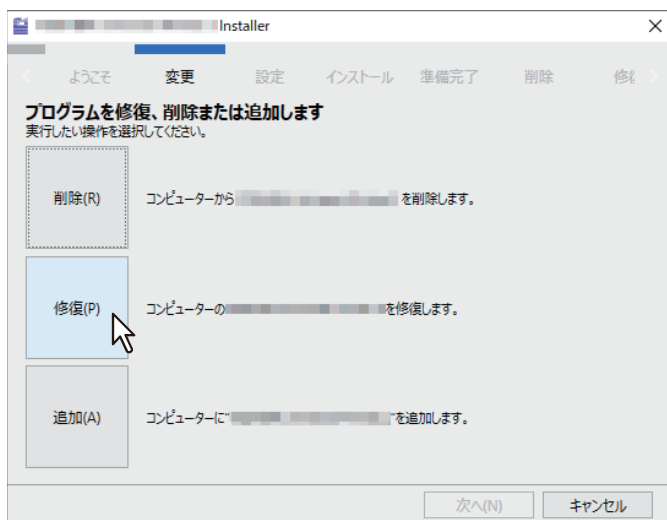
- Universal Printer 2ドライバー  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥
- Universal PS3プリンタードライバー  
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥

### 3 使用する言語を選択し、「次へ」をクリックします。



### 4 [修復] をクリックします。

ファイルの修復を開始します。



### 5 [完了] をクリックしてウィザードを終了します。



## プリンタードライバーのインストール (macOS)

インストールについて .....	82
macOSのクライアントソフトウェアについて .....	82
必要条件 .....	82
プリンターのインストール .....	83
Mac PPDファイルのインストール .....	83
プリンターの設定 .....	86
Mac PPDのアンインストール .....	96

## インストールについて

---

Macコンピュータに印刷システムをセットアップします。

### ■ macOSのクライアントソフトウェアについて

#### PostScriptプリンター記述ファイル（PPD）

macOS用PPD（PostScript Printer Description）ファイルには、本機が提供する固有機能の情報が記述されています。本機はmacOS 10.12以降のバージョンで使用するPPDファイルとプラグインを提供します。

### ■ 必要条件

Macコンピュータにプリンタードライバをインストールするには、下記環境が必要です。

ディスプレイ解像度： 1024×768ドット以上

OS： macOS 10.12以降

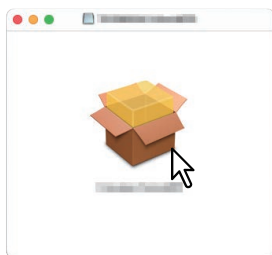
プロトコル： TCP/IP、Bonjour

# プリンターのインストール

プリンターをセットアップする場合は、以下の手順で行います。

## ■ Mac PPDファイルのインストール

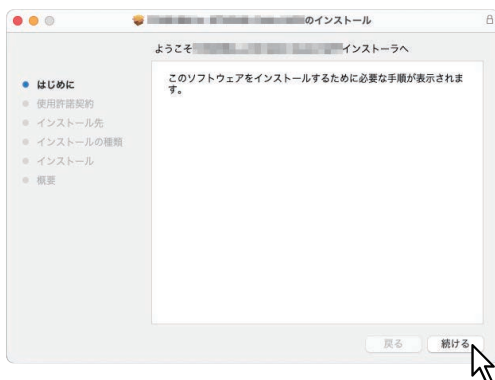
- 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットし、「MacPPD/OSX10\_12-」フォルダーを開きます。
- 2 「2-sided\_default」または「normal」フォルダーを開きます。
  - \* 「2-sided\_default」フォルダーに収録されているPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - \* 「normal」フォルダーに収録されているPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- 3 GZIPファイル「TOSHIBA\_xxxxxMFP.dmg.gz」をデスクトップにコピーします。
  - \* ファイル名の「xxxxx」部分が、「Color」はカラー複合機用、「Mono」はモノクロ複合機用のファイルとなります。お使いになる機種に合わせて選択してください。
- 4 デスクトップにコピーしたGZIPファイルをダブルクリックします。  
ディスクイメージファイルがデスクトップに解凍されます。
- 5 ディスクイメージファイルをダブルクリックします。
- 6 インストーラーウィンドウのアイコンをダブルクリックします



### 注意

インストーラーを起動する際には、macOSのプリンターセットアップユーティリティが動作していないことを確認してください。プリンターセットアップユーティリティの動作中にPPDファイルをインストールすると、プリンターが正常に認識されないことがあります。

- 7 「続ける」をクリックします。



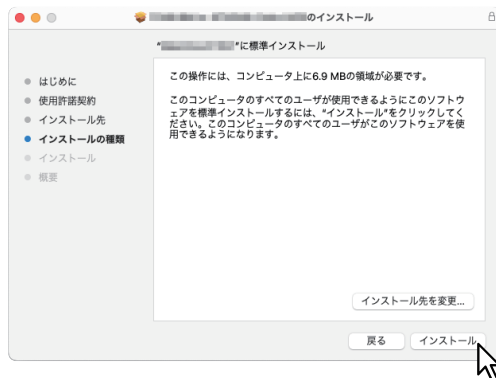
## 8 「続ける」をクリックします。



## 9 「同意する」をクリックします。



## 10 「インストール」(または「アップグレード」)をクリックします。

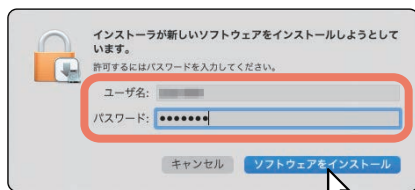


### 補 足

「インストール先を変更」をクリックすると、「インストール先の選択」ダイアログボックスが表示されますので、macOSの起動ディスクを選択し、「続ける」をクリックしてください。

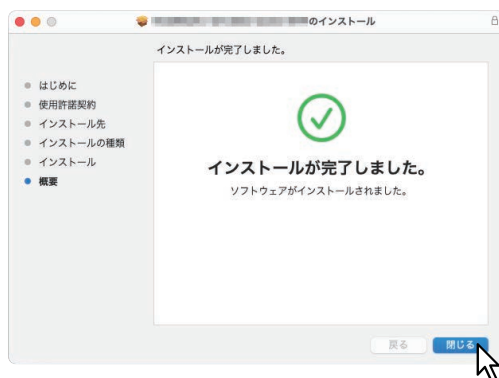


**11** 名前（管理者名）とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール] をクリックします。



PPDファイルのコピーを開始します。

**12** [閉じる] をクリックします。



**13** 引き続いてプリンター設定を行います。

## ■ プリンターの設定

PPDファイルのインストールを完了したらプリンターを設定します。

### 補 足

本機とお使いのコンピューターがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

### □ LPR印刷

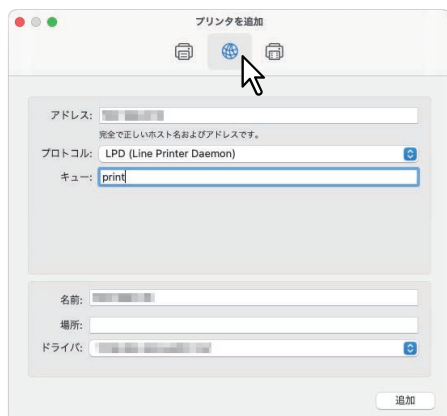
1 [システム環境設定] を起動して、[プリンタとスキャナ] をクリックします。



2 [+] をクリックします。



### 3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル：LPD（Line Printer Daemon）

アドレス：<IPアドレスまたはDNS名>

キュー：print

名前：<任意名>

場所：<任意>

ドライバ：TOSHIBA xxxxxMFP-S2

\* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

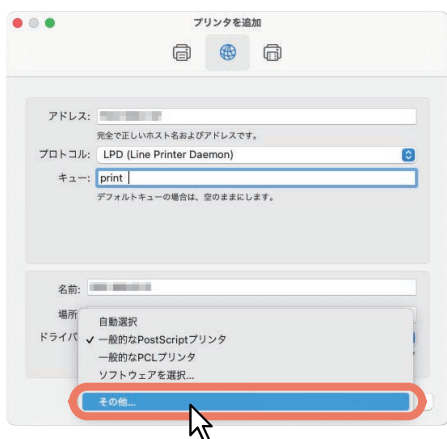
#### 補 足

- ・ [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ・ 以下の画面が表示された場合は、[続ける] をクリックしてプリンターの設定を続行してください。

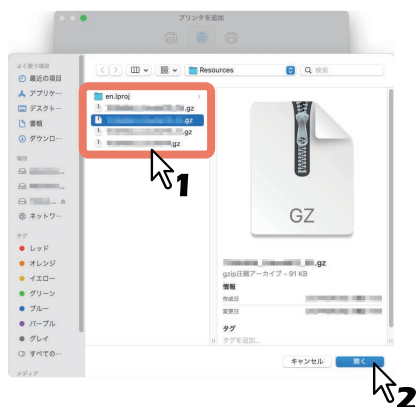


- ・ IPアドレスまたはDNS名を入力し、しばらく待っても [ドライバ] に [TOSHIBA xxxxxMFP-S2] が選択されない場合は、以下の手順をお試しください。

#### 1. [その他] を選択します。



2. 「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources」 フォルダからPPDファイル (TOSHIBA\_XXXXXMFP.gz) を選択し、[開く] をクリックします。
- \*「XXXXX」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。



## 4 [追加] をクリックします。

### 補 足

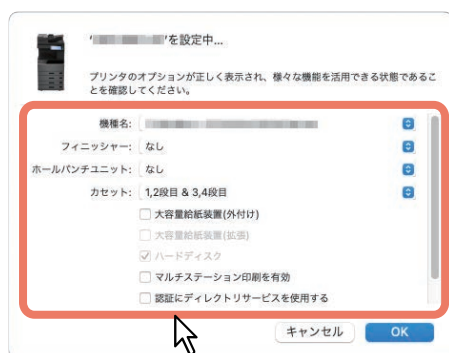
プラグインがインストールされていない場合には、以下の画面が表示されます。[修復] をクリックしてプリンターの設定を続行してください。



## 5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

設定できる項目については、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.95 「オプション設定」



## 6 [OK] をクリックします。

本機がプリンターリストに追加されます。



## □ IPP印刷

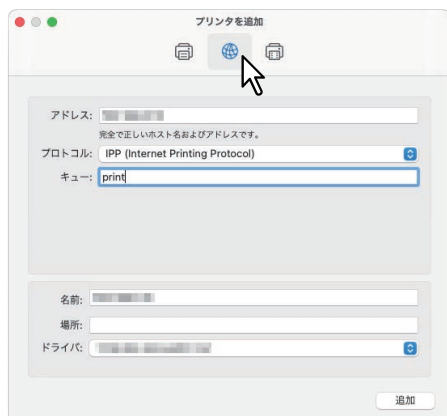
1 [システム環境設定] を起動して、[プリンタとスキャナ] をクリックします。



2 [+] をクリックします。



### 3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル：IPP（Internet Printing Protocol）

アドレス：<IPアドレスまたはDNS名>

キュー：Print

名前：<任意名>

場所：<任意>

ドライバ：TOSHIBA xxxxxMFP-S2

\* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

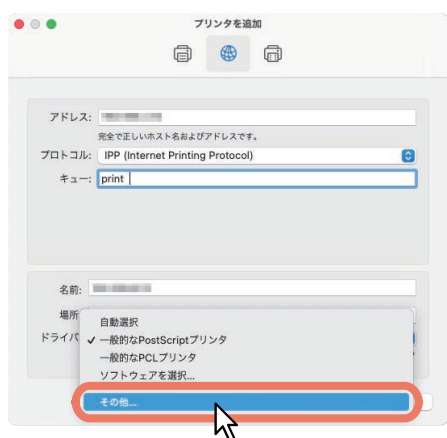
#### 補 足

- ・ [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ・ 以下の画面が表示された場合は、[続ける] をクリックしてプリンターの設定を続行してください。

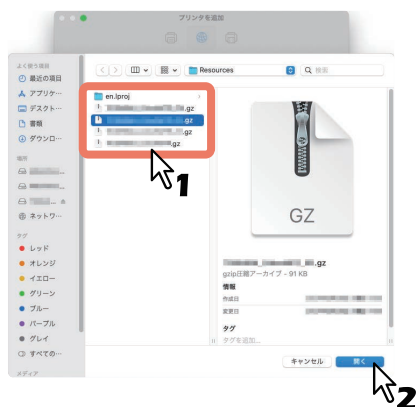


- ・ IPアドレスまたはDNS名を入力し、しばらく待っても [ドライバ] に [TOSHIBA xxxxxMFP-S2] が選択されない場合は、以下の手順をお試しください。

1. [その他] を選択します。



2. 「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources」 フォルダからPPDファイル (TOSHIBA\_XXXXMFP.gz) を選択し、[開く] をクリックします。  
\*「XXXX」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。



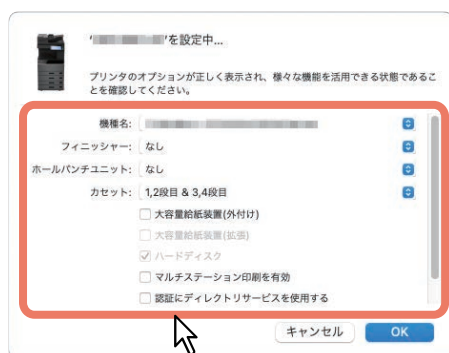
- 4 [追加] をクリックします。

#### 補 足

プラグインがインストールされていない場合には、以下の画面が表示されます。[修復] をクリックしてプリンターの設定を続行してください。



- 5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。  
設定できる項目については、以下の参照先をご覧ください。  
P.95 「オプション設定」



- 6 [OK] をクリックします。  
本機がプリンターリストに追加されます。

## □ Bonjour印刷

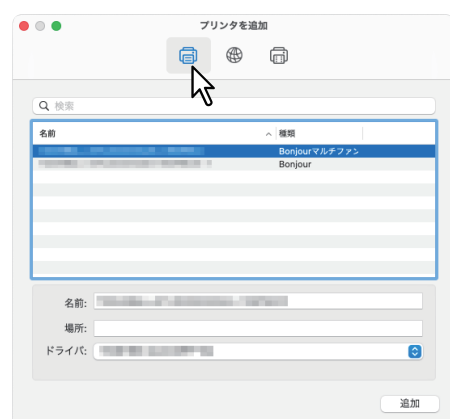
1 [システム環境設定] を起動して、[プリンタとスキャナ] をクリックします。



2 [+] をクリックします。



3 [デフォルト] をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。



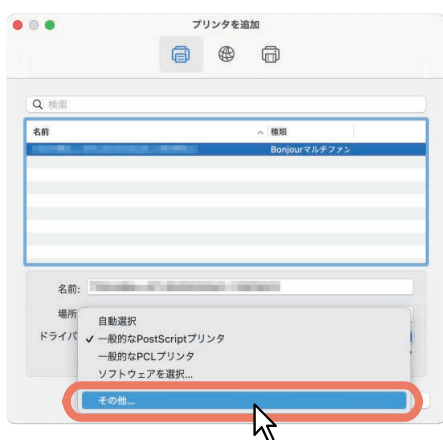
## 補 足

- ・ [名前] ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- ・ 以下の画面が表示された場合は、[続ける] をクリックしてプリンターの設定を続行してください。



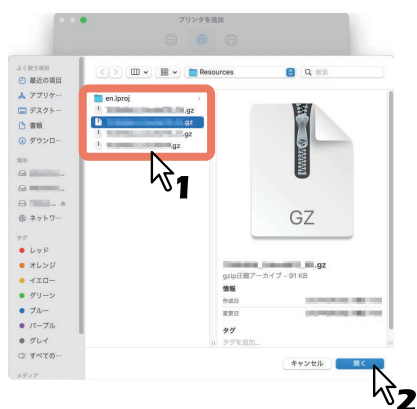
- ・ IPアドレスまたはDNS名を入力し、しばらく待っても [ドライバ] に [TOSHIBA xxxxxMFP-S2] が選択されない場合は、以下の手順をお試しください。

1. [その他] を選択します。



2. [/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources] フォルダーからPPDファイル (TOSHIBA\_xxxxxMFP.gz) を選択し、[開く] をクリックします。

\* [xxxxx] 部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。



## 4 [追加] をクリックします。

### 補 足

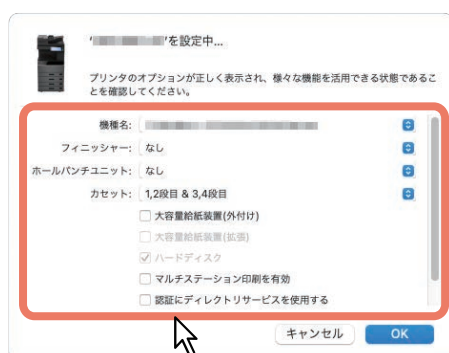
プラグインがインストールされていない場合には、以下の画面が表示されます。[修復] をクリックしてプリンターの設定を続行してください。



## 5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

設定できる項目については、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.95 「オプション設定」



## 6 [OK] をクリックします。

本機がプリンターリストに追加されます。

## □ オプション設定

### • 機種名

使用する機種を選択します。

📖 P.3 「本書の対象機種について」

### • フィニッシャー

フィニッシャーの装着を設定します。

お使いの機種によっては選択できません。

### • ホールパンチユニット

ホールパンチユニットの装着を設定します。

お使いの機種によっては選択できません。

### • カセット

給紙ユニット（2段目カセット）、多段給紙装置（3段目カセット）または追加給紙カセット（4段目カセット）の装着を設定します。

大容量給紙装置の装着を設定します。

お使いの機種によっては選択できません。

### • マルチステーション印刷を有効

マルチステーション印刷を有効にする場合に選択します。

### • 認証にディレクトリサービスを使用する

Mac PPDからWindowsドメイン認証が行えない場合は、チェックしてください。

APIでOpen Directoryを使用してドメイン認証を行います。

NISでWindowsドメイン認証を行う場合は、チェックを外してください。

### • 印刷時に部門コードを確認する

部門コードを追加して印刷する場合に選択します。

印刷時に表示される「部門コードの確認」画面に部門コードを入力して、「OK」をクリックします。

部門コードを入力した後で、「キャンセル」をクリックすると印刷を中止します。



## 注意

プリンタードライバの「ジョブタイプ」メニューで部門コードを設定している場合は、本設定のチェックを外してください。

「部門コードの確認」画面に入力した部門コードを優先して印刷します。

プリンタードライバの「ジョブタイプ」メニューで設定する部門コードについては、以下の参照先をご覧ください。

印刷 - macOSアプリケーションから印刷する - 基本的な印刷手順 - 部門コードやユーザー名の入力が必要なときは

## Mac PPDのアンインストール

---

Mac PPDをアンインストールするには、以下のフォルダーにあるPPDファイルを削除してください。

- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/TOSHIBA\_XXXXMFP.gz
  - ライブラリ/Printers/toshiba/filter
  - ライブラリ/Printers/toshiba/icons
  - ライブラリ/Printers/toshiba/PDEs
- \* 「XXXX」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。



## プリンタードライバーのインストール (UNIX/Linux)

UNIX/Linuxフィルターについて .....	98
必要条件 .....	99
ユーザー認証機能使用時の注意事項 .....	99
UNIX/Linuxフィルターによるプリンターの設定 .....	100
UNIX/Linuxフィルターのインストール.....	100
プリントキューの作成 .....	101
デフォルト設定の変更 .....	106
プリントキューの削除 .....	107
CUPSの設定 .....	110
CUPSについて.....	110
CUPSによるプリンターの設定 .....	110

## UNIX/Linuxフィルターについて

---

インストールディスクには、UNIX/Linuxワークステーションにインストールする下記フィルターが収められています。

### **net\_estcolor**（カラー複合機用）

### **net\_estbw**（モノクロ複合機用）

このファイルは「/usr/lib/lp/model」にインストールされるShellスクリプトです。このファイルを使って本機特有のコマンドを含む出力コードを生成します。カスタムオプションを利用したい場合やデフォルト以外の場所にファイルをインストールした場合は、このShellスクリプトを必要に応じて変更することができます。

### **lpdsend**

このファイルはnet\_estcolor/net\_estbwによって呼び出される実行プログラムです。この実行プログラムは、LPDプロトコルを使って印刷ファイルを本機へ送信するときに使用します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

### **lpLinux.sh**（Linuxフィルターのみ）

このファイルは、lpコマンドと同様の機能を持つShellスクリプトです。このコマンドラインオプションを実行すると、System V Printフィルターと同じように機能します。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/local/bin」にlptapとしてインストールされます。

### **estcolorBackend**（カラー複合機用、AIXフィルターのみ）

### **estbwBackend**（モノクロ複合機用、AIXフィルターのみ）

このファイルは、AIX qdaemonによって呼び出される実行ファイルです。このファイルでは、qdaemonから情報を取得し、その情報を処理してnet\_estcolor/net\_estbwのキューのコピーを呼び出して印刷を実行します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

### **estcoloradd**（カラー複合機用）

### **estbwadd**（モノクロ複合機用）

このファイルは、プリンター記述を追加するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

### **estcolorrm**（カラー複合機用）

### **estbwrm**（モノクロ複合機用）

このファイルは、プリンター記述を削除するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

### **net\_estcolor.1**（カラー複合機用）

### **net\_estbw.1**（モノクロ複合機用）

本機の特長機能を説明したオンラインドキュメントを呼び出すための入力ファイルです。オンラインドキュメントはmanコマンドで呼び出すことができます。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/man/man1」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/man/man1」にインストールされます。

## ■ 必要条件

UNIX/Linuxワークステーションにフィルターをインストールするには、下記環境が必要です。

- OS :           Oracle Solaris 11  
                HP-UX Version 11iv3  
                IBM AIX 7.x  
                Fedora 27/28  
                Red Hat Enterprise Linux 5.x/6.x/7.x  
                SuSE Linux Enterprise Server 12/15  
                Open SUSE 13.2/15  
                Ubuntu 14.04LTS/18.04  
                Debian 7.8/8
- プロトコル :   TCP/IP
- モジュール :   Pythonがインストールされていること

### 注 意

- Linuxではlpdサービスが動作していること。
- UNIX/Linuxフィルターを使用して印刷するには、「Python」モジュールがお使いのUNIX/Linuxワークステーションにインストールされている必要があります。「Python」モジュールは通常「/user/bin」にインストールされています。「Python」モジュールがインストールされているかどうか「/user/bin」を確認してください。

## ■ ユーザー認証機能使用時の注意事項

UNIX/Linux システムではログイン名の大文字/小文字を区別しますが、本機は区別しません。したがって、UNIX/Linux システム上では異なるログイン名として扱われる ABC, Abc, abc 等は、本機ではすべて同一ログイン名として扱われます。

## UNIX/Linuxフィルターによるプリンターの設定

UNIX/Linuxフィルターを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、UNIX/Linuxフィルターをインストールし、LPRプリントキューを作成します。

### ■ UNIX/Linuxフィルターのインストール

UNIX/Linuxフィルターは、OS別にtarファイルがそれぞれ用意されています。TAR ファイルをルートフォルダーにコピーし解凍すると、フィルターがインストールされます。

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 3 以下のコマンドを入力し結果を確認します：

uname

各OSにより、以下の文字が表示されたことを確認します。

- Solaris：「SunOS」、HP-UX：「HP-UX」、IBM AIX：「AIX」、Linux：「Linux」

#### 注 意

結果が上記と異なる場合は、管理者にお問い合わせください。

- 4 tarファイルをルートフォルダーにコピーします。

各OSのtarファイルは、下記フォルダーに収められています。

- カラー複合機
  - Solaris：[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/SolarisFilter/Usa/
  - HP-UX：[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/HP-UXFilter/Usa/
  - AIX：[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/AIXFilter/Usa/
  - Linux：[インストールディスク] /Admin/Color\_Unix\_Linux/LinuxFilter/Usa/
- モノクロ複合機
  - Solaris：[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/SolarisFilter/Usa/
  - HP-UX：[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/HP-UXFilter/Usa/
  - AIX：[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/AIXFilter/Usa/
  - Linux：[インストールディスク] /Admin/BW\_Unix\_Linux/LinuxFilter/Usa/

- 5 ルートディレクトリに移動します。

- 6 下記コマンドを入力します。

- Solaris：  
tar xvf solaris.tar
- HP-UX：  
tar xvf hpux.tar
- IBM AIX：  
tar xvf aix.tar
- Linux：  
tar xvf linux.tar

- 7 コマンドを実行すると、必要なファイルを解凍し自動的に正しい場所へインストールします。  
引き続き、プリントキューの設定を行います。

📖 P.101 「プリントキューの作成」

## ■ プリントキューの作成

UNIX/Linuxフィルターをコピーしたら、プリントキューを作成することができます。

プリントキューの作成はestcoloradd/estbwaddファイルを使って作成するか、手動で作成するかの2通りの方法があります。

📖 P.101 「estcoloradd/estbwaddを使ってプリントキューを作成する」

📖 P.101 「手動でプリントキューを作成する」

### □ estcoloradd/estbwaddを使ってプリントキューを作成する

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します：

カラー複合機：

estcoloradd <キュー名> <ホスト名またはIPアドレス>

モノクロ複合機：

estbwadd <キュー名> <ホスト名またはIPアドレス>

#### 補 足

- このコマンドでは、システムのlpadminコマンドを使ってプリントキューを作成します。また、指定したIPアドレスまたはホスト名の構成ファイルを作成します。この構成ファイルは、プリントキューの詳細を設定するのに使用します。
- lpadminコマンドでは、プリンターインターフェイスファイルをプリントキューと同名のファイルとして保存します。構成ファイルは「<キュー名>.conf」ファイルとして保存されます。それぞれのファイルの保存先はプラットフォームごとに異なります。
  - Solaris：「/etc/lp/interfaces」
  - HP-UX：「/etc/lp/interface」
  - IBM AIX：「/opt/toshiba/tap/filter」
  - Linux：「/opt/toshiba/tap/interfaces」
- Linuxでは、estcoloradd/estbwaddコマンドを実行後、printtoolユーティリティを使ってlp印刷システムにプリンターを追加します。printtoolユーティリティの使用方法についてはご使用のOSの取扱説明書を参照してください。

### □ 手動でプリントキューを作成する

手動でリモートプリンターを追加し、プリントキューを作成することもできます。

手動によるプリントキューの作成手順はOSによって異なります。

📖 P.101 「手動でプリントキューを作成する」

📖 P.103 「手動でプリントキューを作成する（HP-UX）」

📖 P.104 「手動でプリントキューを作成する（IBM AIX）」

📖 P.105 「手動でプリントキューを作成する（Linux）」

#### 注 意

手動によりプリントキューを作成する場合、シェルはBourne Shell(sh)を使用してください。

---

## 手動でプリントキューを作成する (Solaris)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 UNIX/Linuxエディターを起動します。
- 3 以下のファイルを作成します。  
`/etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf`
- 4 <キュー名>.confファイルに、以下の行を追加します。  
`dest=<IPアドレス>`
- 5 ファイルを保存します。
- 6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。  
`cd /etc/lp/interfaces/`
- 7 下記コマンドを入力します。  
`chmod +x <キュー名>.conf`
- 8 下記コマンドを入力します。  
`chown lp:lp <キュー名>.conf`
- 9 下記コマンドを入力します。  
カラー複合機：  
`lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -l any ¥  
-i /usr/lib/lp/model/net_estcolor`  
モノクロ複合機：  
`lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -l any ¥  
-i /usr/lib/lp/model/net_estbw`
- 10 下記コマンドを入力します。  
`accept <キュー名>`
- 11 下記コマンドを入力します。  
`enable <キュー名>`

## 手動でプリントキューを作成する (HP-UX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 UNIX/Linuxエディターを起動します。
- 3 以下のファイルを作成します。  
`/etc/lp/interface/<キュー名>.conf`
- 4 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。  
`dest=<IPアドレス>`
- 5 ファイルを保存します。
- 6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。  
`cd /etc/lp/interfaces/`
- 7 下記コマンドを入力します。  
`chmod +x <キュー名>.conf`
- 8 下記コマンドを入力します。  
`chown lp:lp <キュー名>.conf`
- 9 下記コマンドを入力します。  
`ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1`
- 10 下記コマンドを入力します。  
`echo $?`
- 11 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。  
`/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1`
- 12 下記コマンドを入力します。  
カラー複合機：  
`/usr/sbin/lpadmin -p <キュー名> -v/dev/null ¥  
-mnet_estcolor -orm <キュー名> -orpprint -ob3`  
モノクロ複合機：  
`/usr/sbin/lpadmin -p <キュー名> -v/dev/null ¥  
-mnet_estbw -orm <キュー名> -orpprint -ob3`
- 13 下記コマンドを入力します。  
`/usr/sbin/accept <キュー名>`
- 14 下記コマンドを入力します。  
`enable <キュー名>`
- 15 手順10でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。  
`/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1`

---

## 手動でプリントキューを作成する (IBM AIX)

- 1 下記コマンドを入力します。  
`ls /opt/toshiba/tap/filter`
- 2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。  
`mkdir /opt/toshiba/tap/filter`
- 3 ルートアカウントにログインします。
- 4 UNIX/Linuxエディターを起動します。
- 5 以下のファイルを作成します。  
`/opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>.conf`
- 6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。  
`dest=<IPアドレス>`
- 7 ファイルを保存します。
- 8 下記コマンドを入力します。  
`mkque -q<キュー名> ¥`  
`-a 's_statfilter = /usr/lib/lpd/bsdshort' ¥`  
`-a 'up = TRUE' -a 'host = <IPアドレス>' -a 'rq = print'`
- 9 下記コマンドを入力します。  
  
カラー複合機：  
`mkqueuedev -q <キュー名> -ddev_<キュー名> ¥`  
`-a 'backend = /opt/toshiba/tap/bin/estcolorBackend'`  
  
モノクロ複合機：  
`mkqueuedev -q <キュー名> -ddev_<キュー名> ¥`  
`-a 'backend = /opt/toshiba/tap/bin/estcolorBackend'`
- 10 下記コマンドを入力します。  
  
カラー複合機：  
`cp /usr/lib/lpd/pio/predef/net_estcolor ¥`  
`/opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>`  
  
モノクロ複合機：  
`cp /usr/lib/lpd/pio/predef/net_estbw ¥`  
`/opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>`



## 手動でプリントキューを作成する (Linux)

- 1 下記コマンドを入力します。  
`ls /opt/toshiba/tap/interface`
- 2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。  
`mkdir /opt/toshiba/tap/interface`
- 3 ルートアカウントにログインします。
- 4 UNIX/Linuxエディターを起動します。
- 5 以下のファイルを作成します。  
`/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf`
- 6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。  
`dest=<IPアドレス>`
- 7 ファイルを保存します。
- 8 下記コマンドを入力します。  
カラー複合機：  
`cp /opt/toshiba/tap/model/net_estcolor ¥  
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>`  
モノクロ複合機：  
`cp /opt/toshiba/tap/model/net_estbw ¥  
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>`
- 9 下記コマンドを入力します。  
`/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap ¥  
-a <キュー名> <IPアドレス>`
- 10 下記コマンドを入力します。  
`ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`

### 補 足

手順10のファイルが存在しない場合は、手順1～9が正しく行われていますので手順11を行う必要はありません。そのまま手順12へ進んでください。

- 11 上記ファイルが存在する場合は、下記コマンドを入力します。  
`/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import ¥  
-a <キュー名> <IPアドレス> ¥  
rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`
- 12 lpdを再起動します。

---

## ■ デフォルト設定の変更

以下の手順でプリントキューのデフォルト設定を変更することができます。

### 1 保存されているキュー名と同名のインターフェイスファイルの内容を確認します。

- インターフェイスファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
  - Solaris : 「/etc/lp/interfaces」
  - HP-UX : 「/etc/lp/interface」
  - IBM AIX : 「/opt/toshiba/tap/filter」
  - Linux : 「/opt/toshiba/tap/interface」
- すべてのデフォルト設定の値は、このファイルに記述されています。このファイルでは大文字・小文字を区別して入力する必要があります。  
また、/bin/sh変数フォーマットに準じて記述する必要があります。

### 2 構成ファイルを手動で変更するには、パラメーターと値を記述した行を追加します。

- 構成ファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
  - Solaris : 「/etc/lp/interfaces」
  - HP-UX : 「/etc/lp/interface」
  - IBM AIX : 「/opt/toshiba/tap/filter」
  - Linux : 「/opt/toshiba/tap/interface」

たとえば、デフォルトの用紙向きを変更する場合は、以下の行を追加します。  
orient= "LANDSCAPE"

## ■ プリントキューの削除

プリントキューの削除は`estcolorm/estbwrn`ファイルを使って削除するか、手動で削除するかの2通りの方法があります。

📖 P.107 「`estcolorm/estbwrn`を使ってプリントキューを削除する」

📖 P.107 「手動でプリントキューを削除する」

### □ `estcolorm/estbwrn`を使ってプリントキューを削除する

`estcolorm/estbwrn`を使って作成したキューを削除したい場合は、以下の手順に従ってキューを削除できます。

**1** ルートアカウントにログインします。

**2** 下記コマンドを入力します。

カラー複合機：  
`estcolorm <キュー名>`

モノクロ複合機：  
`estbwrn <キュー名>`

#### 補 足

- このコマンドでは、システムの`lpadmin`コマンドを使ってプリントキューと構成ファイルを削除します。
- Linuxでは、削除後`lpd`を再起動する必要があります。

### □ 手動でプリントキューを削除する

手動でプリントキューを削除することもできます。  
手動によるプリントキューの削除手順はOSによって異なります。

📖 P.107 「プリントキューを削除する (Solaris)」

📖 P.108 「プリントキューを削除する (HP-UX)」

📖 P.108 「プリントキューを削除する (IBM AIX)」

📖 P.109 「プリントキューを削除する (Linux)」

#### 注 意

手動によりプリントキューを削除する場合、シェルはBourne Shell (`sh`) を使用してください。

### プリントキューを削除する (Solaris)

**1** ルートアカウントにログインします。

**2** 下記コマンドを入力します。

`lpadmin -x <キュー名>`

**3** 下記コマンドを入力します。

`rm /etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf`

---

## プリントキューを削除する (HP-UX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。  
`ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1`
- 3 下記コマンドを入力します。  
`echo $?`
- 4 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。  
`/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1`
- 5 下記コマンドを入力します。  
`/usr/sbin/lpadmin -x<キュー名>`
- 6 下記コマンドを入力します。  
`rm /etc/lp/interface/<キュー名>.conf`
- 7 手順4でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。  
`/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1`

## プリントキューを削除する (IBM AIX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。  
`rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>`
- 3 下記コマンドを入力します。  
`rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>.conf`
- 4 下記コマンドを入力します。  
`rmqueuedev -q<キュー名> -ddev_<キュー名>`
- 5 下記コマンドを入力します。  
`rmque -q<キュー名>`

## プリントキューを削除する (Linux)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。  
`rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>`
- 3 下記コマンドを入力します。  
`rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf`
- 4 下記コマンドを入力します。  
`/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap -d <キュー名>`
- 5 下記コマンドを入力します。  
`ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`
- 6 上記ファイルが存在している場合は、下記コマンドを入力します。  
`/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import -d <キュー名> ¥`  
`rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`
- 7 `lpd`を再起動します。

## CUPSの設定

CUPSを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、LPR印刷またはIPP印刷を設定することができます。

### 注意

CUPSを使用して印刷する場合は、印刷する用紙サイズを選択することができません。その場合はフィルターを使って印刷してください。

## ■ CUPSについて

本機のCUPSプリンタードライバーのインストール方法について説明します。ここでは、CUPS v1.1.15の環境の場合を例に説明しています。異なるバージョンをお使いの場合は、説明と画面が異なる場合があります。

CUPS環境では、実際にはプリンタードライバーではなくPPDファイルを使用して印刷をセットアップします。

### 導入方法

このドライバーは、XPPやKPrinterなどのインターフェイスで使用するよう設計されています。このドライバーを、Linux環境と同じようにOS X環境で使用することもできますが、OS X環境での使用は推奨していません。

## ■ CUPSによるプリンターの設定

LPR印刷またはIPP印刷をCUPSに設定することができます。

### □ CUPSのインストール（LPR印刷）

CUPSを設定するには、PPDファイルをお使いのUNIX/Linuxワークステーションにコピーして、プリンターをインストールし、PPDの設定を行います。プリンターのインストールおよびPPDの設定は、ブラウザーを使って操作します。

PPDファイルはルートディレクトリにコピーして展開します。PPDファイルの展開後にCUPS daemonをリスタートします。

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 コマンドラインからインストールディスクのドライブに移動して、以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリにtarファイルをコピーします。

カラー複合機：  
cp TOSHIBA\_ColorMFP\_CUPS.tar /

モノクロ複合機：  
cp TOSHIBA\_MonoMFP\_CUPS.tar /

tarファイルは、インストールディスクの以下のフォルダーに収録されています。

- カラー複合機
  - 「Admin/Color\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/2-sided\_default」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - 「Admin/Color\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

- モノクロ複合機

- 「Admin/BW\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/2-sided\_default」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- 「Admin/BW\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

## 4 以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリに移動します。

```
cd /
```

## 5 以下のコマンドを入力し、tarファイルを展開します。

カラー複合機：

```
tar xvf TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar
```

モノクロ複合機：

```
tar xvf TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar
```

コマンドを実行すると、PPDファイルとFilterファイルが自動的に正しい場所にインストールされます。

- Linux環境以外をお使いの場合、またはCUPSシステムを標準インストールして使用していない場合は、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動し、PPDファイルを編集する必要がありますので、次の手順に進みます。
- Linux環境をお使いの場合で、CUPSシステムを標準インストールして使用している場合は手順11に進みます。

## 6 以下のコマンドを入力し、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動します。

カラー複合機：

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
```

```
mv TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

```
cd /usr/lib/cups/filter/Toshiba
```

```
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

モノクロ複合機：

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
```

```
mv TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

```
cd /usr/lib/cups/filter/Toshiba
```

```
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

\* 「XXXX」は弊社製品の機種名になります。

### 補 足

PPDファイルとFilterファイルの正しい場所についてはシステム管理者に問い合わせてください。

## 7 以下のコマンドを入力し、PPDファイルの移動先ディレクトリに移動します。

```
cd
```

```
PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

## 8 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを解凍します。

カラー複合機：

```
gunzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz
```

モノクロ複合機：

```
gunzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz
```

- 9** エディターなどを使って、TOSHIBA\_ColorMFP\_CUPS / TOSHIBA\_MonoMFP\_CUPSファイルの以下の記述（60行目）の下線部分を正しいFilterファイルの格納先ディレクトリに修正します。

\*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /usr/lib/cups/filter/Toshiba/estXXXX\_Authentication"

\* 「XXXX」は弊社製品の機種名になります。

- 10** 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを圧縮します。

カラー複合機：  
gzip TOSHIBA\_ColorMFP\_CUPS

モノクロ複合機：  
gzip TOSHIBA\_MonoMFP\_CUPS

- 11** 以下のコマンドを入力します

service lpd stop

Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順17に進みます。

- 12** Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

/usr/bin/redhat-switch-printer

[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。

- 13** [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

- 14** [OK] をクリックします。

- 15** 以下のコマンドを入力します。

service cups start

#### 注 意

すでにCUPSサービスが起動している場合は、「service cups stop」コマンドを入力してCUPSサービスを停止してから、上記コマンドを入力してCUPSサービスの起動を行ってください。

- 16** 以下のコマンドを入力します。

/usr/bin/cupsconfig

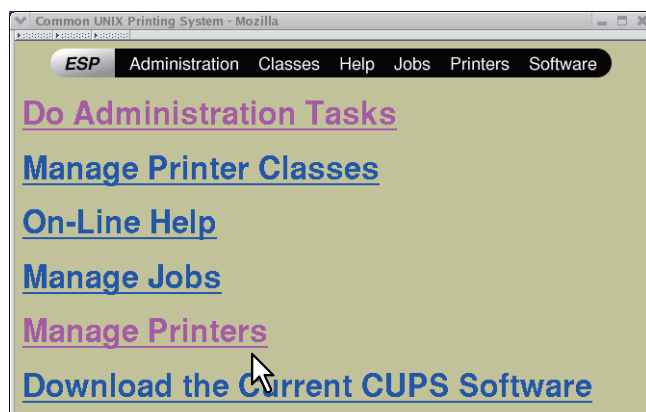
[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。手順18に進みます。

- 17** ブラウザーを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。



## 18 [Manage Printers] リンクをクリックします。



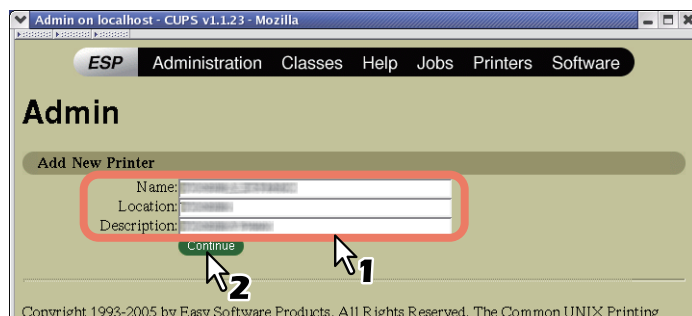
[Printer] ページが表示されます。

## 19 [Add Printer] をクリックします。



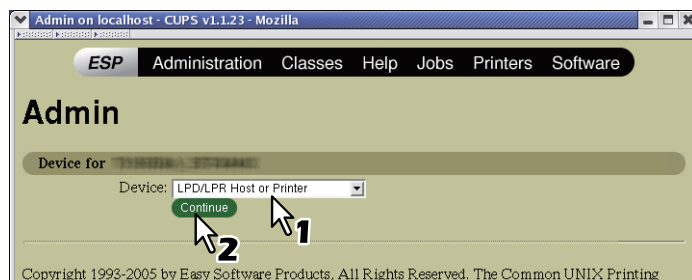
[Admin] ページが表示されます。

## 20 プリンター名、設置場所、詳細説明を入力し、[Continue] をクリックします。

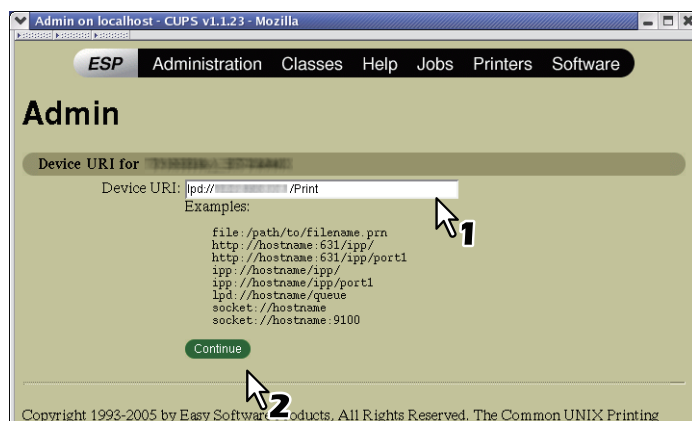


すでに追加されているプリンターと同名のプリンター名を入力した場合は、既存のプリンター設定を上書きします。

## 21 「Device」ドロップダウンメニューで「LPD/LPR Host or Printer」を選択し、[Continue] をクリックします。



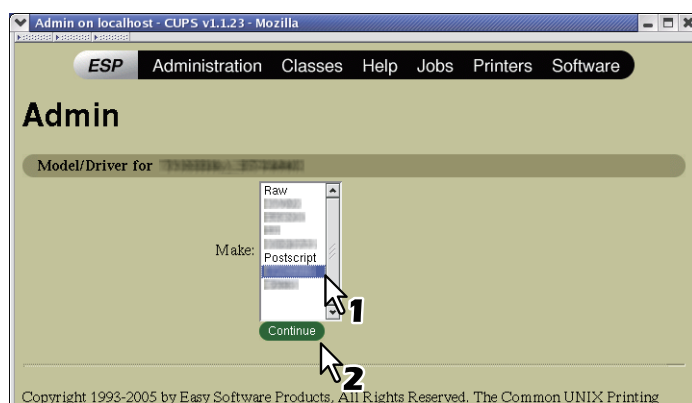
## 22 [Device URI] ボックスに「lpd://<IP address>/Print」と入力し、[Continue] をクリックします。



### 注意

デバイスURIに指定するアドレスの「Print」の「P」は、必ず大文字で入力してください。

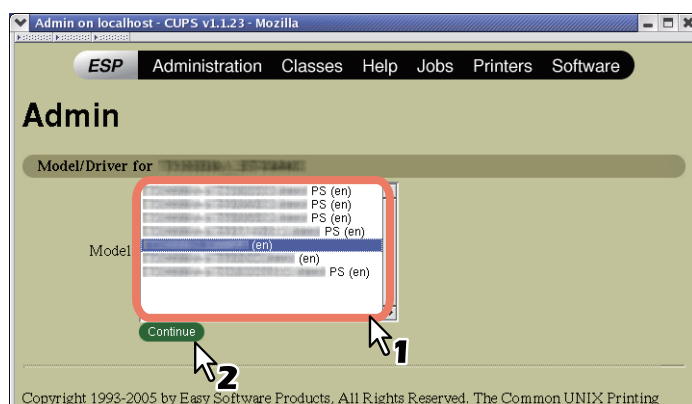
## 23 [Make] ボックスで [TOSHIBA] を選択し、[Continue] をクリックします。



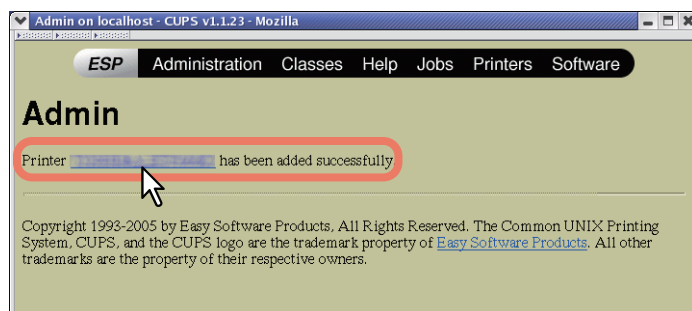
### 注意

[Make] ボックスに [TOSHIBA] が表示されていない場合は、CUPSを再起動してください。

## 24 [Model] ボックスでPPDを選択し、[Continue] をクリックします。



**25** プリンターの追加が正常に完了したメッセージが表示されたら、プリンター名リンクをクリックします。



**26** 以下の手順へ進んで、印刷オプションの設定を行ってください。  
 本 P.120 「印刷オプションの設定」

## □ CUPSのインストール (IPP印刷)

Linux OSにIPP印刷を設定する場合は、以下の手順で行います。

### 本機でIPP SSL/TLSが有効になっている場合

本機でIPP SSL/TLSが有効になっている場合は、Linux OSで以下の設定を行ってください。

- OpenSSLをインストールする
- CUPSを「--enable-ssl」オプションで設定する
- HTTPSシンボリックを「/usr/lib/cups/backend」ディレクトリに作成する
  1. 「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダーにある「ターミナル」を起動し、ルート権限でログインします。
    - ルート権限でログインするには「su」または「sudo -s」でログインします。
  2. 以下のコマンドを入力します。  
`cd /usr/lib/cups/backend`
  3. 以下のコメントを入力します。  
`ln -s ipp https`
  4. CUPSを再起動します。
- IPP SSL証明書を「/etc/cups」ディレクトリに作成する
  1. 以下のコマンドを入力します。  
`cd /etc/cups`  
`mkdir ssl`
  2. 以下のコマンドを入力します。  
`openssl req -new -x509`  
`-keyout /etc/cups/ssl/server.key`  
`-out /etc/cups/ssl/server.crt -days 365 -nodes`

### 注 意

- 上記コマンドは1行のコマンドとして改行を含めずに入力する必要があります。
- 以下の項目を入力するように要求されます。  
country/state/province/locality/organization/organizational unit/common nameおよびe-mail address
- 3. 以下のコマンドを入力します。  
`chmod 600 /etc/cups/ssl/server.*`
- 4. 「/etc/cups」ディレクトリにある「cupsd.conf」ファイルに以下の行を追加します。  
SSLPort 443  
ServerCertificate /etc/cups/ssl/server.crt  
ServerKey /etc/cups/ssl/server.key
- 5. 以下のコマンドを入力し、CUPSを再起動します。  
`Service cups restart`

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 コマンドラインからインストールディスクのドライブに移動して、以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリにtarファイルをコピーします。

カラー複合機：  
cp TOSHIBA\_ColorMFP\_CUPS.tar /

モノクロ複合機：  
cp TOSHIBA\_MonoMFP\_CUPS.tar /

tarファイルは、インストールディスクの以下のフォルダーに収録されています。

- カラー複合機
  - 「Admin/Color\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/2-sided\_default」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - 「Admin/Color\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロ複合機
  - 「Admin/BW\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/2-sided\_default」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - 「Admin/BW\_Unix\_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダー  
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

- 4 以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリに移動します。  
cd /

- 5 以下のコマンドを入力し、tarファイルを展開します。

カラー複合機：  
tar xvf TOSHIBA\_ColorMFP\_CUPS.tar

モノクロ複合機：  
tar xvf TOSHIBA\_MonoMFP\_CUPS.tar

コマンドを実行すると、PPDファイルとFilterファイルが自動的に正しい場所にインストールされます。

- Linux環境以外をお使いの場合、またはCUPSシステムを標準インストールして使用していない場合は、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動し、PPDファイルを編集する必要がありますので、次の手順に進みます。
- Linux環境をお使いの場合で、CUPSシステムを標準インストールして使用している場合は手順11に進みます。

## 6 以下のコマンドを入力し、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動します。

カラー複合機：

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

モノクロ複合機：

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

\* 「XXXX」は弊社製品の機種名になります。

### 補 足

PPDファイルとFilterファイルの正しい場所についてはシステム管理者に問い合わせてください。

## 7 以下のコマンドを入力し、PPDファイルの移動先ディレクトリに移動します。

```
cd PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

## 8 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを解凍します。

カラー複合機：

```
gunzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz
```

モノクロ複合機：

```
gunzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz
```

## 9 エディターなどを使って、TOSHIBA\_ColorMFP\_CUPS / TOSHIBA\_MonoMFP\_CUPSファイルの以下の記述（60行目）の下線部分を正しいFilterファイルの格納先ディレクトリに修正します。

```
*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /usr/lib/cups/filter/Toshiba/estXXXX_Authentication"
```

\* 「XXXX」は弊社製品の機種名になります。

## 10 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを圧縮します。

カラー複合機：

```
gzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS
```

モノクロ複合機：

```
gzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS
```

## 11 以下のコマンドを入力します。

```
service lpd stop
```

- Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。
- Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順15に進みます。

### 注 意

lpdがすでに終了している場合は「Failed」メッセージが表示されます。

## 12 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/redhat-switch-printer
```

[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。

## 13 [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

**14** [OK] をクリックします。

**15** 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

**16** ブラウザーを起動し、「<http://localhost:631/>」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。

#### 注 意

IPP SSL/TLSが有効の場合は「<https://localhost:443/>」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

#### 補 足

Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力して、「Common UNIX Printing System」ページにアクセスします。

```
/usr/bin/cupsconfig
```

**17** [Manage Printers] リンクをクリックします。

[Printer] ページが表示されます。

**18** [Add Printer] をクリックします。

**19** 新しいHTTPプリンターを追加します。

各設定は、以下のように設定してください。

**Name:** <任意名>

**Location:** <オプション>

**Description:** <オプション>

**Device:** Internet Printing Protocol (http)

**Device URL:** <http://<IPアドレス>:631/Print>

**Model/Driver:** TOSHIBA

#### 注 意

IPP SSL/TLSが有効の場合は、以下のように設定してください。

- **Device:** Internet Printing Protocol (https)

- **Device URL:** <https://<IPアドレス>:443/Print>

**20** プリンターの追加が正常に完了したメッセージが表示されることを確認します。

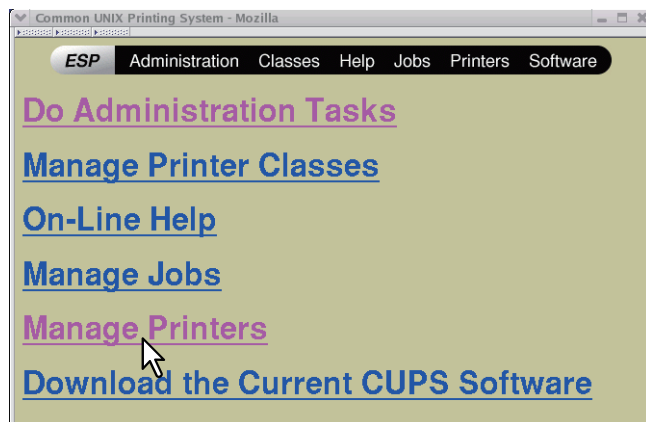
**21** 引き続いて以下の参照先に進み、印刷オプションの設定を行います。

📖 P.120 「印刷オプションの設定」

## □ 印刷オプションの設定

CUPSを使用した印刷ジョブに適用される印刷オプションの設定を行います。

### 1 スタートページの [Manage Printers] リンクをクリックします。



[Printer] ページが表示されます。

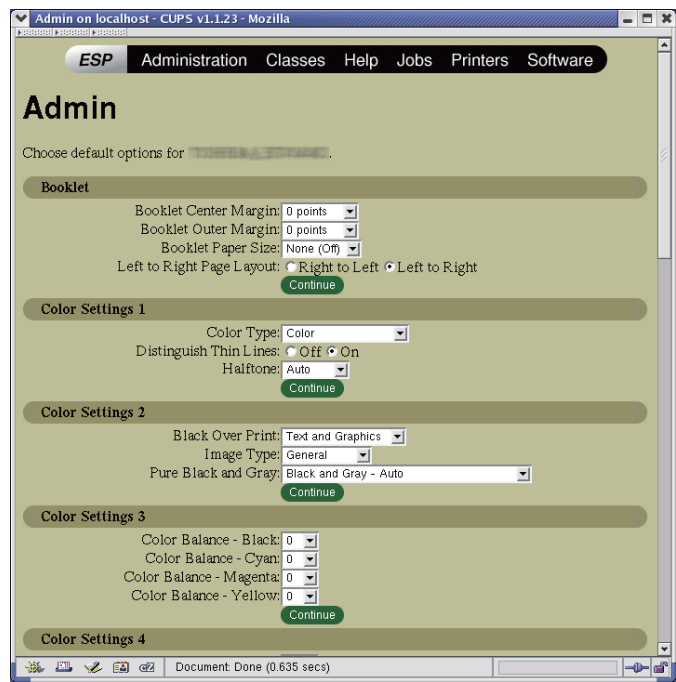
### 2 本機を選択し、[Configure Printer] をクリックします。





3 表示されたページで、印刷オプションの設定を行います。

- 画面は英文で表示されます。
- アンダーラインの付いたオプションはデフォルト値を示しています。



Booklet（マガジンソート）

項目	選択肢	説明
Booklet Center Margin マガジンソート中央余白	0～36（3ポイント単位）	見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。
Booklet Outer Margin マガジンソート外側余白	0～72（6ポイント単位）	ページの上下左右の余白を選択します。
Booklet Paper Size マガジンソート用紙サイズ	<u>None (Off)</u> Letter A4 Legal Statement Ledger Folio A3 A5 B4 B5 Computer 13" LG 8.5" SQ 8K 16K	マガジンソート印刷に使用する用紙サイズを選択します。各用紙の片面に2ページずつ印刷され、中折りされます。出力サイズは、用紙サイズの半分になります。 <div>注 意</div> 選択できる用紙サイズは、お使いの機種により異なります。
Left to Right Page Layout 左開き	Right to Left <u>Left to Right</u>	左から右に読むように印刷を行う場合にチェックします。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Color Settings 1 (カラー設定1)

項目	選択肢	説明
Color Type カラータイプ	Auto Color Mono Black and Red Black and Green Black and Blue Black and Cyan Black and Magenta Black and Yellow Black and White	印刷ジョブをカラーで印刷するか、モノクロで印刷するか、2色印刷するかを選択します。
Distinguish Thin Lines 細線をはっきりと印刷する	Off, <u>On</u>	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
Halftone ハーフトーン	<u>Auto</u> Detail Smooth	印刷時のハーフトーンの処理（自動、詳細（高密度）またはスムーズ（諧調をなめらかに））を選択します。
Resolution 解像度	<u>600 dpi</u> 1200 dpi	印刷時の解像度を選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Color Settings 2 (カラー設定2：カラー複合機)

項目	選択肢	説明
Black Overprint ブラックオーバープリント	Off Text <u>Text and Graphics</u>	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントする場合に <b>Text and Graphics</b> をします。プリンターはまずフルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、線画を出力します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
Image Type 原稿種類	<u>General</u> Photo Presentation Line Art	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
PostScript Overprint PostScript オーバープリント	<u>Off</u> , On	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトをオーバープリント印刷するかを選択します。  <b>注 意</b> Color Settings 1 (カラー設定1) のColor Type (カラータイプ) で [Color] または [Auto] を選択した場合のみ、設定できます。
オートトラッピング	<u>Off</u> , On	隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し、版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぎます。  <b>注 意</b> お使いの機種によっては選択できません。

項目	選択肢	説明
Pure Black and Gray 黒とグレーの印字方法	Off Black - Auto Black - Text Black - Text & Graphic Black - Text, Graphic & Image Black & Gray - Auto Black & Gray - Text Black & Gray - Text & Graphic Black & Gray - Text, Graphic & Image	黒とグレーの部分をKトナーでどのように印字するかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

### Color Settings 3 (カラー設定3) : カラー複合機

項目	選択肢	説明
Color Balance - Black カラーバランス - 黒	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	黒トナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Cyan カラーバランス - シアン	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	シアントナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Magenta カラーバランス - マゼンタ	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	マゼンタトナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Yellow カラーバランス - 黄	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	黄トナーの印字濃度を設定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Color Settings 4（カラー設定4：カラー複合機）

項目	選択肢	説明
Background Adjustment 背景調整	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	下地濃度を設定します。
Brightness 明るさ	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	明るさを設定します。
Contrast コントラスト	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	コントラストを設定します。
Saturation 彩度	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	彩度を設定します。
Sharpness シャープネス	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	シャープネスを設定します。
Use Sharpness Filter シャープネスフィルターを使用する	<u>Off</u> , On	このオプションをオンにすると、Sharpness（シャープネス）を設定することができます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Finishing（出力トレイ）

### 注 意

お使いの機種によっては、表示されない項目や機能があります。

項目	選択肢	説明
Destination 排紙先	Printer's Default Exit Tray Upper Exit Tray Side Exit Tray Tray 1 Tray 2 Job Separator Upper Job Separator Lower	排出先を選択します。  <b>注 意</b> 選択できる排紙先は、お使いの機種や装着されているオプションにより異なります。
Folding 中折り	<u>Off</u> , On	中折り印刷を行うかを選択します。
Hole Punch ホールパンチ	Off Long Edge Punch without rotation Short Edge Punch without rotation Long Edge Punch with 180 degree rotation Short Edge Punch with 180 degree rotation	印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。

項目	選択肢	説明
Stapling ステイプル	Off Upper Left (Portrait)/ Upper Right (Landscape) Middle Left (Portrait)/ Middle Top (Landscape) Lower Left (Portrait)/ Upper Left (Landscape) Upper Right (Portrait)/ Lower Right (Landscape) Middle Right (Portrait)/ Middle Bottom (Landscape) Lower Right (Portrait)/ Lower Left (Landscape) Middle Top (Portrait)/ Middle Right (Landscape) Middle Bottom (Portrait) /Middle Left (Landscape) Saddle Stitch (Portrait)/ Saddle Stitch (Landscape)	部ごとに用紙をステイプル留めして排紙するかを設定します。  <b>注 意</b> 「Saddle Stitch (Portrait)/Saddle Stitch (Landscape)」は、サドルステッチフィニッシャーが装着されている場合のみ指定できます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## General（一般設定）

項目	選択肢	説明
Collate 丁合	<u>Yes</u> , No	丁合を行うかを選択します。
Duplex 両面印刷、とじしろ	1-Sided	片面印刷
	<u>2-Sided, No Tumble</u> (Long-Edge Binding)	両面印刷（長手綴じ）
	2-Sided, Tumble (Short-Edge Binding)	両面印刷（短手綴じ）
Media Size 用紙サイズ	A3, A4, A5, A6, B4, B5, Ledger, Legal, <u>Letter</u> , Statement, Folio, Computer, 13" LG, 8.5" SQ, 12×18", 305×457 mm, 8K, 16K, 320×450 mm, 320×460 mm, 13×19", 330×483 mm, J Post Card, Envelope Com10, Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope CHO3, Envelope YOU4, Envelope-KAKU2	用紙サイズを選択します。  <b>注 意</b> 選択できる用紙サイズは、お使いの機種により異なります。
Media Source 給紙元	<u>Auto</u> (Default) Drawer 1 Drawer 2 Drawer 3 Drawer 4 LCF External LCF External LCF 2 Bypass Tray	給紙元を選択します。  <b>注 意</b> 選択できる給紙元は、お使いの機種や装着されているオプションにより異なります。
Media Type 用紙タイプ	<u>Printer's Default</u> , Plain, Plain (Back), Thick, Thick (Back), Thick 1, Thick 1 (Back), Thick 2, Thick 2 (Back), Thick 4, Thick 4 (Back), Thick 3, Thick 3 (Back), Transparency, Recycled, Recycled (Back), Special 1, Special 1 (Back), Special 2, Special 2 (Back), Special 3, Special 3 (Back), Tab, Thin, Thin (Back), Envelope, USER TYPE 1, USER TYPE 2, USER TYPE 3, USER TYPE 4, USER TYPE 5, USER TYPE 6, USER TYPE 7, USER TYPE 8, USER TYPE 9, USER TYPE 10	用紙タイプを選択します。  <b>注 意</b> 選択できる用紙タイプは、お使いの機種により異なります。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Options Installed (オプション設定)

## 注 意

お使いの機種によっては、表示されない項目や機能があります。

項目	選択肢	説明
Model Selection 機種名	TOSHIBA e-STUDIO4525AC Series TOSHIBA e-STUDIO6525AC Series TOSHIBA e-STUDIO2520AC Series TOSHIBA e-STUDIO7527AC Series TOSHIBA e-STUDIO4528A Series TOSHIBA e-STUDIO6528A Series TOSHIBA e-STUDIO9029A Series	
Drawers カセット	<u>Drawer 1</u> Drawer 1 & Drawer 2 Drawer 1, 2 & Drawer 3 Drawer 1, 2 & Drawer 3, 4 Drawer 1, 2 & LCF	オプションの給紙カセットの組み合わせを選択します。
Finisher フィニッシャー	<u>Not Installed</u> Inner Finisher Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch Job Separator	オプションのフィニッシャー類の装着を設定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Printing Modes (印刷種別)

項目	選択肢	説明
Department Code 部門コード	<u>Disabled</u> (無効) Enabled (有効)	印刷の際に部門コードを使用するかを選択します。 本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。
Do not Print Blank Pages 白紙は印字しない	<u>Off</u> , On	白紙ページを印刷するか選択します。
Print Mode 印刷モード	<u>Normal</u> Hold Proof Private - Password	印刷モードを選択します。
Toner Save トナー節約	<u>Off</u> , On	トナーを節約して印刷するかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Printing Modes DC (部門コード)

項目	選択肢	説明
Department Code(DC) - Digit 1 to Digit 5 部門コード 1桁目～5桁目	<u>0</u> to 9	上記Printing ModesのDepartment Codeを有効にした場合は、5桁の部門コードを指定します。 使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Private Document Password (プライベート印刷パスワード)

項目	選択肢	説明
Password - Digit 1 to Digit 5 パスワード 1桁目～5桁目	<u>0</u> to 9	Print Modeで「Private - Password」を選択した場合に、5桁のパスワードを指定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## Banners (バナー)

項目	選択肢	説明
Starting Banner 書類の前に	<u>none</u>	文書の前にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
Ending Banner 書類の後に	<u>none</u>	文書の後にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

## PS Binary Protocol

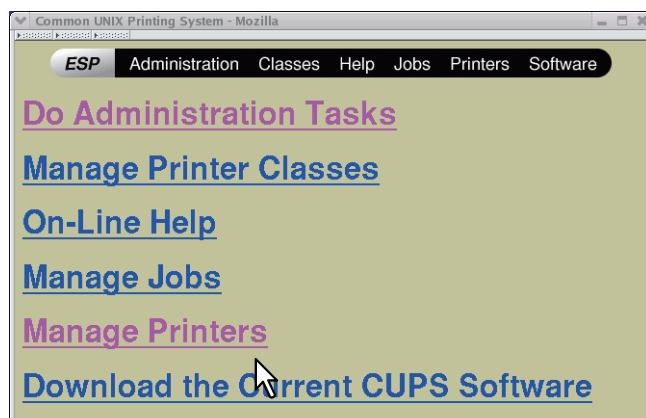
項目	選択肢	説明
PS Binary Protocol PSバイナリプロトコル	<u>None</u> , tbcP	PostScriptを使用して印刷データをバイナリ処理し、TBCPプロトコルを使って印刷を行うかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	



## □ プリンターの変更

追加した後にプリンターの設置場所や詳細説明の内容を変更したい場合は、以下の手順で行います。

### 1 スタートページの [Manage Printers] リンクをクリックします。

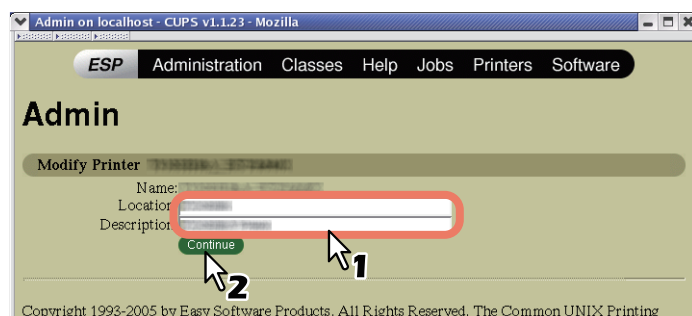


[Printer] ページが表示されます。

### 2 [Modify Printer] をクリックします。



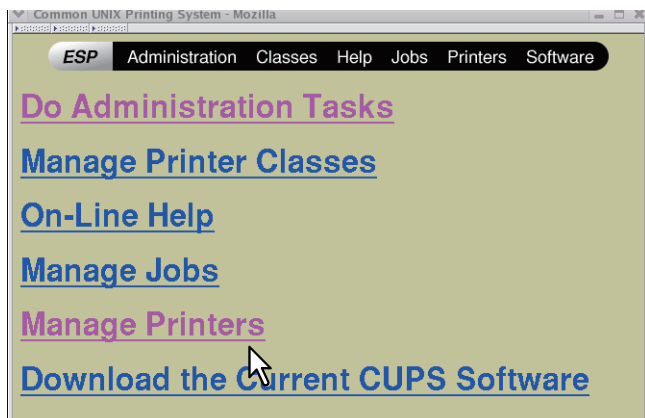
### 3 設置場所および詳細説明の内容を変更し、[Continue] をクリックします。



## □ プリンターのアンインストール

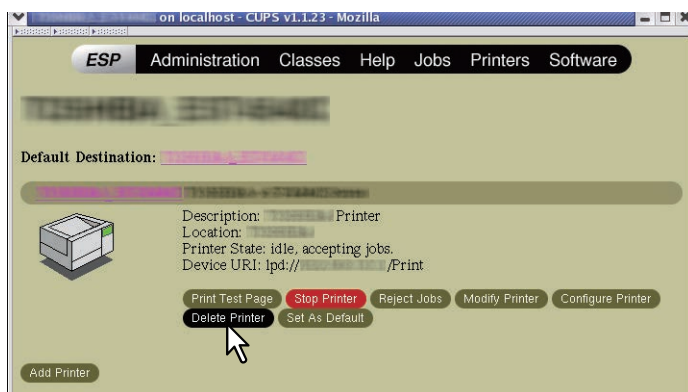
追加したプリンターを削除する場合は、以下の手順で行います。

### 1 スタートページの [Manage Printers] リンクをクリックします。



[Printer] ページが表示されます。

### 2 [Delete Printer] をクリックします。



プリンターが削除されます。

### 3 「/usr/share/cups/model/Toshiba」 ディレクトリにコピーしたPPDファイルを削除します。

## スキャンドライバー&ユーティリティのインストール (Windows)

インストールする前に .....	132
スキャンドライバー&ユーティリティの種類 .....	132
必要条件 .....	132
スキャンドライバー & ユーティリティのインストール .....	133
インストール手順 .....	133
WIAドライバーをインストールする .....	134
アンインストールする .....	137

## インストールする前に

---

この章では、本機からネットワークスキャン機能を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

### ■ スキャンドライバー&ユーティリティの種類

スキャン機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピュータにインストールします。

- **TWAINドライバー**

ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。

- **ファイルダウンローダー**

ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピュータの内蔵ストレージにファイルとして取り込むことができます。

- **Remote Scanドライバー**

お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

- **WIAドライバー**

お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

### ■ 必要条件

Windowsコンピュータにスキャンドライバー &ユーティリティをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**

1024×768ドット以上

- **ディスプレイ色**

High Color（16ビット）以上を推奨

- **CPU**

OSが要求する推奨環境以上

- **OS**

Windows 10以降

Windows Server 2012以降

- **推奨メモリ**

A4/LTサイズの600 dpiカラー文書/600 dpiブラック文書の取り込み：256 MB

### □ スキャンドライバー &ユーティリティがすでにインストールされている場合

すでに他のインストールディスクからスキャンドライバー &ユーティリティがインストールされている場合は、それらをアンインストールして、本機のインストールディスクから再度インストールしてください。アンインストールする際に、設定情報を削除するかを確認するメッセージが表示されるので、[いいえ]をクリックすると、再度インストールしたときに設定を引き継ぐことができます。

# スキャンドライバー & ユーティリティのインストール

お使いのコンピュータにスキャンドライバーやスキャンユーティリティをインストールします。

## ■ インストール手順

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

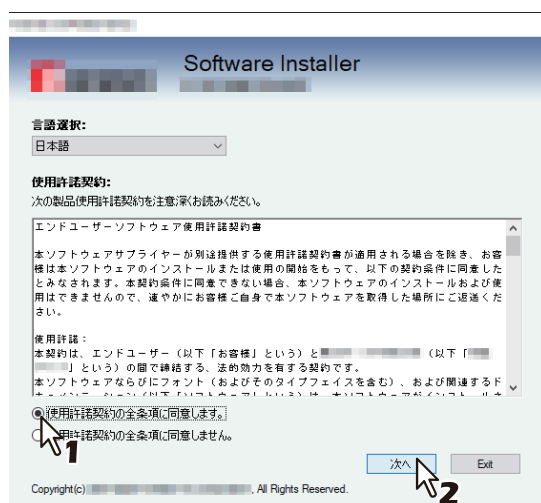
### 注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログインしてください。

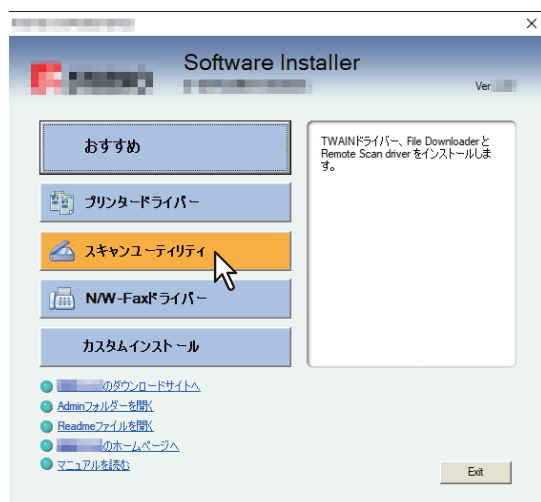
### 1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダーをエクスプローラーで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

### 2 [使用許諾契約の全条項に同意します。]を選択し、[次へ]をクリックします。



### 3 [スキャンユーティリティ] をクリックします。



### 4 インストールするソフトウェアを確認し、本機と接続するポートを選択してから [インストール] をクリックします。

## 5 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

メインメニューが表示されます。

### 注意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。

## 6 [Exit] をクリックします。

インストーラーの終了を確認するメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

## ■ WIAドライバーをインストールする

WIAドライバーをWindows Server 2012以降へインストールします。

お使いのWindowsコンピューターのバージョンに合わせて操作を行ってください。

### 注意

- WIAドライバーのインストールを開始するには、お使いのコンピューターにスキャンユーティリティがインストールされている必要があります。  
スキャンユーティリティのインストール方法については、以下の参照先をご覧ください。  
P.133 「インストール手順」
- Windows Server 2012以降をお使いの場合は、WIAドライバーをインストールする前に以下の設定を行ってください。  
[管理ツール] の [サーバーマネージャー] から [デスクトップエクスペリエンス] をインストールしてください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

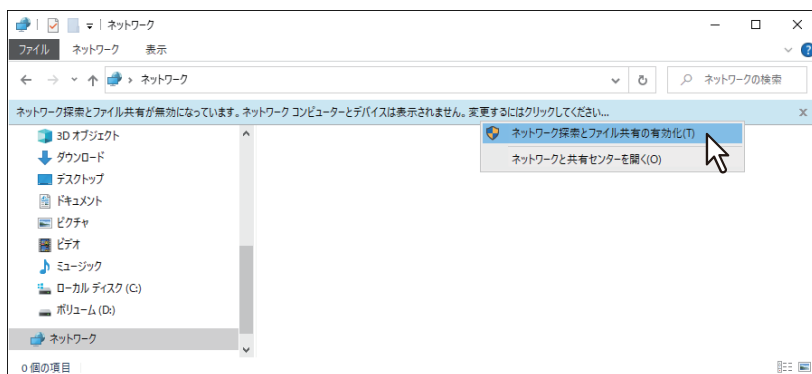
## 1 [ネットワーク] 画面を表示します。

[スタート] > [エクスプローラー] > [ネットワーク] を選択します。

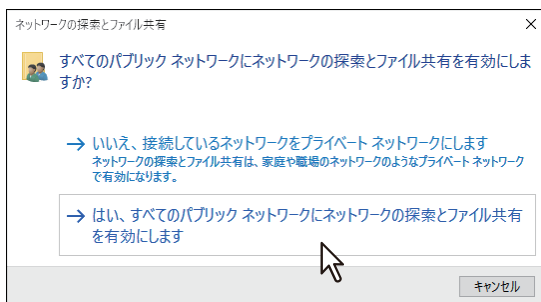
### 補足

Windows Server 2012をお使いの場合は、スタートチャーム > [すべてのアプリ] (右クリックすると画面右下に表示されます) > [コンピューター] > [ネットワーク] を選択します。

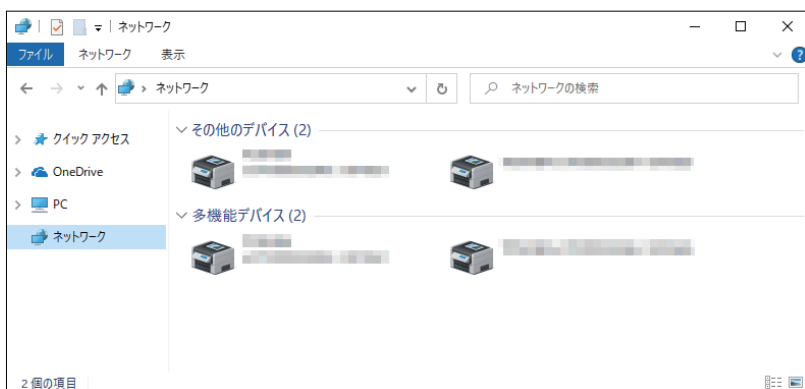
## 2 [ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています。ネットワークコンピューターとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。



### 3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。



[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピューターと多機能デバイスのアイコンが表示されます。



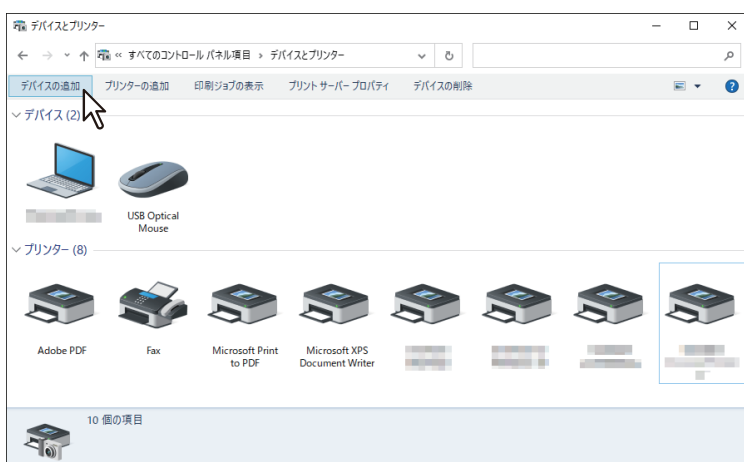
### 4 プリンターフォルダーを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

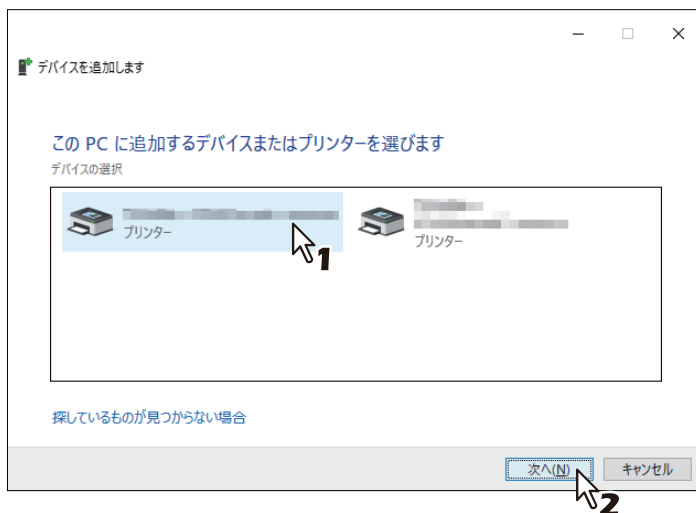
#### 補 足

Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。

### 5 [デバイスの追加] をクリックします。



## 6 本機が多機能デバイスのアイコンを選択し、[次へ] をクリックします。



インストールが開始されます。

## 7 インストールが完了します。



## アンインストールする

スキャンドライバー &ユーティリティを削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.152 「クライアントソフトウェアの削除」

### WIAドライバーのアンインストール

[デバイスとプリンター] フォルダーを開き、本機を選択して右クリックし、表示されるメニューから [デバイスの削除] を選択してください。

### TOSHIBA Office Scan Add-Inのアンインストール

TOSHIBA Office Scan Add-Inをアンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールを行う際は、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.152 「クライアントソフトウェアの削除」



## ネットワークファクスユーティリティのインストール (Windows)

インストールする前に .....	140
ネットワークファクスユーティリティの種類 .....	140
必要条件 .....	140
ネットワークファクスユーティリティのインストール .....	141
Software Installerを使ってインストールする .....	141
個別インストーラーを使ってインストールする .....	142
Web Serviceプリントによるインストール .....	144
ネットワークファクスユーティリティのアンインストール .....	145
N/W-Faxドライバーのアンインストール .....	145
AddressBook Viewerのアンインストール .....	145

## インストールする前に

---

この章では、本機からファクス送信を実行したり、オンラインアドレス帳を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

### ■ ネットワークファクスユーティリティの種類

ネットワークファクス機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピューターにインストールします。

#### N/W-Faxドライバー

N/W-Faxドライバーでは、宛先リストをセットアップし、お使いのコンピューターから複数の宛先またはグループへ電子文書を送信することができます。また、さまざまなファクスプロパティを設定することができます。プロパティは、送信者や宛先の情報に関する属性を示します。属性には、ダイヤリングオプション、送信者の情報、解像度やページレイアウトなど、ファクスジョブを処理するときに必要なパラメーターが設定されています。

その他の特長として、ファクスを送信する日時を指定できる時刻指定機能があります。また、カスタマイズした送信状ページを送信時に添付するオプションもあります。このページには、送信者や宛先のファクス情報および詳細メッセージを含めることができます。送信状ページに印刷する送信者や宛先の情報は、簡単に管理することができます。

#### AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを簡単に管理することができます。また本機アドレス帳をアップロードして使用することもできます。AddressBook Viewerで管理している連絡先は、ネットワークファクスで文書をファクス送信またはインターネットファクス送信する際に使用することができます。

### ■ 必要条件

WindowsコンピューターにN/W-FaxドライバーおよびAddressBook Viewerをインストールするには、以下の環境が必要です。

- ディスプレイ解像度  
1024×768ドット以上
- ディスプレイ色  
High Color（16ビット）以上を推奨
- CPU  
OSが要求する動作周波数以上
- メモリ  
OSと同等の必要メモリ容量
- OS  
Windows 10以降  
Windows Server 2012以降

### ☐ N/W-FaxドライバーおよびAddressBook Viewerがすでにインストールされている場合

すでに他のインストールディスクからN/W-FaxドライバーおよびAddressBook Viewerがインストールされている場合は、それらをアンインストールして、本機のインストールディスクから再度インストールしてください。

また、AddressBook Viewerをアンインストールする際に、設定情報を削除するかを確認するメッセージが表示されるので、[いいえ]をクリックすると、再度インストールしたときに設定を引き継ぐことができます。

# ネットワークファクスユーティリティのインストール

## ■ Software Installerを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピューターのバージョンに合わせて操作を行ってください。

### 注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

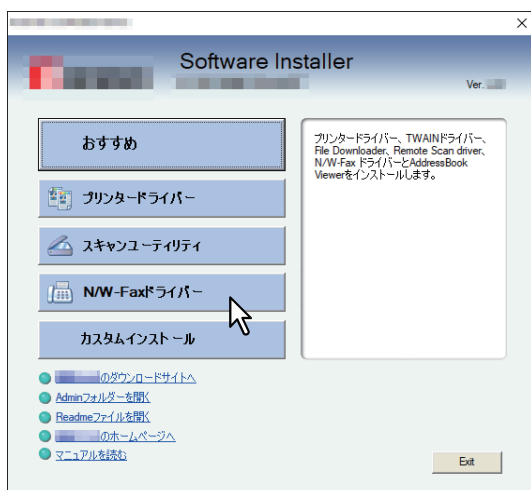
### 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダーをエクスプローラーで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

### 2 [使用許諾契約の全条項に同意します。]を選択し、[次へ]をクリックします。



### 3 [N/W-Faxドライバー] をクリックします。



## 4 インストールするソフトウェアを確認し、本機と接続するポートを選択してから [インストール] をクリックします。

### 注 意

目的の弊社複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下の参照先の手順4をご覧ください。

📖 P.26 「おすすめインストール手順」

以降の手順は、プリンタードライバーのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。接続環境に応じて以下の項目を参照してください。

📖 P.41 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.48 「SMB印刷」

## ■ 個別インストーラーを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピューターのバージョンに合わせて操作を行ってください。

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

### 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

### 2 セットアッププログラムがあるフォルダーを開き、「essetup.exe」 ファイルをダブルクリックします。

N/W-Faxドライバーのセットアッププログラムは、次のフォルダーに収録されています。

[インストールディスク]：¥Client¥FAX

### 3 使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。

### 4 [次へ] をクリックします。

### 5 [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

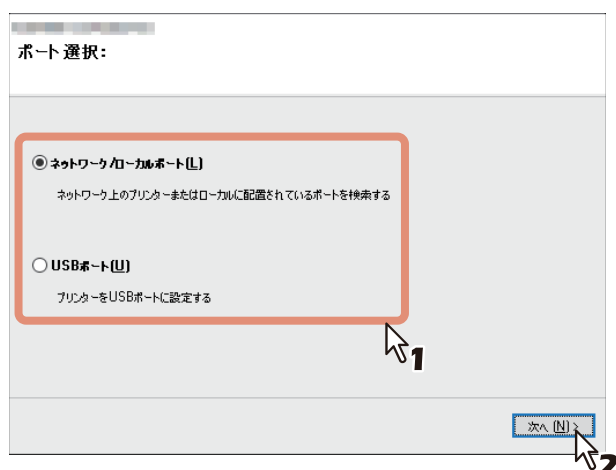
### 6 [インストール] をクリックします。

### 補 足

目的の弊社複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下の参照先の手順4をご覧ください。

📖 P.26 「おすすめインストール手順」

### 7 本機と接続するポートを選択して、[次へ] をクリックします。



## 8 検出されたプリンターが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。



### 補 足

- 目的の弊社複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下の参照先の手順4をご覧ください。  
P.26 「おすすめインストール手順」
- Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

## 9 [完了] をクリックします。

### 補 足

- コンピューターの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- テストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバの設定および印刷設定を行うことができます。[完了] をクリックした後でも設定することができます。設定方法は、以下の参照先をご覧ください。


#### 印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - プリンタードライバの機能概要

- Readmeファイルを表示する：チェックマークを付けていると [完了] をクリックした後に Readmeファイルが開きます。
- [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタードライバの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
- [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
- [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

## Web Serviceプリントによるインストール

---

WSD（Web Services on Devices）プロトコルを使用してN/W-Faxドライバーをインストールします。インストールの手順は、プリンタードライバーのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。インストールを行う際は、以下の参照先をご覧ください。

 P.74 「Web Serviceプリント」



## ネットワークファクスユーティリティのアンインストール

N/W-FaxドライバーおよびAddressBook Viewerをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

### ■ N/W-Faxドライバーのアンインストール

N/W-Faxドライバーをアンインストールします。アンインストールの手順は、プリンタードライバーのアンインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。アンインストールを行う際は、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.78 「プリンタードライバーのアンインストール」

### ■ AddressBook Viewerのアンインストール

AddressBook Viewerをアンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールを行う際は、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.152 「クライアントソフトウェアの削除」



## ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール (Windows)

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に .....	148
必要条件 .....	148
ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール .....	149
アンインストールする .....	150

## ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に

---

この章では、ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

### ■ 必要条件

WindowsコンピューターにファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**  
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**  
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**  
OSが要求する推奨環境以上
- **メモリ**  
OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**  
Windows 10以降  
Windows Server 2012以降
- **必要なソフトウェア**  
Microsoft Edge 89以上  
Firefox 86以上  
Chrome 89以上

#### 注 意

- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityは、上記OSの64ビット版には32ビットアプリケーションがインストールされます。
- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使ってファイリングボックスデータをバックアップまたはリストアするには、本機のFTPサーバー設定が有効になっている必要があります。

# ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

お使いのWindowsコンピューターのバージョンに合わせて操作を行ってください。

## 注意

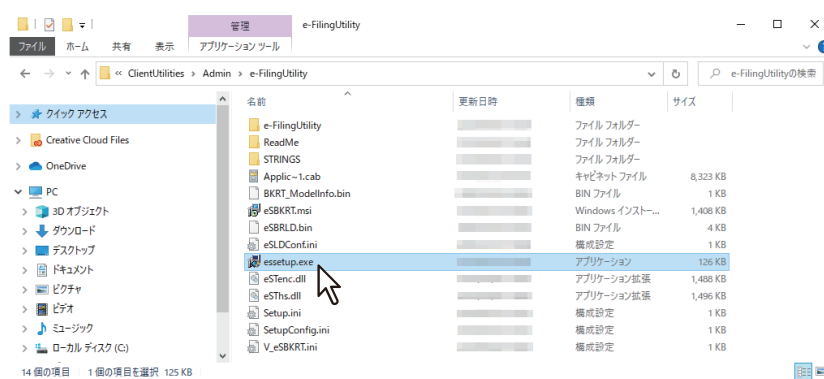
インストールを実行するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。  
以下の手順によりユーザーアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。

- ・ インストールディスクの「Admin¥e-FilingUtility」フォルダーを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。
- ・ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。

## 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

## 2 インストールディスクの「Admin¥e-FilingUtility」フォルダーを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。



## 3 使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。

## 4 [次へ] をクリックします。

## 5 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

## 6 [次へ] をクリックします。

## 7 [インストール] をクリックします。

## 8 [完了] をクリックします。

インストールを完了します。


## 注意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。

## アンインストールする

---

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下の参照先をご覧ください。

 P.152 「クライアントソフトウェアの削除」

## インストールのメンテナンス

クライアントソフトウェアの削除 .....	152
クライアントソフトウェアの修復 .....	154

# クライアントソフトウェアの削除

クライアントソフトウェアを削除します。

## 注意

- N/W-Faxドライバーはセットアッププログラムによる削除はできません。これらを削除したい場合は、以下の参照先をご覧ください。  
P.78 「プリンタードライバーのアンインストール」
- クライアントソフトウェアを削除するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログインしてください。

## 1 [プログラムのアンインストール] フォルダーを開きます。

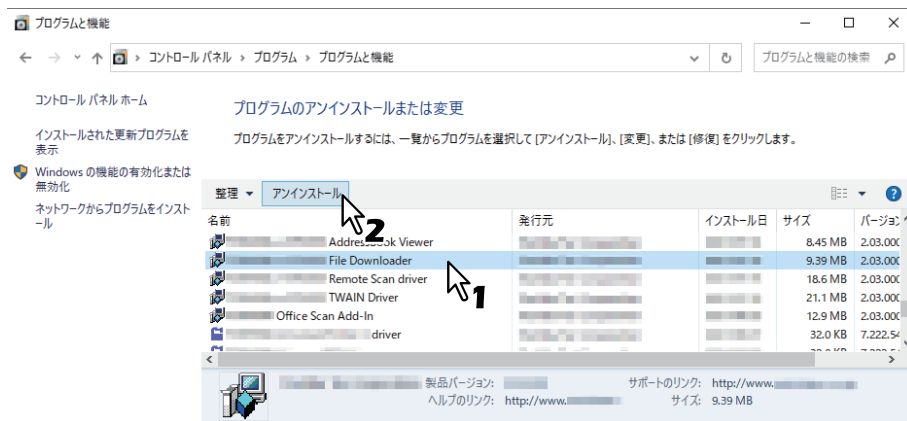
[スタート] をクリックし、すべてのアプリの表示一覧から [Windowsシステムツール] > [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。



## 補足

- Windows 10のバージョンによっては、[スタート] をクリックした後に [すべてのアプリ] を選択して、すべてのアプリ表示一覧から [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。
- Windows Server 2012をお使いの場合は、設定チャームから [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。

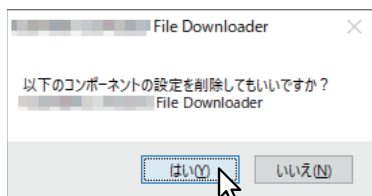
## 2 一覧から削除したいソフトウェアを選択し、[アンインストール] をクリックします。



## 3 [はい] をクリックします。



#### 4 設定ファイルを削除する場合は、[はい] をクリックします。



ファイルの削除を開始します。

##### 注 意

[いいえ] をクリックした場合は、設定情報は削除されず残り、次回のインストール時に引き継がれます。

## クライアントソフトウェアの修復

クライアントソフトウェアが正常に使用できない場合は、クライアントソフトウェアの修復を行ってください。

### 注意

クライアントソフトウェアを修復するためには、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。

### 1 インストールディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

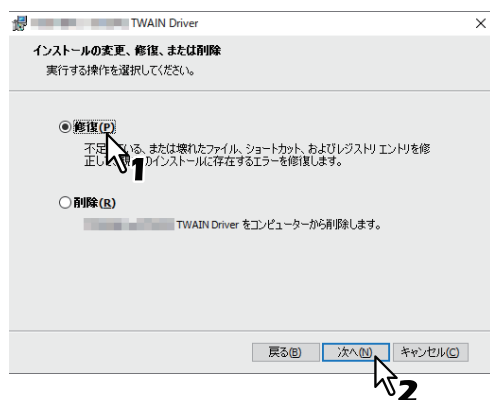
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの「Exit」をクリックしてSoftware Installerを終了します。

### 2 修復したいソフトウェアのフォルダーを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。

- TWAINドライバー（32ビット版のコンピューターをお使いの場合）  
[インストールディスク]：¥Client¥TWAIN¥32bit¥
- TWAINドライバー（64ビット版のコンピューターをお使いの場合）  
[インストールディスク]：¥Client¥TWAIN¥64bit¥
- ファイルダウンローダー  
[インストールディスク]：¥Client¥FD¥
- Remote Scanドライバー（32ビット版のコンピューターをお使いの場合）  
[インストールディスク]：¥Client¥RS¥32bit¥
- Remote Scanドライバー（64ビット版のコンピューターをお使いの場合）  
[インストールディスク]：¥Client¥RS¥64bit¥
- AddressBook Viewer（32ビット版のコンピューターをお使いの場合）  
[インストールディスク]：¥Client¥ADRBK¥32bit¥
- AddressBook Viewer（64ビット版のコンピューターをお使いの場合）  
[インストールディスク]：¥Client¥ADRBK¥64bit¥
- TOSHIBA Office Scan Add-In  
[インストールディスク]：¥Admin¥Add-In¥

### 3 [次へ] をクリックします。

### 4 [修復] を選択し、[次へ] をクリックします。



### 5 [インストール] をクリックします。

ファイルの修復を開始します。

### 6 [完了] をクリックしてウィザードを終了します。

## インストールに関する注意事項と関連メッセージ（Windows）

インストール前の注意事項 .....	156
インストール中に表示される可能性のあるメッセージ .....	157
インストール後の注意事項 .....	158

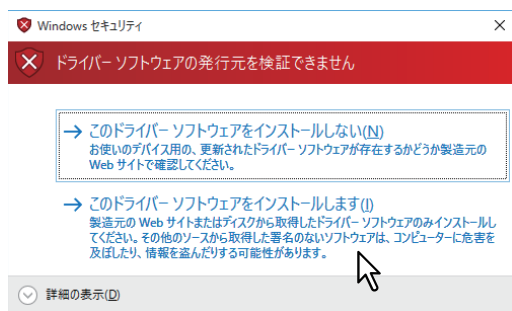
## インストール前の注意事項

---

- Universal Printer2ドライバーとその他のクライアントソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のユーザーでWindowsへログオンしてください。
- 管理者権限のユーザーでWindowsにログオンした場合にも「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、「続行」などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- 管理者権限以外のユーザーでログオンしている場合でも、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザーアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- Microsoft Office 2013以降がインストールされているコンピューターに、「Remote Scan driver」、「TWAIN driver」、「WIA driver」のいずれかまたはすべてをインストールすると、自動的に「TOSHIBA Office Scan Add-In」がインストールされます。

## インストール中に表示される可能性のあるメッセージ

以下のメッセージが表示された場合は、改ざんされたソフトウェアの可能性があります。弊社が提供している正規のクライアントソフトウェアであることを確認してから、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続けてください。



## インストール後の注意事項

---

- アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザーで**Windows**へログオンしてください。  
ただし、管理者権限以外のユーザーでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザーアカウントを変更してアンインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザーで**Windows**にログオンした場合にも[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行]などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- インストールしたプリンタードライバーを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定の詳細については、以下の参照先をご覧ください。  
**印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - 基本的な印刷手順 - 部門コードやユーザー名の入力が必要なときは - 部門コードの入力**  
**印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - オプション機器やユーザー認証の設定 - プリンターのオプション機器を設定する**

# 索引

---

## A

AddressBook Viewer .....15, 140

## L

LPR印刷 .....37

## M

macOS Bonjour印刷 .....92

macOS IPP印刷 .....89

macOS LPR印刷 .....86

## N

N/W-Faxドライバー .....140

NetWareプリントサーバー .....22

Novell iPrint .....22

Novell iPrint印刷 .....37

## P

PostScriptプリンター記述ファイル .....82

PS3プリンタードライバー .....36

## R

Remote Scanドライバー .....15, 132

## T

TWAINドライバー .....15, 132

## U

Universal Printer 2ドライバー .....36

Universal PS3プリンタードライバー (PostScript) 36

UNIX/Linuxプリントキュー

    デフォルト設定の変更 .....106

    プリントキューの削除 .....107

    プリントキューの作成 .....101

USB印刷 .....66

## W

Web Serviceプリント .....37

WIAドライバー .....15, 132

## あ

アンインストール .....78

## い

インストール

    macOS .....83

    UNIX/Linuxフィルター .....100

インターネット印刷 .....37

## ひ

必要条件

    CPU .....140, 148

    macOS .....82

    OS .....140, 148

    UNIX/Linux .....99

    Windows .....36

    ディスプレイ解像度 .....140, 148

    ディスプレイ色 .....140, 148

    メモリ .....140, 148

## ふ

ファイルダウンローダー .....15, 132

プリンタードライバー .....15







東芝デジタル複合機

インストール

**e-STUDIO2020AC**

**e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC**

**e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A**

**e-STUDIO6527AC/7527AC**

**e-STUDIO6529A/9029A**

東芝テック株式会社

